

FY2022.6

Sustainability Report

mercari

メルカリのサステナビリティ	p3
トップメッセージ	p3
特別対談：代表取締役 CEO 山田進太郎 × 東京大学大学院 工学系研究科教授 川原圭博	p4
メルカリの5つのマテリアリティ	p7
マテリアリティの特定アプローチ	p8
マテリアリティごとの中長期の機会・リスク	p9
価値創造プロセス	p10

マテリアリティ01：循環型社会の実現 / 気候変動への対応	p11
マテリアリティ02：ダイバーシティ & インクルージョンの体現	p23
マテリアリティ03：地域活性化	p33
マテリアリティ04：安心・安全・公正な取引環境の実現	p37
マテリアリティ05：コーポレートガバナンス / コンプライアンス	p45
外部機関からの評価	p56
ESGデータ集	p59
Appendix	p61

発行日
2022年8月
報告対象期間
FY2022（2021年7月1日～2022年6月30日）の取り組みを中心に、一部対象期間外の活動内容も掲載しています。

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリのサステナビリティ

限りある資源を循環させ、
あらゆる人が可能性を発揮できる未来を創る

私は創業前に、世界一周をしていた時、新興国で暮らす方々が豊かになりたくても豊かになれない現状を目の当たりにし、限りある地球資源の中で、先進国と新興国の人が同じような暮らしを実現することは難しいことだと感じました。

しかし、スマートフォンをはじめとしたテクノロジーを活用することで、限りある地球資源をなめらかに循環させることができれば、一人ひとりが持つ可能性はもっと広がるのではないかと。そんな思いから、メルカリを創業しました。

メルカリは、誰かにとって不要になったモノが次の必要な人に届くマーケットプレイスです。この事業を成長させ、世界中で使われるサービスになっていくことそのものが、限りある資源が大切に使われる循環型社会の実現につながっていきます。

そして、循環型社会を実現することは、メルカリが目指す「あらゆる人が可能性を発揮できる社会」を創っていくうえで、いわば基盤（ファウンデーション）であり、必ず達成すべきことだと考えています。

これにより私たちは、地球資源の限界を意味する「プラネタリー・バウンダリー」という概念が広がるなか、事業を通じて環境課題の解決に貢献し、限りある地球資源が世代を越えて共有され、人々が新たな価値を生みだし続けることができる世界「プラネット・ポジティブ」を追求していきたいと考えています。

株式会社メルカリ
代表取締役 CEO（社長）

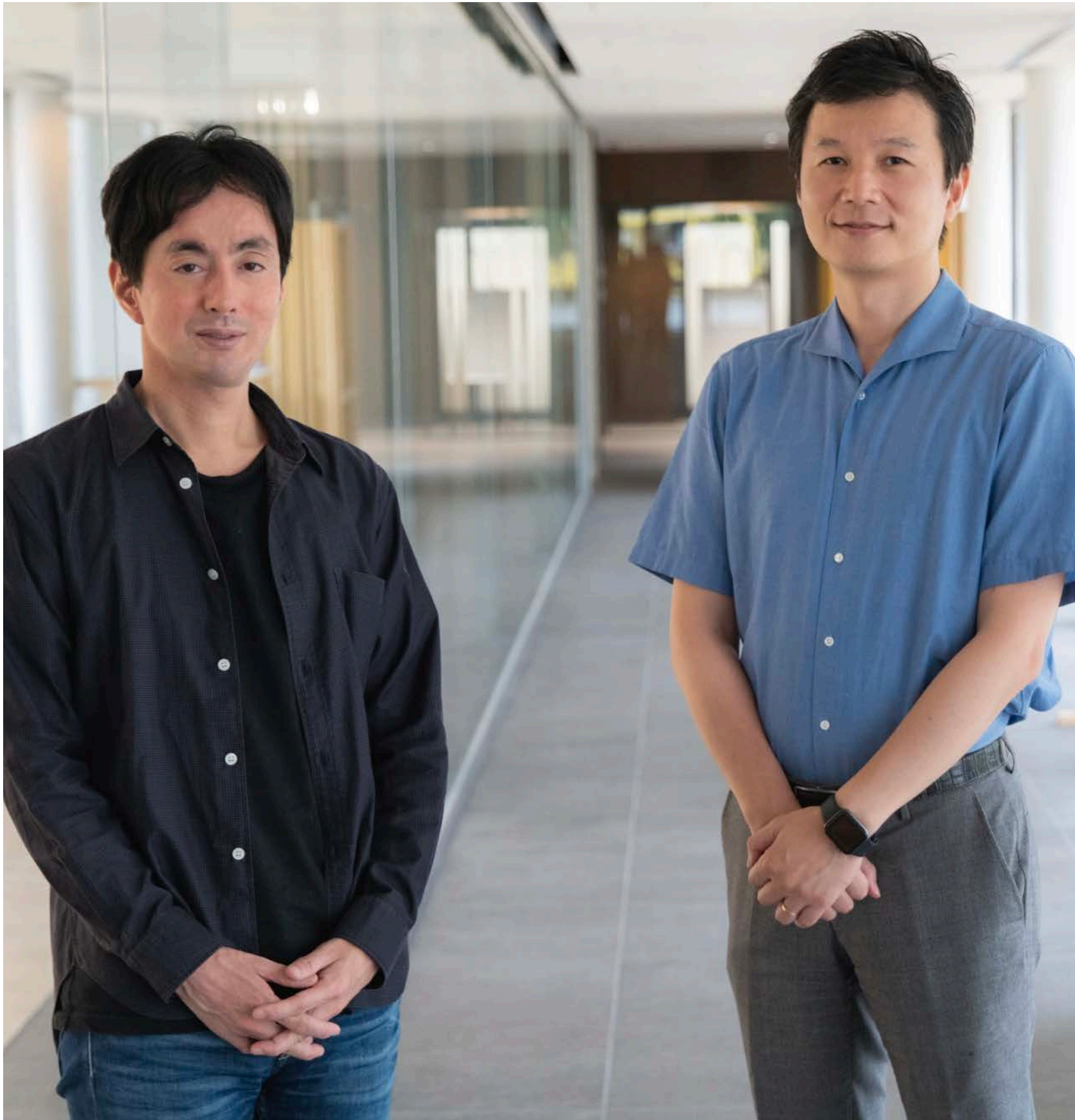
山田進太郎



メルカリは「プラネット・ポジティブ」を目指す — 特別対談: 川原圭博 × 山田進太郎

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix



特別対談

川原圭博 東京大学大学院工学系研究科教授
mercari R4D Head of Research（所長）

山田進太郎 株式会社メルカリ
代表取締役 CEO（社長）

あるべき未来を想像したとき、メルカリの現在地はどこにあるのか、
「プラネット・ポジティブ」な世界を目指すために、メルカリはなにをすべきなのか。
メルカリ代表取締役 CEOの山田進太郎と、東京大学大学院 工学系研究科教授であり、
メルカリの研究開発組織「mercari R4D」所長の川原圭博に問いかけた。

事業活動を通じて「プラネット・ポジティブ」を目指す

— 「プラネット・ポジティブ」という言葉には、どのような意図が込められていますか？

山田 メルカリが「循環型社会で必要不可欠な存在になる」という、私たちの理念がより伝わるような言葉を以前から考えていました。「プラネタリー・バウンダリー」という言葉がありますが、これは人類が安全に生存できる地球資源の限界点を概念として表したものです。これに対してメルカリは、事業の成長を通じて地球環境に対してポジティブなインパクトを生み出し続けていく存在でありたいという思いを込めて、「プラネット・ポジティブ」という言葉を用いることにしました。
そして、プラネット・ポジティブを追求することによって、限りある地球資源が世代を越えて共有される循環型社会が実現し、その基盤のもとに、あらゆる人が可能性を発揮できる社会をつくっていきたいと考えています。

メルカリは「プラネット・ポジティブ」を目指す — 特別対談: 川原圭博 × 山田進太郎

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

—川原さんは「プラネット・ポジティブ」という言葉から、どのような印象を受けましたか？

川原 この言葉を聞いて最初に感じたのは、定量的な指標を伴った“サイエンティフィック”さです。「もったいない」や「グリーン」などの言葉には押し付けっぽさがありますが、「プラネット・ポジティブ」はサイエンティフィックな態度を伴うのが良いですね。

—現在の社会情勢など、さまざまな外的要因が複雑に絡み合うなか、この1年のあゆみではどのような変化があったのでしょうか。

山田 新型コロナウイルスの流行や、ロシアによるウクライナ侵攻、経済のインフレなどの影響もあり、社会全体に大きな変化はありますが、メルカリがやっていくこと自体はあまり変わらないかなと思っています。

地球資源が限られていることは明白であり、先進国の人々がそれを享受した生活を送っている。そうした不均衡な構図もそうですし、サステナビリティへの社会的な関心が高まっていくなかで、メルカリのプロダクトを使うことで「プラネット・ポジティブ」を感じられる体験をつくっていこうと本格的に動き始めたところです。

—川原さんは近年の社会全体の変化をどのように感じられていますか？

川原 昔から資源を大切にしようという話はありませんでしたが、現代はより差し迫った危機と結びついています。かつては大量生産・大量消費が、より良い社会をつくっていくための原動力だったので、エネルギー消費の伸びが経済成長に直結していました。



メルカリは「プラネット・ポジティブ」を目指す — 特別対談: 川原圭博 × 山田進太郎

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

川原 「アクセルを踏むことが気持ちいい」時代が確かにあったんですね。そうした時代に陰りが見えてきて、循環型社会を創っていく機運が高まってきましたが、本当に「転換のブレーキを踏んでいいのか？」というためらいもあり、すぐに大きく変化は訪れなかった。しかし、このままアクセルを踏むと壁にぶつかる局面を迎えたのが現在です。ただブレーキを踏むだけではなく、「アクセル全開にしなくても豊かな生活を営んでいけるんだ」という、「価値観の転換」が自発的に起こりはじめてきたと思います。



循環型社会は手段でありファウンデーション

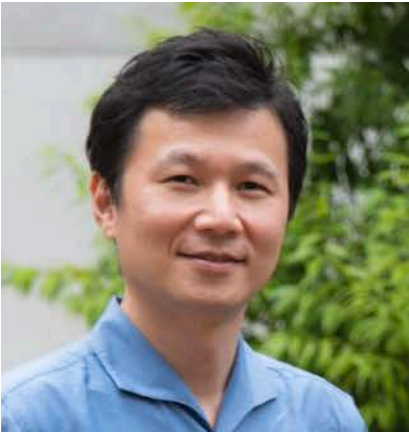
—「プラネット・ポジティブ」をあるべき姿と考えたときに、どのくらい先の未来からを逆算しているのでしょうか？

山田 「いついつまでにこういう状況にする」というより、メルカリの事業そのものを推進していくことが「プラネット・ポジティブ」につながっていくと考えています。メルカリの事業を通じてリユースが促進され、そこから生まれるポジティブな影響が循環型社会を創ることにつながっていく。それらが気候変動への対応にもつながり、最終的に「プラネット・ポジティブ」な状態にしていくことこそが重要です。

—循環型社会の実現の先に、メルカリはなにを目指すのでしょうか。

山田 循環型社会はファウンデーション（基盤）であり、なにがあっても達成すべきこと。その大前提のうえにつくるものは「人々がやりたいことをやりたいだけできる」状況です。人々の可能性が引き出されている状況こそがメルカリが最終的に目指すべきことであり、循環型社会はそのための手段です。そうした未来を創ることが、メルカリが「プラネット・ポジティブ」を追求していくことの意味なのです。

本インタビューの長編はメルカリのオウンドメディア「メルカン」でお読みいただけます（[リンク](#)）



川原圭博 Yoshihiro Kawahara

東京大学大学院工学系研究科教授。2005年 東京大学大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻博士課程修了。博士（情報理工学）。東京大学大学院情報理工学系研究科 助手、助教、講師、准教授を経て、2019年工学系研究科教授に就任。2015-2022年 JST ERATO川原万有情報網プロジェクト研究総括。2019年インクルーシブ工学連携研究機構長。また2019年よりメルカリR4D アドバイザリーボードメンバーを兼任。2022年にmercari R4D Head of Research（所長）就任。

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリの5つのマテリアリティ

マテリアリティとは、メルカリが長期ビジョンを実現するにあたり取り組むべき重点課題です。

2019年に定めたマテリアリティについて、外部環境・内部環境の変化を踏まえて

2021年に現在のマテリアリティにアップデートしました。

事業を通じて社会・環境課題の解決に貢献していく価値創造に関わるものと、

持続的な成長のために必要な経営基盤に関わるものの両方の観点から、以下5つのマテリアリティを定義しています。

1	2	3	4	5
循環型社会の実現 / 気候変動への対応	ダイバーシティ & インクルージョンの体現	地域活性化	安心・安全・公正な 取引環境の実現	コーポレートガバナンス / コンプライアンス
メルカリが与える環境への負荷を最小化するだけでなく、限りある資源が大切に使われる循環型社会を実現し、事業を通じて環境課題解決に貢献する「プラネット・ポジティブ」を追求していきます。	多様なバックグラウンドを持つ人材がポテンシャルを最大限に発揮して働ける環境を整え、社会全体の課題である構造的差別や不平等の課題に取り組みます。また、より多くのお客さまにとって使いやすいサービスのアクセシビリティ実現を目指します。	地域が抱える課題解決と経済への貢献を通じて、個人や企業が活躍できる社会を目指します。	お客さま、加盟店さま、パートナーさまに「安心感」をもってサービスをご利用いただけるよう、安全で公正な取引を目指します。	健全で透明性の高い意思決定プロセスを構築し、お客さまやパートナーさま、ひいては社会から強い信頼を得られる企業を目指します。

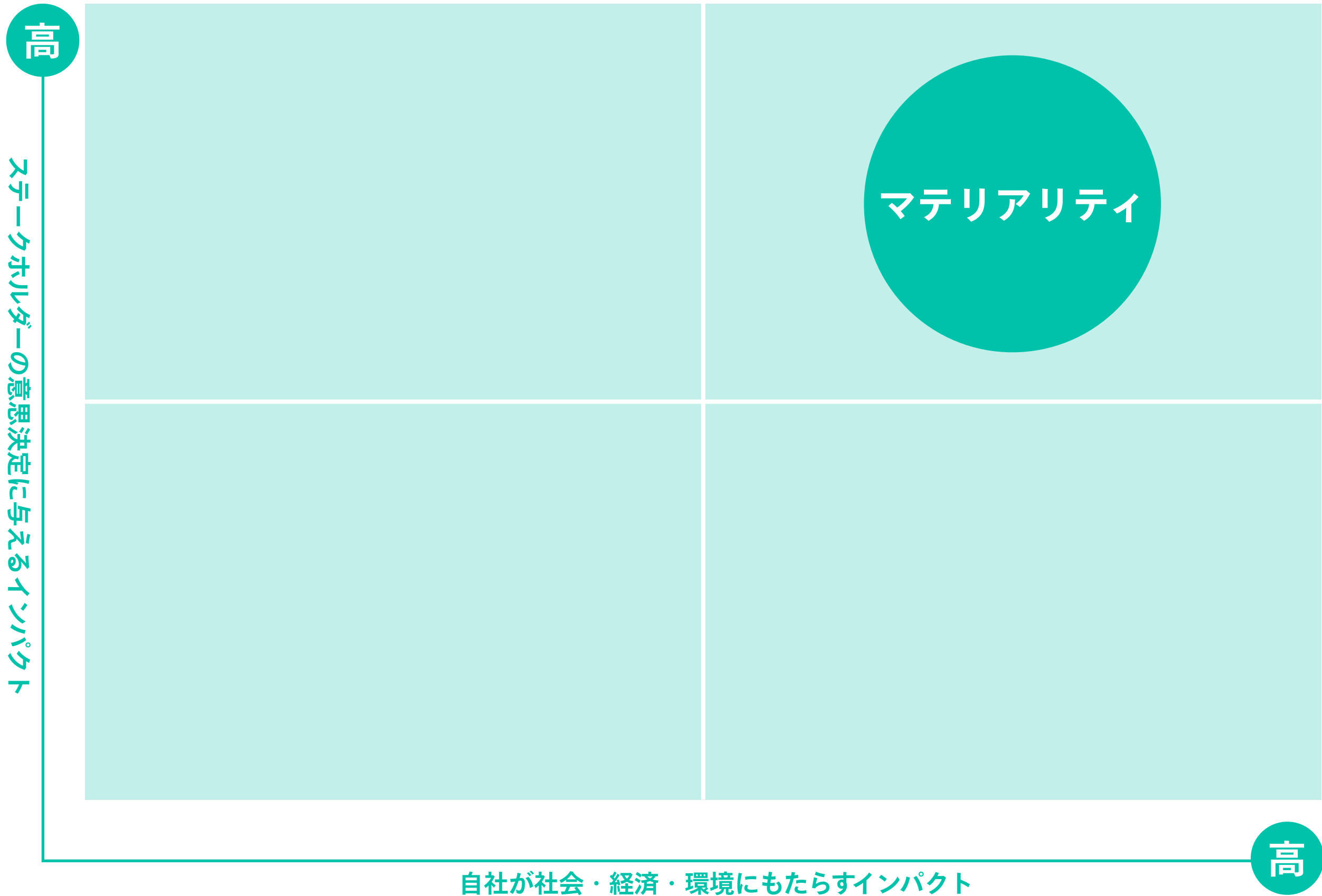
マテリアリティの特定アプローチ

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

ESGに関わる各種のガイドライン等を参考にしながら、自社及びステークホルダーの評価を合わせてマテリアリティ（メルカリが本業を通じて解決すべき最も重要な課題）を特定しています

- 1 課題候補項目の選定
- 2 自社による影響度評価
- 3 ステークホルダーによる評価
- 4 自社による重要性評価
- 5 マテリアリティ決定



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

マテリアリティごとの中長期の機会・リスク

各マテリアリティの「機会の最大化」と「リスクの最小化」に努め、持続的な事業成長を目指します

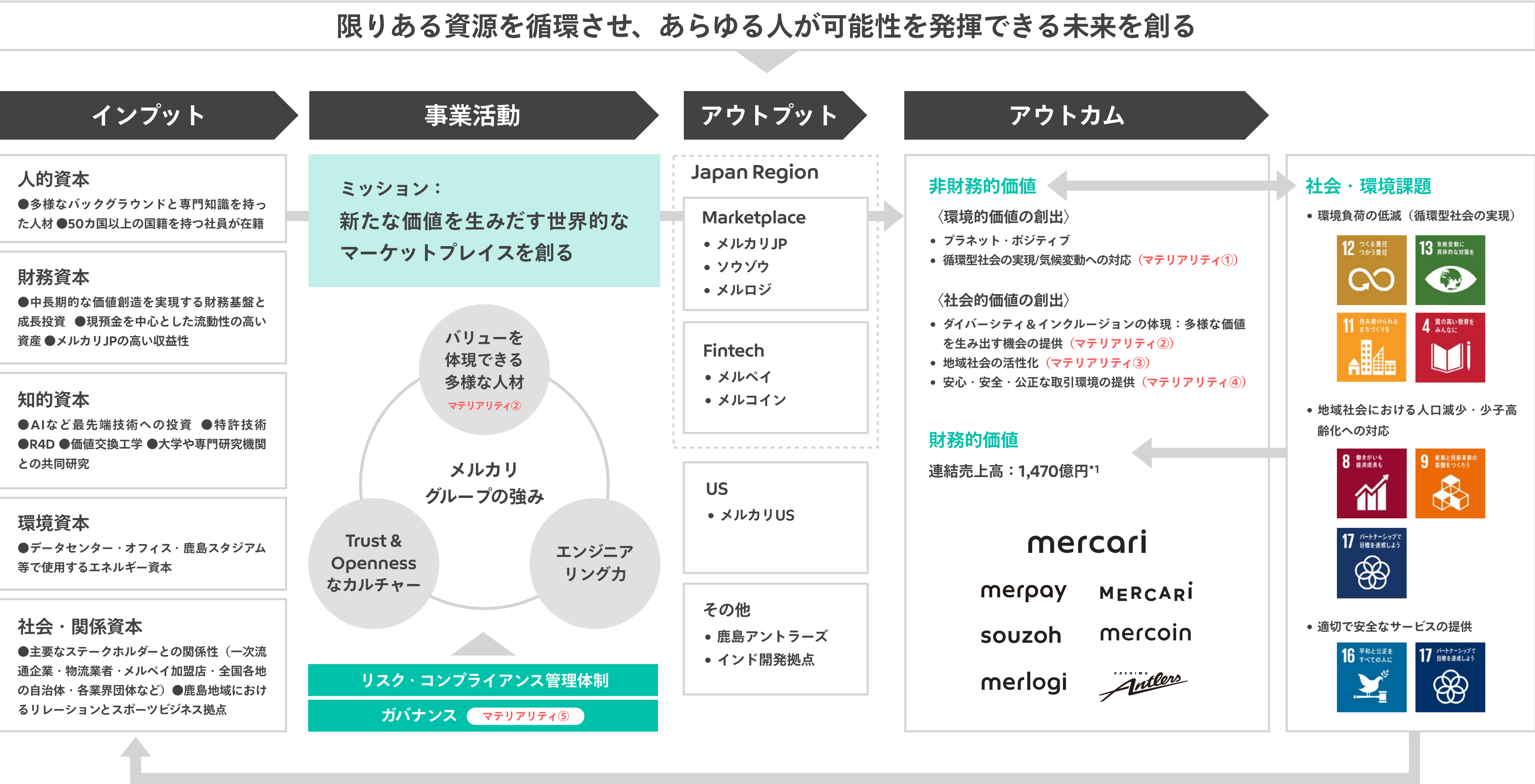
マテリアリティ	Opportunity／機会	Risk／リスク
01 循環型社会の実現 / 気候変動への対応	• プラネット・ポジティブな消費行動の浸透に伴うメルカリの利用者増 • メルカリを利用する新たな動機(環境貢献)の創出による利用者の拡大・利用頻度増 • 環境配慮の積極的な取り組みによる企業価値向上・資本調達コストの低下	移行リスク • カーボンプライシング導入等による燃料価格上昇による商品の配送コストの増加 • 気候変動対応が不十分なことによる金融機関・投資家からの評判低下 物理リスク • 自然災害の激甚化によるデータセンター等のダウン
02 ダイバーシティ & インクルージョンの体現	• さまざまなバックグラウンドをお持ちの方にとってより使いやすいプロダクト・サービスを提供することによる利用機会の増加、新規の顧客獲得 • 企業・ブランドイメージの向上 • 世界中幅広い分野からプロフェッショナルな人材を獲得し、メンバーの集合知を生かすことでミッション達成を加速できる • エンゲージメントが高まることによる離職率低下に伴う採用コストの削減	• 特定のお客さまにとって使いづらいプロダクトやサービスを提供することによる顧客層の限定化、売上の毀損 • 偏ったコーポレートメッセージの発信・マーケティング施策によるブランド価値の毀損 • 一部の社員にとって働きづらく活躍しづらい社内環境が改善されないことによる、社員の離職や、バリュー発揮の阻害、またそれによるプロダクト開発の後退
03 地域活性化	• 自治体との連携や社会課題解決に取り組むことによる企業イメージの向上、ステークホルダーからの信頼獲得 • 「メルカリShops」を通じて、地域の小規模事業者のEC化を支援することによる地域経済活性化の推進と取引量の増加 • メルペイを通じて、地域のキャッシュレス化による地域経済活性化の推進と、メルペイ決済の利用機会の増加	• 地域や地方自治体との連携不足による、ステークホルダーからの信頼の低下、それに伴う事業機会の毀損 • 鹿島アントラーズについては、地域との連携不足による地域住民やパートナー企業との信頼関係低下に伴うファンや収益の減少
04 安心・安全・公正な 取引環境の実現	• お客さまからの信頼獲得による利用機会の増加・新規の顧客獲得 • 社会からの信頼獲得・企業価値の向上	• 信頼の低下とそれに伴う利用者と売上の減少、企業価値の毀損 • インシデントや不正取引の発生による対応コストの増加
05 コーポレートガバナンス / コンプライアンス	• ステークホルダー（お客さま・社会・株主・投資家等）からの信頼獲得 • 意思決定の透明性の確保、レジリエンスの向上による安定的な経営体制の確立	• コンプライアンス違反による事業の低迷、社会的信用の失墜、企業価値の毀損 • ガバナンス体制の機能不全に伴う事業継続リスク、企業価値の毀損

価値創造プロセス

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/ 気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ & インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/ コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

マテリアリティ毎の機会を最大化しリスクを最小化できるような戦略的な資源配分を行うことで、持続的な企業価値向上を実現していきます



*1：FY2022.6（2021年7月～2022年6月）



マテリアリティ01

循環型社会の実現 / 気候変動への対応

mercari



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

「プラネット・ポジティブ」な世界を目指して

電力や資材など、さまざまな地球資源は人々が暮らすため、そして私たちメルカリが事業を営むためにも必要不可欠なファウンデーション（基盤）です。しかし今、人類は生態系が再生する速さよりも1.6倍速く*1自然資源を消費していると言われており、限りある資源が大切に使われる循環型社会を実現することは必ず達成すべき目標であると考えています。

私たちメルカリは、誰かにとって不要になったモノが他の必要な人のもとに届くマーケットプレイスです。そのため、メルカリを使っていただく方が増えれば増えるほど、環境にポジティブな変化を与えることができます。さらにこういったリユースの体験やサステナビリティへの関心の高まりなどから、人々の買う・使う・捨てることに対する意識が少しずつサステナブルに変わること、モノの生産や販売のあり方がアップデートされ、バリューチェーン全体への変化につながります。こうした変化を世界中で起こしていくことで循環型社会の実現に寄与するだけでなく、環境負荷軽減・気候変動への対応にもつながると考えています。

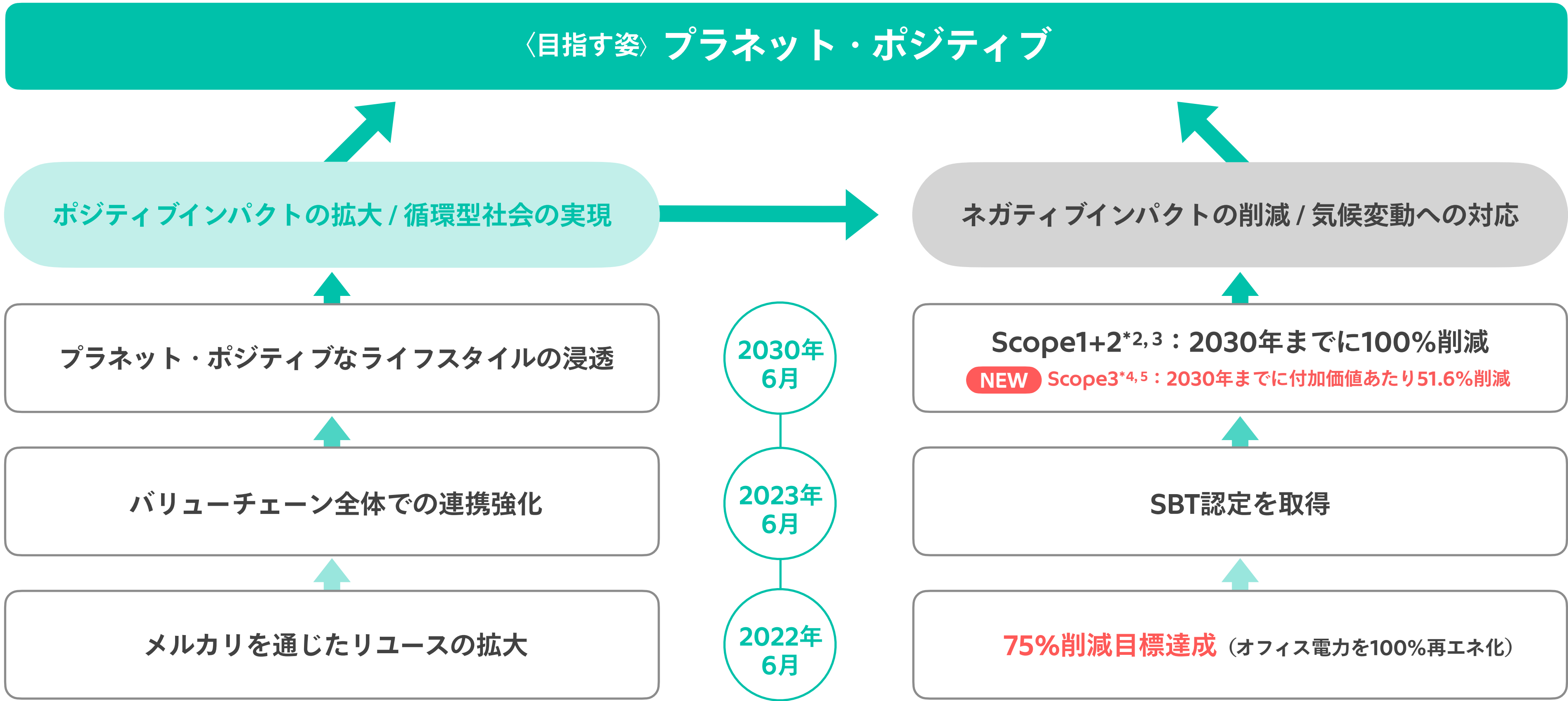
地球資源の限界を意味する「プラネタリー・バウンダリー」という概念が広がるなか、私たちは事業を通じて地球環境に対してポジティブなインパクトを生みだし続けていくことで環境課題の解決に貢献したいという思いを「プラネット・ポジティブ」という言葉で表現しました。今後もメルカリは、あらゆる人が可能性を発揮できる社会に向けて、プラネット・ポジティブを追求していきます。



*1：参照 [「生きている環境レポート2020」/WWF](#)

プラネット・ポジティブへの道筋

「循環型社会の実現」と「気候変動への対応」の側面から、プラネット・ポジティブを目指します。
また気候変動への対応については、SBT*1に沿ったScope3の数値目標を今年新たに設定しました



*1：Science Based Targetsの略。パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと
*2：Scope1：自社での燃料使用による直接排出 *3：Scope2：他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出
*4：Scope3：Scope1、Scope2を除く企業活動のサプライチェーン排出量 *5：当社の目標はカテゴリー1「購入した製品・サービス」が対象

循環型社会の実現

メルカリのサステナビリティ

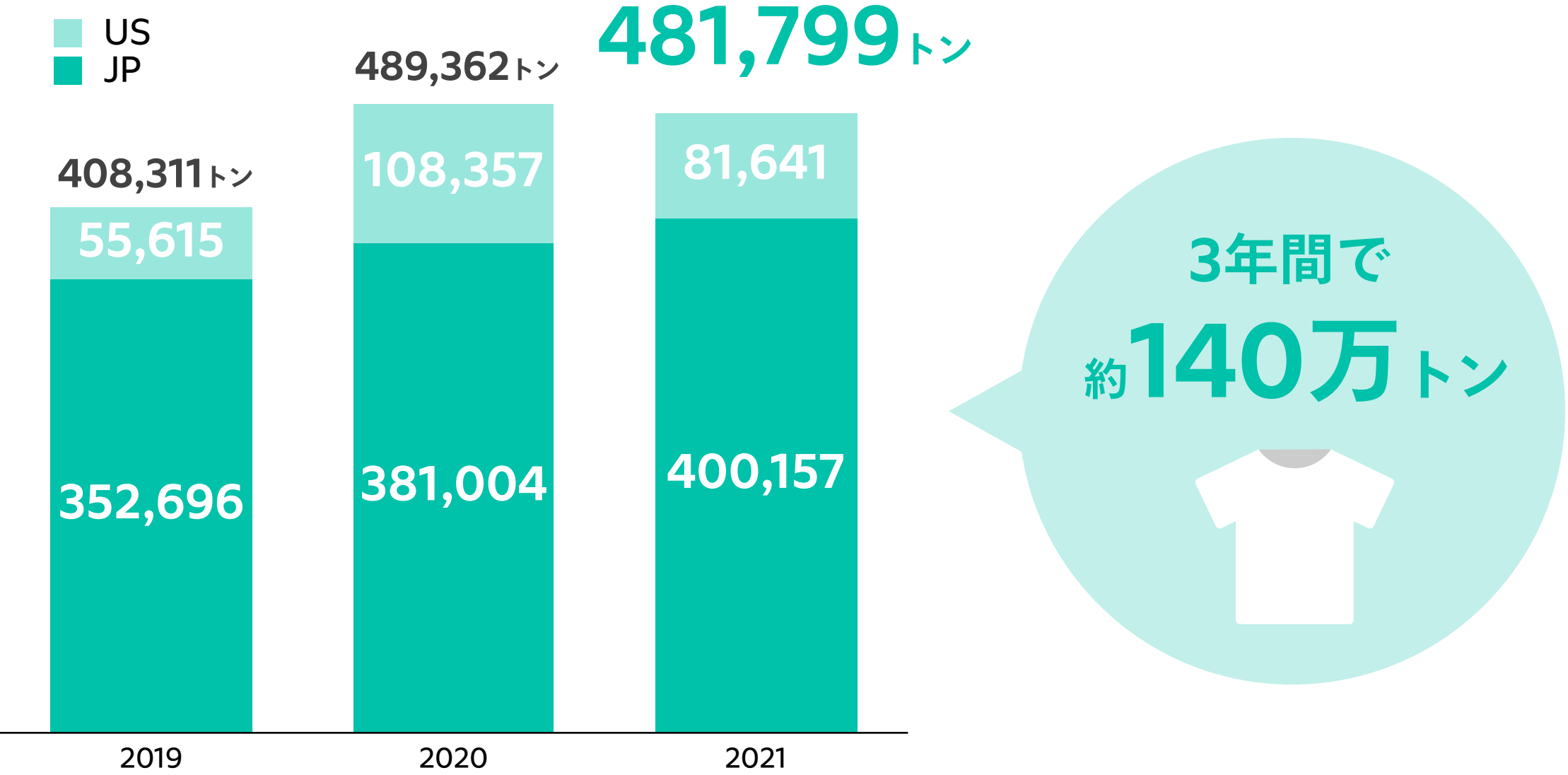
- 01 循環型社会の実現/ 気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ & インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/ コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリにおける取引*1を通じて
回避できたCO2排出量は、
「衣類だけ」で年間約48万トン*2

メルカリの中でも最も取引量が多い衣類カテゴリーのみ*1を対象にCO2排出量を今回初めて算出した結果、お客さまがメルカリで取引したことによって、2021年は約48万トンのCO2の排出を回避できたことがわかりました。また、直近3年間に於いて回避できたCO2排出量は衣類カテゴリーだけでも合計約140万トンに及び、事業成長とともに循環型社会の実現に着実に貢献することができていると考えています。

メルカリというマーケットプレイスの事業は、お客さまに使っていただければいただくほど、環境に対してポジティブなインパクトをもたらすことができるため、事業の成長がそのまま環境課題の解決にもつながっていきます。

*1：2019年4月～2022年3月の3年間に於けるメルカリJPとメルカリUSの「レディース」「メンズ」「キッズ」のカテゴリーで取引完了となった中古品を対象商品に設定
*2：当該カテゴリーで取引された商品が、新品の代わりに利用されたと仮定したことで回避できるCO2排出量を、調整係数をかけて製品ライフサイクル（生産・流通・使用・廃棄）を考慮して算出。（回避できるCO2排出量＝（中古品に相当する新品を使用した場合のCO2排出量）－（中古品を使用した場合のCO2排出量））。衣類のCO2排出原単位は環境省のデータを参照（出典：環境省「ファッションと環境調査結果」）。メルカリUSのCO2排出量の分析結果においても環境省のデータを参照して推計。
メルカリにおいて取引量が最も多く、算出データも揃っていることから、第一弾として「衣類」カテゴリーを対象に算出を実施（監修：東京大学 価値交換工学社会連携研究部門 特任研究員 文多美）。今後、製品カテゴリ別中古品再利用による環境影響の研究を中長期プロジェクトとして継続していく予定



メルカリで取引されたことで
回避できるCO2排出量（2021年・衣類のみ）

約48万トンのCO2排出量＝

東京ドーム約200杯分の容積に相当*3



*3：ドーム1杯分の二酸化炭素：2436t-CO2 (東京ドームの容積：124 万 KL、1mol=22.4L=44g-CO2, 出典：東京ドーム)

循環型社会の実現

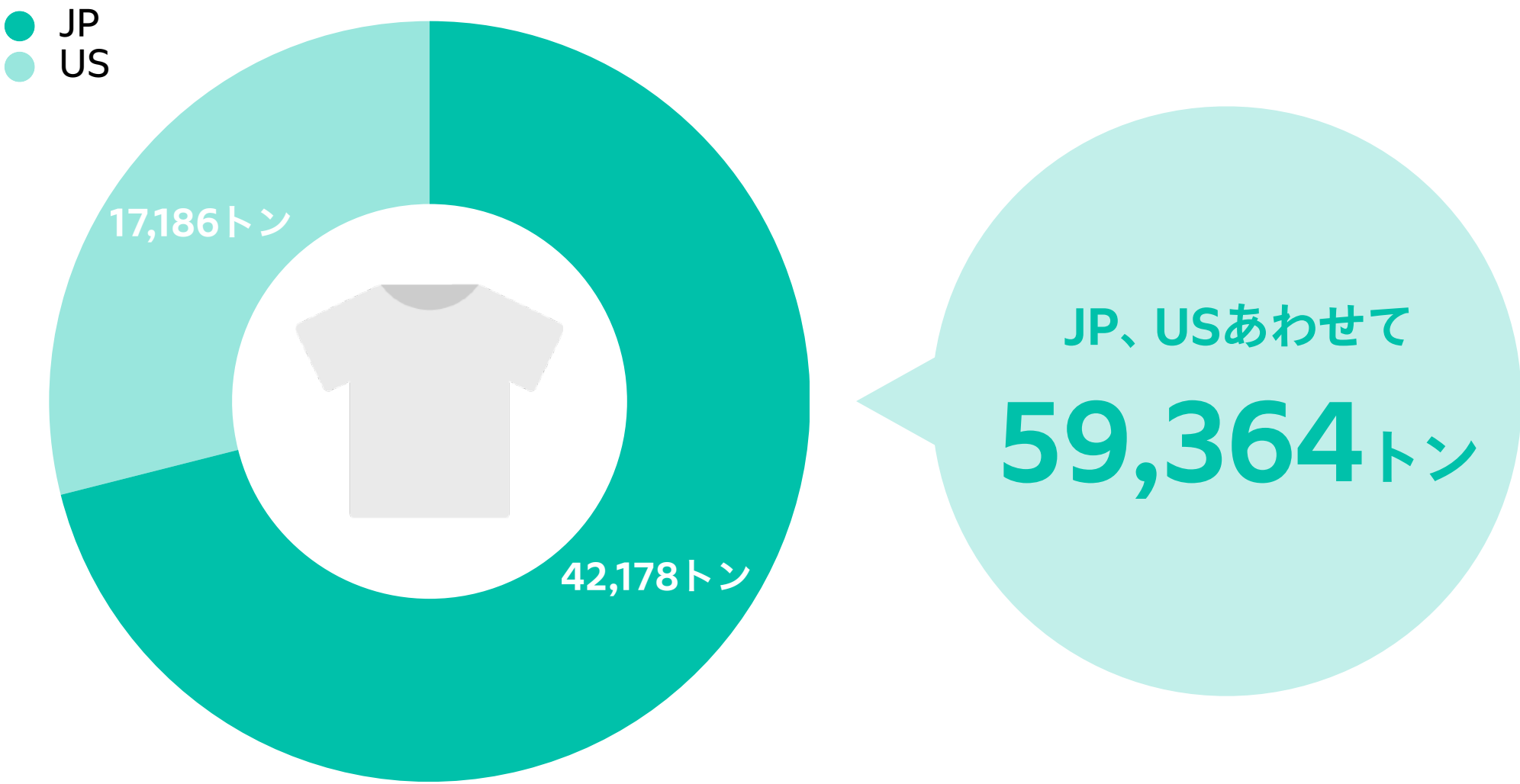
メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/ 気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ & インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/ コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリに出品された*1ことで、
年間約**5.9万トン**もの衣類が捨てられずに
次の必要な人へとつながっていきます

メルカリに出品されたことで回避できた衣類廃棄量（重量）は日本だけでも約**4.2万トン***1でした。これは日本で1年間に捨てられる衣類の総量**48万トン***2の約**8.8%**に相当します。

使わなくなった衣類も、捨てずにメルカリで出品したり購入したりすることができれば、環境負荷を減らし、循環型社会の実現に近づくことができます。



メルカリに商品が出品されたことで、
廃棄を回避できた衣類の重量（衣類のみ）

約**5.9万トン**の
衣類廃棄量=

10トントラック約5900台分に相当



*1：2021年4月-3月におけるメルカリJPとメルカリUSの「レディース」「メンズ」「キッズ」カテゴリで出品完了した商品数より算出。衣類の重量は、経済産業省のデータを参照（出典：[経済産業省「繊維産業活性化対策調査」](#)）。メルカリUSの重量においても経産省のデータを参照して推計。 *2：出典：環境省 [サステナブルファッション](#)

循環型社会の実現

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

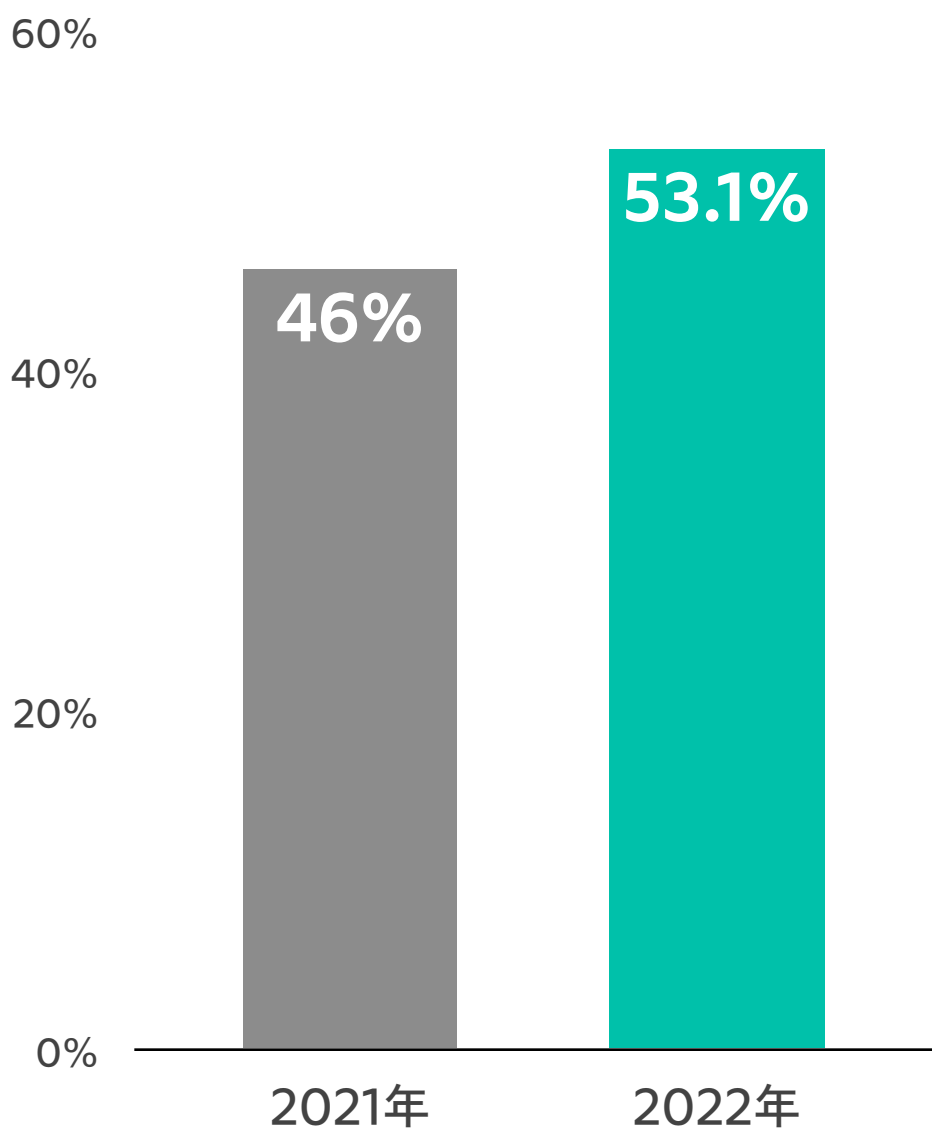
ESGデータ集

Appendix

中古品を買ったことがある人は昨年度調査比で7.1pt増加、不要品を「捨てる」人は昨年度調査比で2.8pt減少。
さらにメルカリの利用を通じて、消費行動に対する意識がサステナブルなものに変容しています

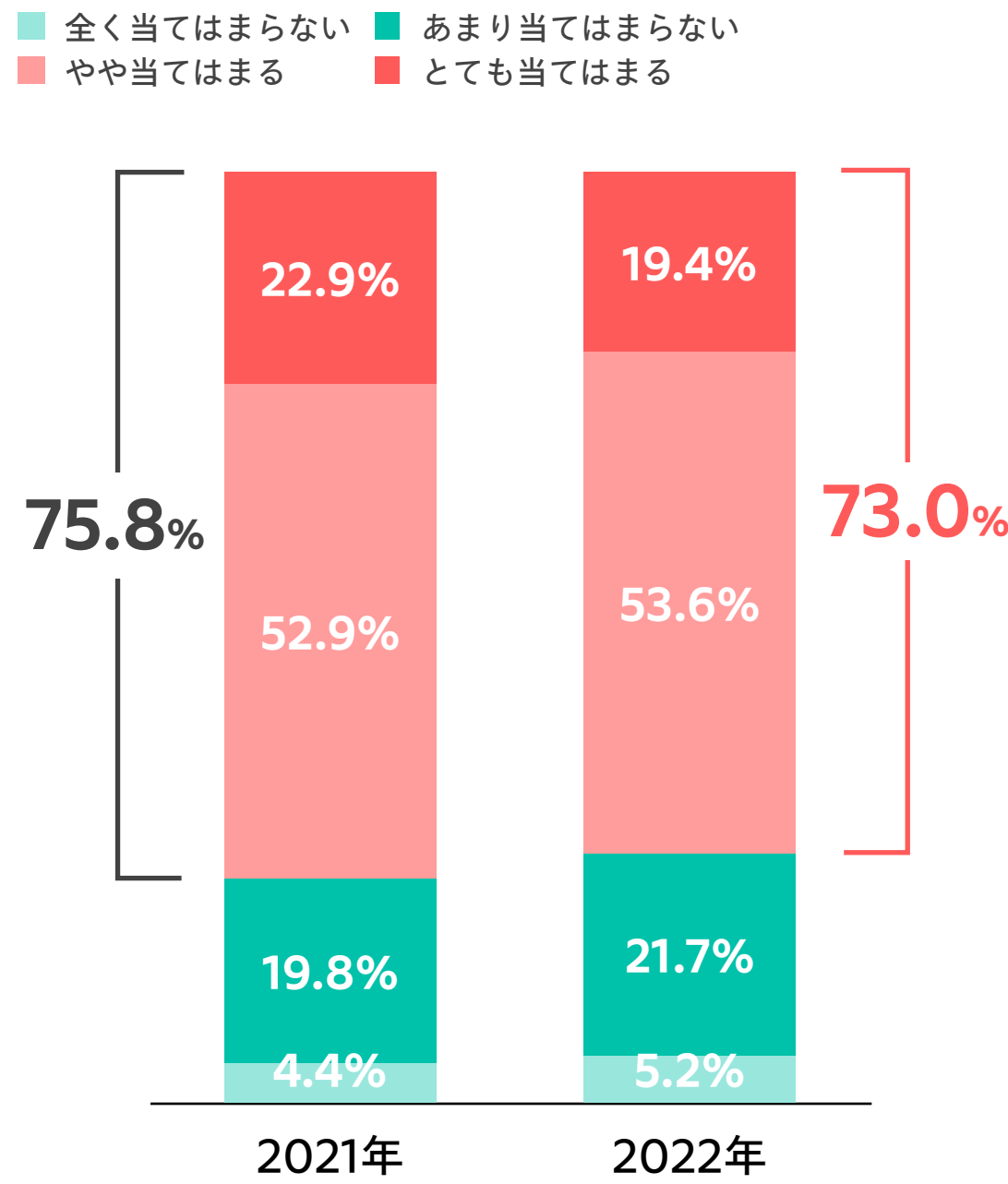
購入における意識の変化

直近1年間で中古品を買ったことがある人*1

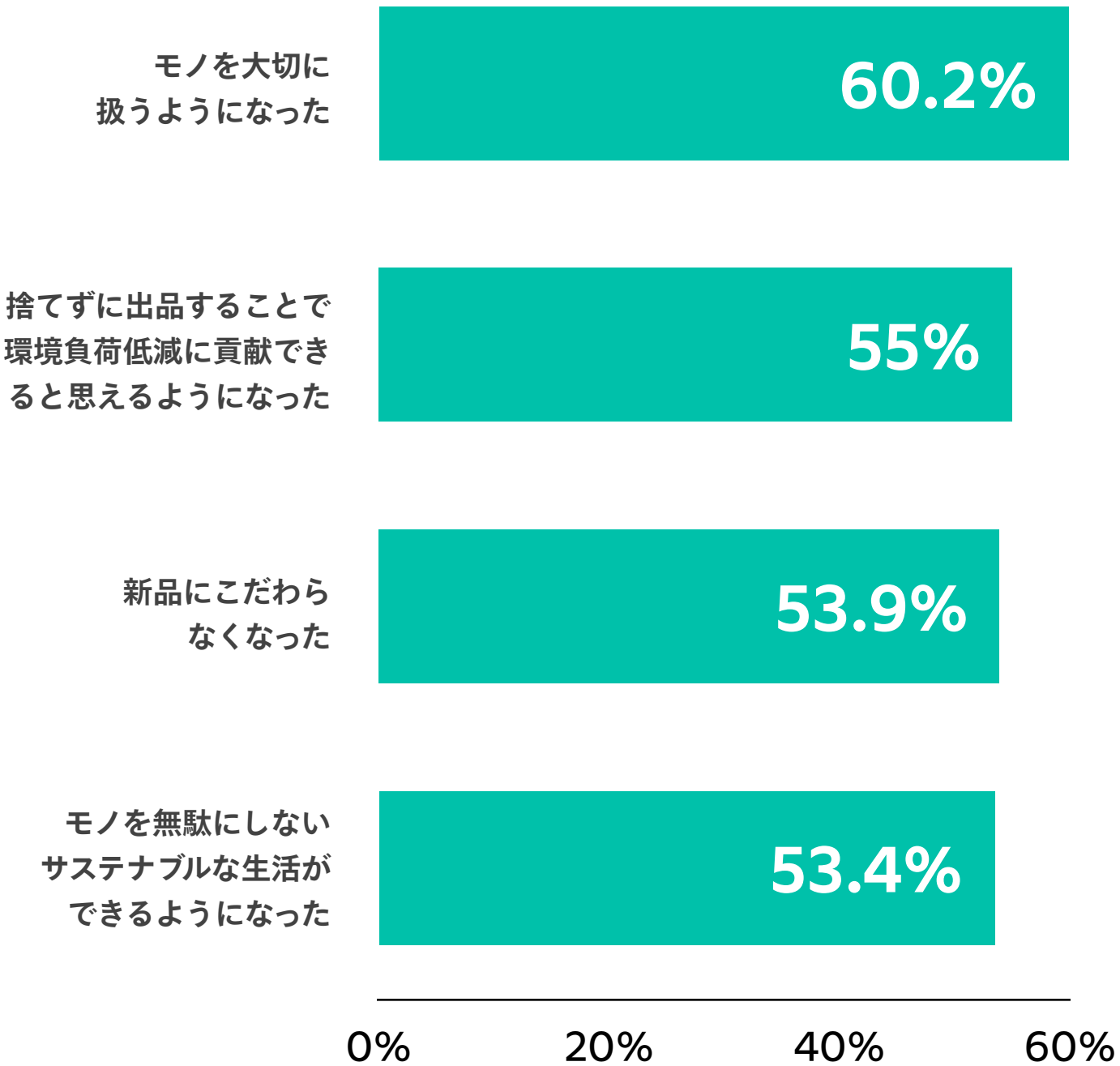


不要品の手放し方の変化

使わなくなったものに対して
「ゴミとして捨てる」という選択肢を取る人*1



メルカリを利用したことによる経験や気持ちの変化*2



*1：2022年6月、2021年7月に全国15～69歳の男女3,000名に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より
*2：2022年6月に全国15～69歳の男女3,000名に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より、メルカリ利用経験がある1,552名から回答

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

循環型社会の実現 / FY2022の取り組み

「買う・使う・捨てる」という消費行動そのものに対する意識を
中長期にわたり変えていくための取り組みを実施しています

Awareness

「捨てる」以外の 選択肢をより身近に

- ・「メルカリエコパック」の開発
- ・「メルカリエコボックス」の開発
- ・「サステナストア」のオープン
- ・記念横断幕のアップサイクル商品の販売
- ・来客用の飲料容器の変更
- ・CM撮影時における必要備品の再利用



Education

サステナブルな行動について 学習できる環境を

- ・出張授業形式にてプログラムを提供
- ・6つのプログラムを教育ポータルにて無償公開



Collaboration

バリューチェーン全体で 循環型社会を実現する

- ・メルカリ物価指数の発表
- ・メルカリ教室の拡大
- ・メルカリポストの設置
- ・メルカリステーションの展開
- ・集荷梱包サービスの実証実験



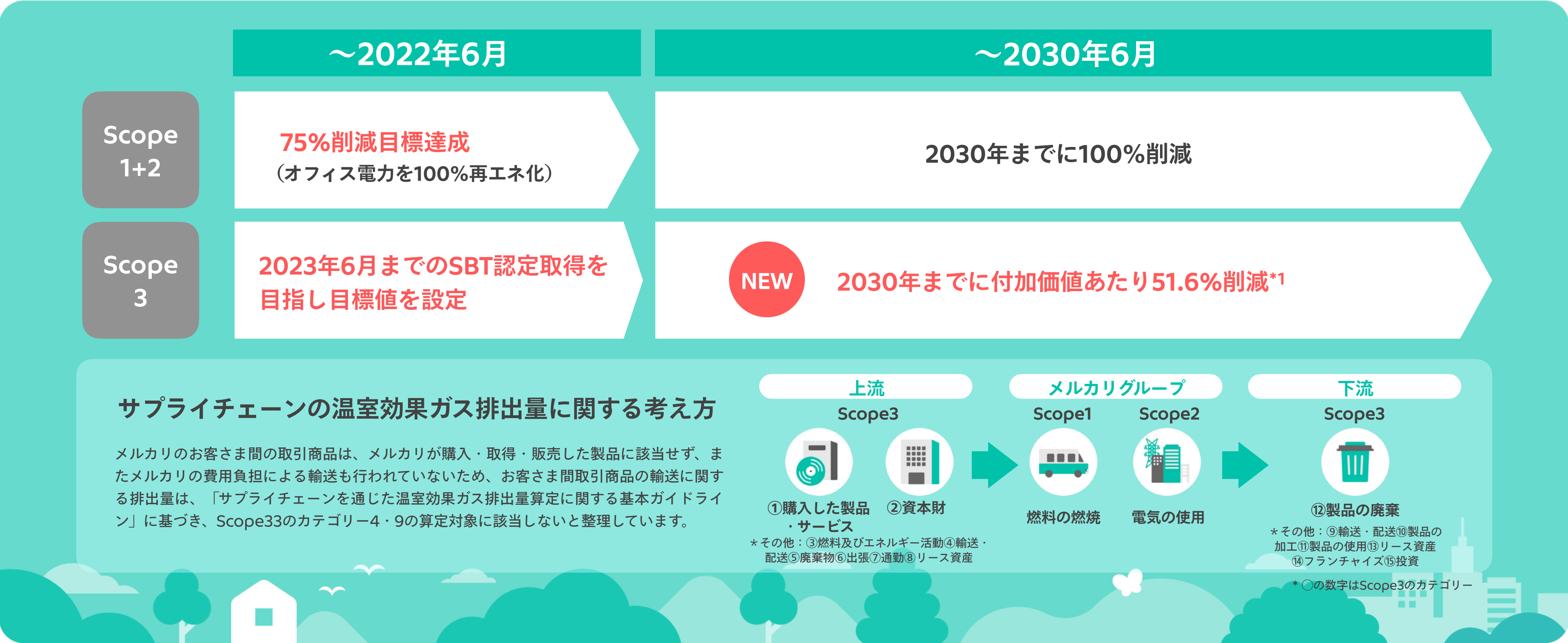
メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

気候変動への対応 / 温室効果ガス削減の目標

2030年までにScope1+2を100%、Scope3を付加価値あたり51.6%*1の削減を目指します

Scope1+2*2,3については、カーボン・オフセットによる再エネ電力を調達することで昨年掲げた**75%削減目標を達成**しました。引き続き、オフィス電力の再エネ切り替えや、Scope1の削減に取り組むことで、**Scope1+2は、2030年までに2020年比で100%削減**を目指します。Scope3*4については、複数回にわたりESG委員会で議論を重ねた結果、**今回新たに「2030年までに2020年比で付加価値あたり51.6%削減*1」**という目標を掲げました。この目標値にて、2023年6月までにSBT認定を取得する予定です。2030年に向けて、Scope1+2に関しては総量削減、Scope3に関しては付加価値あたりの排出量（原単位）を削減していきます。



*1：当社の目標はカテゴリー1「購入した製品・サービス」が対象
*2：Scope1：自社での燃料使用による直接排出 *3：Scope2：他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出 *4：Scope3：Scope1、Scope2を除く企業活動のサプライチェーン排出量

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

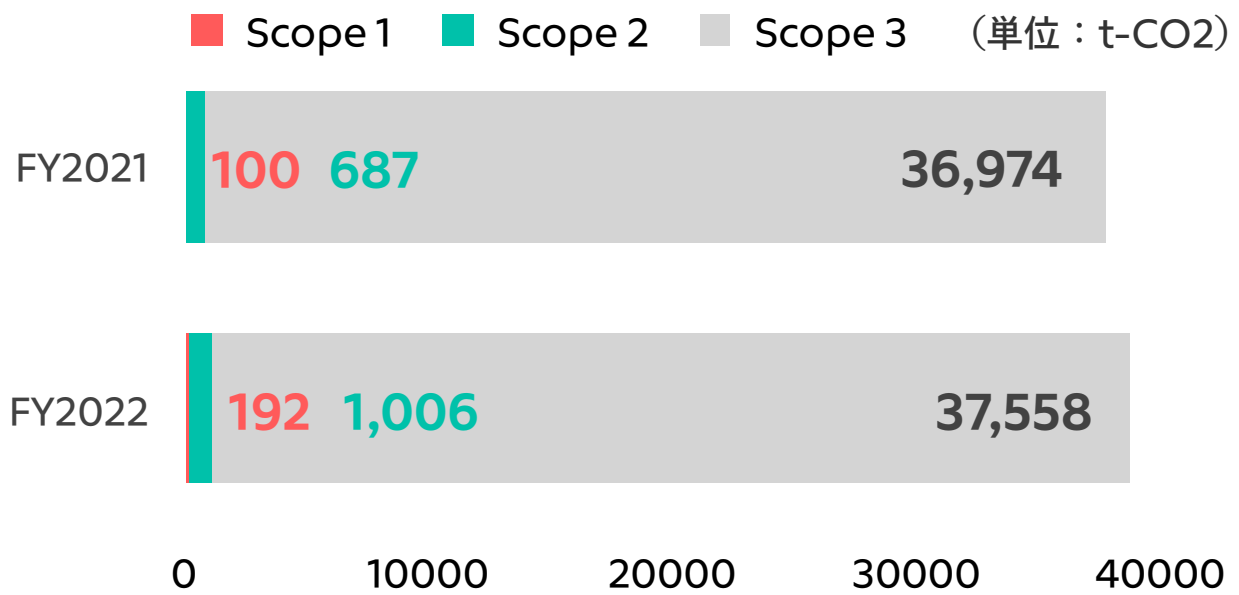
Appendix

気候変動への対応 / FY2022 温室効果ガス排出量

メルカリグループ全体の温室効果ガス排出量は約3.8万トンで、昨年度と比較し
Scope1+2は75%削減し、Scope3は原単位ベースで17%削減しました

Scope1+2

Scope1は鹿島アントラーズFCにおける社用車や、関連施設でのボイラー等、
Scope2はオフィスや鹿島アントラーズFC関連施設での電力使用に伴う排出が含ま
れます。今年度はオフィスへの出社や設備利用が増えた影響で、昨年度より排出量が
微増していますが、今後も引き続き再エネ電力への切り替えや燃料の入れ替えを検討
していきます。またFY2021のScope2の排出に関しては、**カーボン・オフセット**を実
施しました。



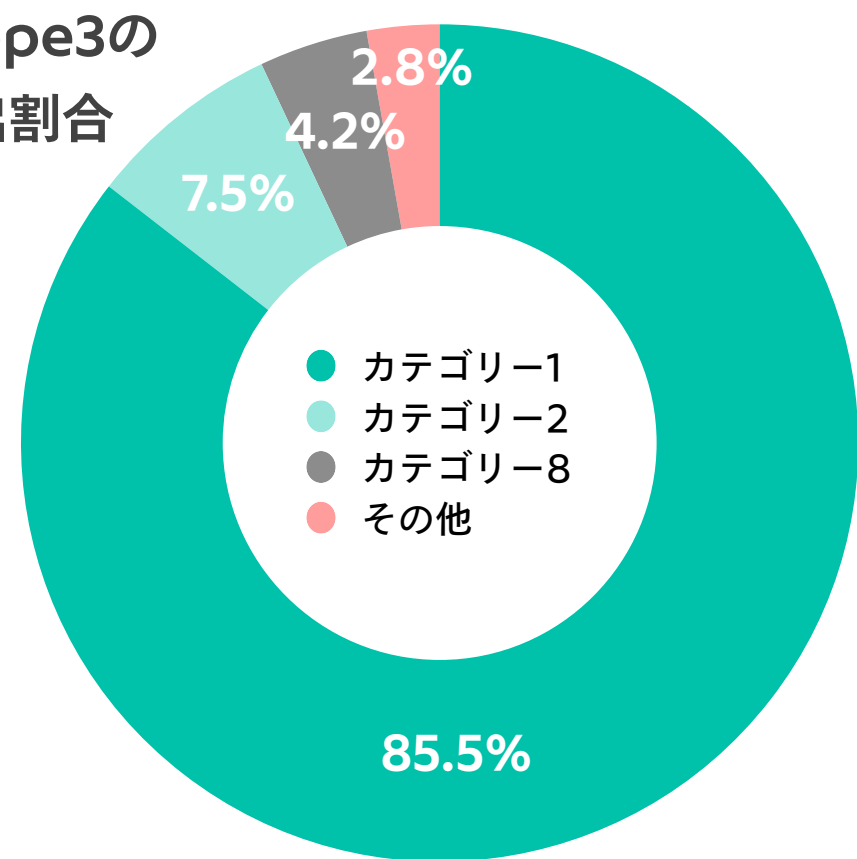
Scope3が全体の
97%
を占めます

Scope3

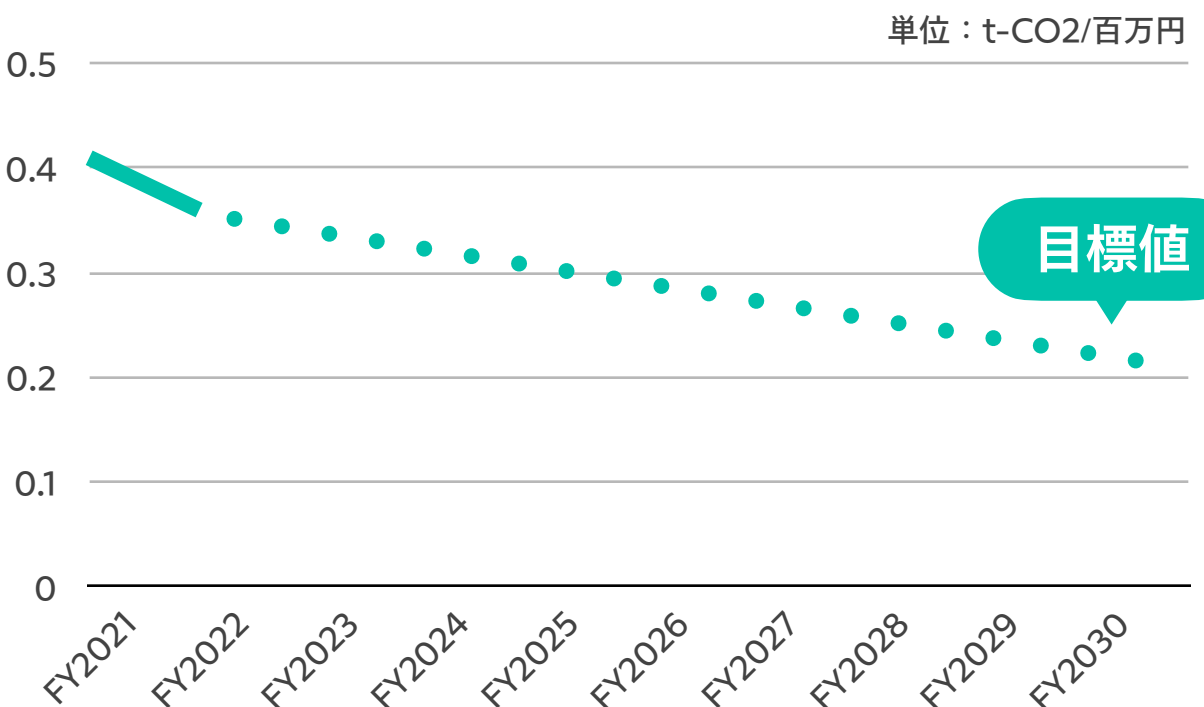
Scope3は、インターネット産業を主とする事業の特性上、カテゴリー1
がScope3の約85%を占めます。そのため**カテゴリー1（購入した製
品・サービス）の付加価値あたり**の排出量の削減を目指しており、基準
年であるFY2021の**0.41**（t-CO2/百万円）から、FY2022では**0.34（昨
年比17%減）**に減少しました。

カテゴリー1：購入した製品・サービス（広告宣伝費、ソフトウェア・データセンター利用などに伴う排出）
カテゴリー2：資本財（自社が購入・取得した資本財の建設・製造・輸送等に伴う排出）
カテゴリー8：リース資産（鹿島関連施設の燃料・電気等のエネルギー使用に関するCO2排出量）

Scope3の 排出割合



購入した製品・サービスの付加価値あたりの排出量



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

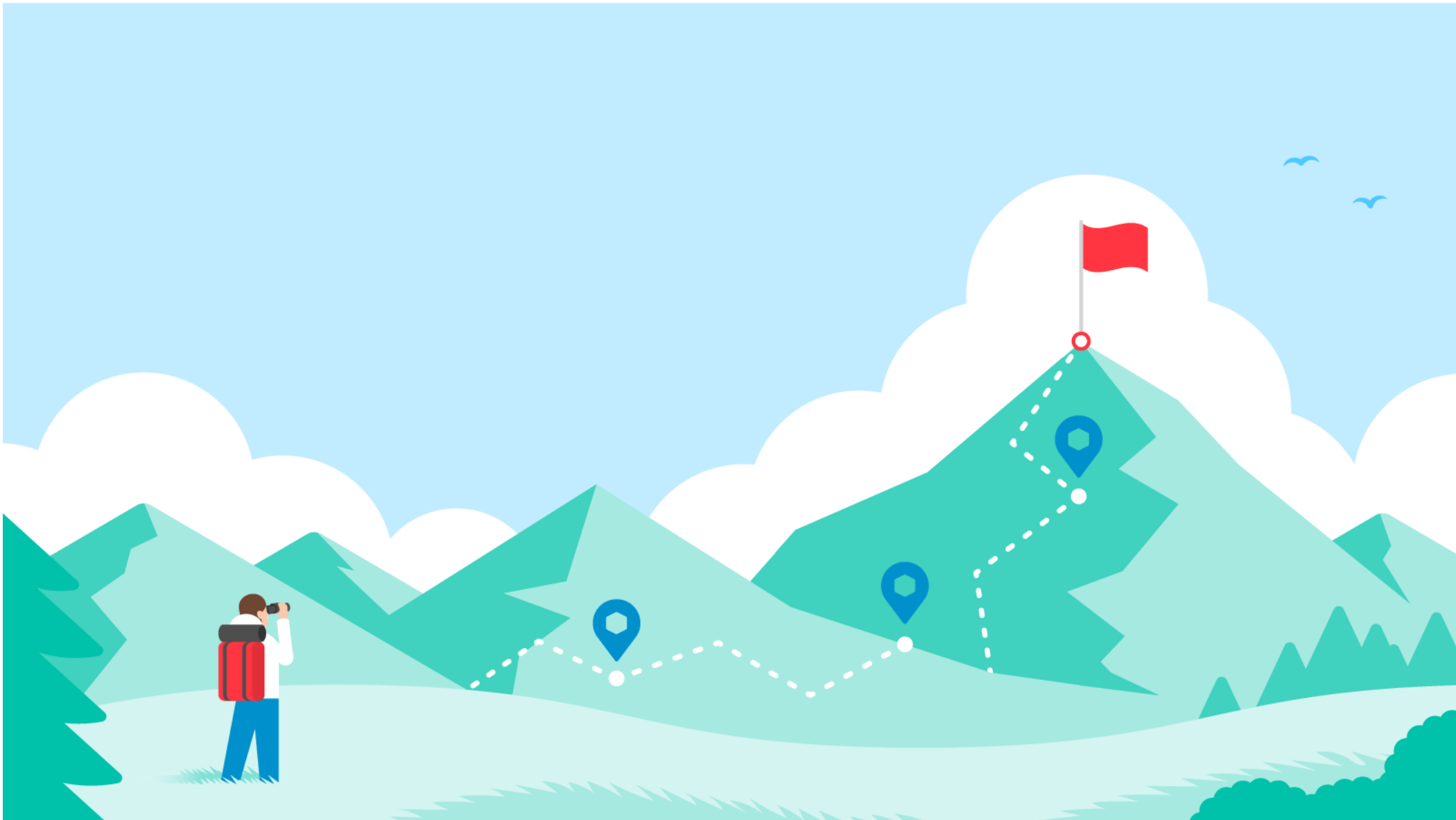
ESGデータ集

Appendix

気候変動への対応 / FY2022の取り組み

2030年の目標達成に向け、 引き続きアクションを実施していきます

- Scope2に関するカーボン・オフセットの実施
- SBTコミットメントレターの提出
- Scope3に関わるサプライヤーとのコミュニケーションを開始



今後の削減アクション予定項目

以下のアクションアイデアを基に、温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。具体的なアクションは、中長期でのビジネス成長と削減目標への貢献度等を加味しながら、ESG委員会にて議論を行い、決定・実行します。

- オフィス電力の再エネ導入
- カーボン・オフセットの活用
- 社用車等に係る燃料の見直し
- サプライヤーエンゲージメントの拡大
- リユース資材の展開
- 梱包レス取引の検討
- 低炭素配送の研究
- ゆっくり宅配の実施
- サステナブルなお買い物スタイルの発信
- リユース・リサイクル梱包、プラ梱包削減の推進
- 商品のアップサイクル・リサイクル推進

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

メルカリグループでは、気候変動問題を事業に影響をもたらす重要課題の一つととらえ、経営戦略に取り入れ、グループ全体で気候変動対策に積極的に取り組んでいます。2021年6月にはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への賛同を表明しました。

TCFD提言は、全ての企業に対し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの項目に基づいて開示することを推奨しています。メルカリグループは、TCFD提言の4つの開示項目に沿って、気候関連情報を開示いたします。

1.ガバナンス

ESGの視点や経営の意思決定および業務の執行プロセスに組み込む体制を新たに構築するために、上級執行役員会の諮問機関としてESG委員会を2021年12月より設置しています。経営における重要アジェンダの一つとして、ESGや気候変動関連に関する十分な議論の時間を定期的に確保することで、より質の高い議論を可能にし、上級執行役員会での意思決定の質を高めることを目的としています。また、各カンパニーごとにESG担当役員を選任し、ESG視点から事業に関する各種経営判断に関与することで、メルカリの各事業とマテリアリティごとのESG施策を両立し、かつスピーディーに実行・推進ができるような体制を確保しています。また、ESG担当役員は、ESG委員会の委員メンバーとして、メルカリグループ全体のサステナビリティ戦略に関する議論及び意思決定にも関与します。過去3回のESG委員会の議事概要は[コーポレートサイト](#)にて公開しています。

経営者の役割

ESG委員会では、代表取締役CEO（社長）山田進太郎を委員長とし、各カンパニーのCEOやESG担当役員など、委員長が指名したメンバーとともに、年に4回、マテリアリティごとの実行計画策定や進捗状況のモニタリングなどに取り組んでまいります。

2.戦略

メルカリグループ全体を対象として、気候変動に関連する「移行リスク」「物理的リスク」「機会」を特定するためにシナリオ分析を実施しました。シナリオ分析では、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）や国際エネルギー機関（IEA）等の科学的根拠等に基づき2つのシナリオ（1.5℃/2℃シナリオ、4℃シナリオ）を設定し、メルカリグループの2030年以降の社会を考察しています。シナリオ分析に基づく、気候変動に関連する主なリスクと機会は以下の通りです。

区分			気候変動がメルカリグループに及ぼす影響	事業インパクト	当社の対応策
リスク	物理的リスク	急性	自然災害の激甚化によるデータセンター等のダウン 自然災害の激甚化により、データセンターや電力会社が被災した場合、電気及びネットワークの中断、データセンターのダウン等を引き起こし、顧客（売り手・買い手）がオンラインで販売及び購入できなくなる	中	・ 操業停止期間を減少させるBCPの構築 ・ 災害復旧計画の検討
	移行リスク	政策・法規制	カーボンプライシング導入等による燃料価格上昇による商品の配送コストの増加 カーボンプライシングの導入等、燃料価格上昇による商品の配送コストの増加は、顧客（売り手・買い手）に影響を与え、マーケットプレイスで販売される商品の需要に影響する	小	・ サプライヤーエンゲージメントの強化の推進
	移行リスク	評判	気候変動対応が不十分なことによる金融機関・投資家からの評判低下 投資家や金融機関から気候変動関連の対応や情報開示への要請が高まる中、対応が不十分であった場合、株価低下のリスクや資金調達への影響が想定される	中	・ 情報開示の充実化 ・ 2030年までのScope1+2 100%削減とScope3 付加価値あたり51.6%削減*1
機会		評判	環境意識の高まりによる、消費者選好の変化における競争力の強化 プラネット・ポジティブな消費者行動の浸透に伴うメルカリ利用者の増加と、メルカリを利用する新たな動機（環境貢献）を創出	大	・ プラネット・ポジティブな消費者行動の浸透に伴うメルカリ利用者の増加

*1：当社の目標はカテゴリー1「購入した製品・サービス」が対象

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

（前項より）

事業/財務影響評価

- ・大（30億円以上）：事業戦略への影響または財務的影響が大きいことが想定される
- ・中（1億円以上、30億円未満）：事業戦略への影響または財務的影響が中程度と想定される
- ・小（1億円未満）：事業戦略への影響または財務的影響が小さいことが想定される

上記の通り、メルカリグループの事業活動にとっては、気候変動に伴う環境意識の高まりや消費者行動の変化によって創出される市場機会の方が気候変動リスクがもたらす影響よりも重大なものと評価しています。また、「環境意識の高まりによる、消費者選好の変化における競争力の強化」に関しては、プラネット・ポジティブな消費者行動の浸透に伴うメルカリ利用者の増加と、メルカリを利用する新たな動機（環境貢献）を創出しうる機会と捉えています。

3. リスク管理

メルカリグループでは、グループの事業が気候変動によって受ける影響を把握し評価するため、シナリオの分析を行い、気候変動リスク・機会を特定しています。特定したリスクと機会は、ESG委員会含むサステナビリティ推進体制において管理しています。案件に応じて、取締役会に報告・提言を行うフローも構築されています。

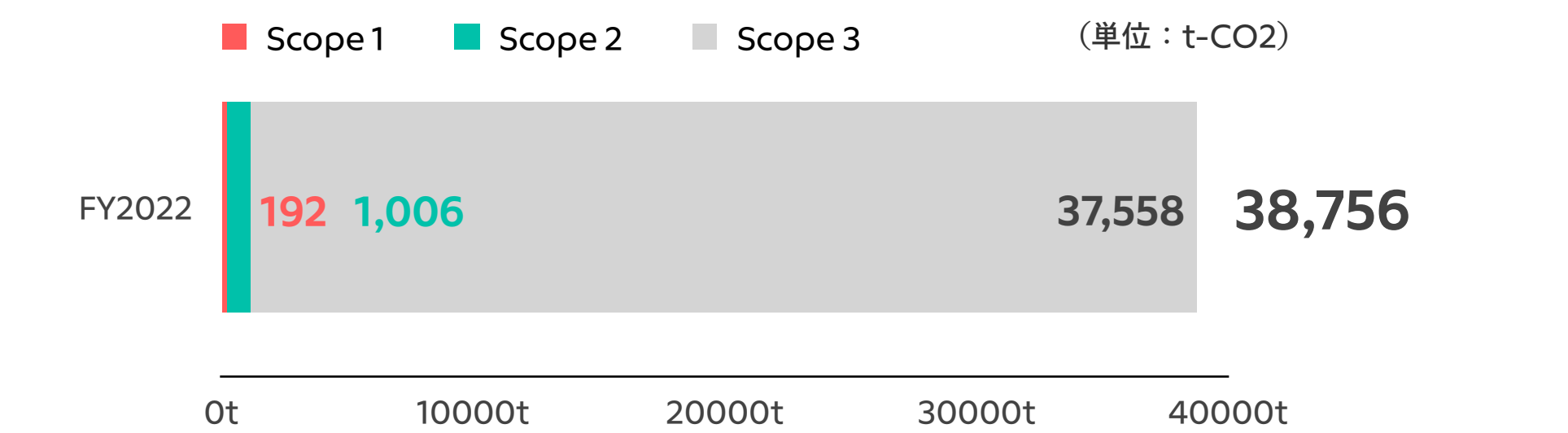
また、コンプライアンス・リスク管理委員会において、全社での重要リスクを特定しリスク管理を実施しており、気候変動リスクについても事業へ重大な影響を及ぼすリスクに対しての対応課題の検討および優先度の決定を行い対応方針を定めています。

4. 指標と目標

Scope1+2*1,2は2030年までに2020年比で100%削減、Scope3*3,4は2020年比で付加価値あたり51.6%削減を目指します。この目標値にて、2023年6月までにSBT認定を取得する予定です。

【FY2022（2021年7月～2022年6月） 排出量実績】

FY2022のメルカリグループ全体の温室効果ガス排出量は約3.8万トンで、以下の結果となりました。Scope1+2は75%削減達成、Scope3は原単位ベースで昨年度と比較し17%削減しました。2030年の目標達成に向け、引き続きさまざまなアクションを実行していきます。



*1：Scope1：自社での燃料使用による直接排出 *2：Scope2：他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出
*3：Scope3：Scope1、Scope2を除く企業活動のサプライチェーン排出量 *4：当社の目標はカテゴリー1「購入した製品・サービス」が対象



マテリアリティ02

ダイバーシティ & インクルージョンの体現

mercari



誰もが自身の可能性を広げ、価値を生みだせる社会の実現を目指して

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 **ダイバーシティ&
インクルージョンの体現**
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

世界は、私たちの想像を超える多様性にあふれています。ジェンダー・アイデンティティ、性表現、性的指向、宗教、信条、ニューロ（脳や神経）、障がい、民族、国籍、人種、年齢など、さまざまなバックグラウンドを持つ人々がこの世の中には存在します。

メルカリは、バックグラウンドによって個人の可能性が決めつけられることなく、誰もが簡単に取引に参加でき、自由に価値を生みだす機会を手にする社会の実現を目指しています。そのために、メルカリグループ全体で、「インクルーシブなプロダクトやサービスの開発」に向けた取り組みを進めています。

そして、より多くのお客さまにとって「使いやすい」プロダクトやサービスを提供するためには、それらを生み出す私たち自身が多様で、インクルーシブなカルチャーを体現する必要があるとの考えから「社内のダイバーシティ&インクルージョン推進」にも力を入れており、目に見える違いだけでなく、目に見えない違いも理解し、「メルカリらしいダイバーシティ&インクルージョン」を推進しています。



インクルーシブなプロダクトやサービスの開発

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 **ダイバーシティ &
インクルージョンの体現**
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリグループのミッションを達成するため、
より多くのお客さまにとって使いやすく参画しやすい、プロダクト・サービスを展開します



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

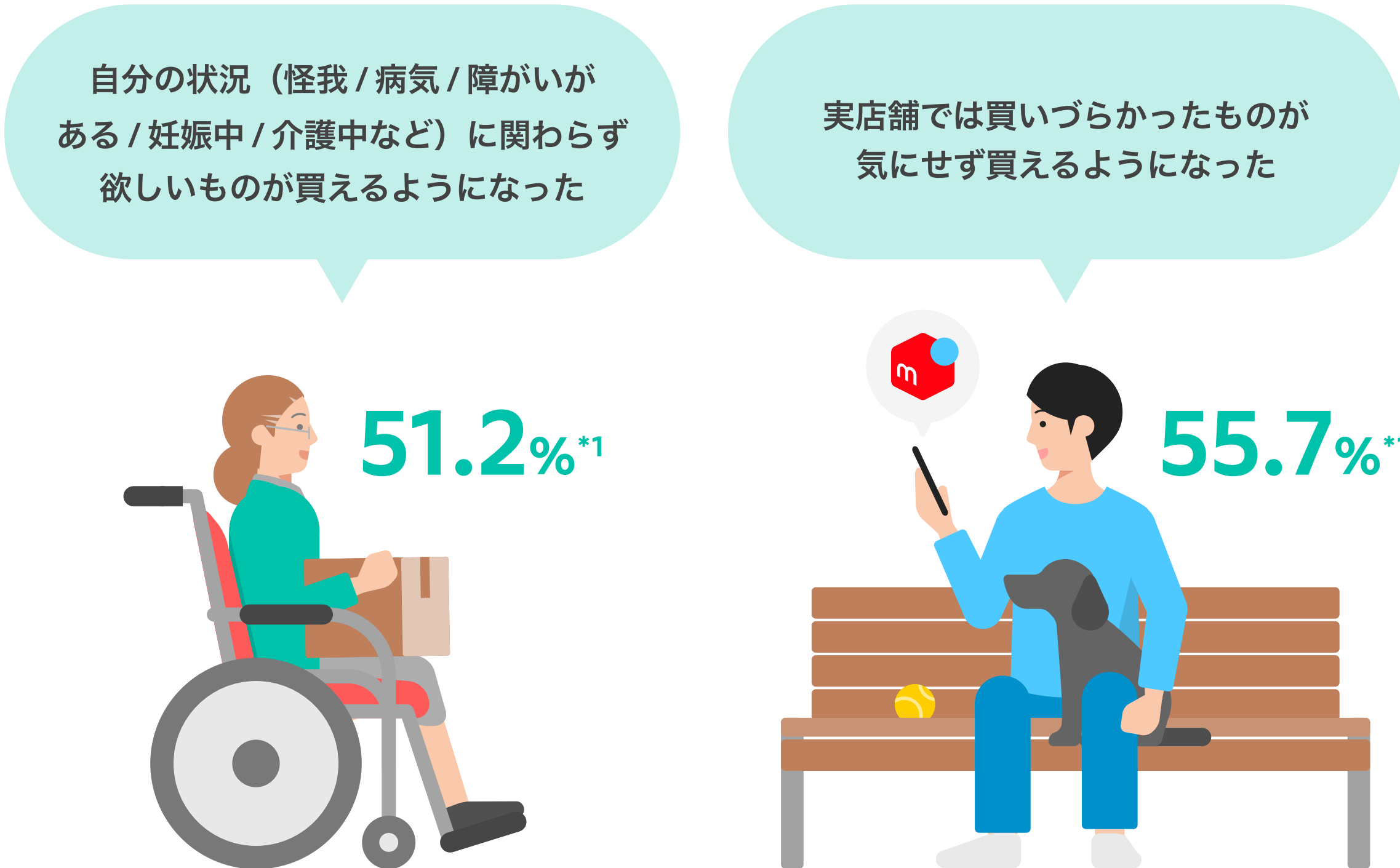
外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

インクルーシブなプロダクトやサービスの開発

メルカリは、多様なバックグラウンドを持つ
多くのお客さまが価値交換に参加できる機会を創りだしています



調査に基づくお客さまからのコメント

【自分の状況に関わらず欲しい物が買えるようになった】

- ・ 郊外に住んでおり、病中のため外出できないため、趣味として買
い物ができると、趣味に関する品物が購入できることで、苦し
い事ばかり考えてしまいましたが、メルカリによって生きがいが
もてました。（40代男性）

【実店舗では買いづかったものが気にせず買えるようになった】

- ・ 匿名で買えるから服が買いやすくなった。（20代女性）

【その他お客さまの声】

- ・ 知らない人とのやりとりで新たな世界が広がった気がした。勿体
ないという価値観が支持される気がする。（60代女性）
- ・ インターネット上で見知らぬ人と会話することに抵抗が少なく
なった（40代男性）
- ・ 丁寧に梱包されていたり、メッセージやおまけを付けてくれる方
もあり、良い人がたくさんいると幸せを感じる（50代女性）
- ・ いい対応をしたり、してくれたりしたときに、ありがとうの言葉
で、嬉しくなる。相手の気遣いがありがたく思い、ポジティブに
なる（50代女性）

*1：2022年6月に全国15～69歳の男女 3,000名に調査会社を通じて行ったアンケート調査より、メルカリ利用経験がある1552名から回答

インクルーシブなプロダクトやサービスの開発 / FY2022の取り組み

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

より多くのお客さまのニーズに寄り添った プロダクト・サービスとなるための機能改善に取り組んでいます

開発・サポート体制の改善

- プロダクトのアクセシビリティ向上、国際基準実装に向けた社内勉強会を実施
- カスタマーサービスにおける取り組み：お客さま対応の案内文に対して、日本語を母語としない方にもわかりやすい「やさしい日本語」に改善していくプロジェクトが進行中
- マーケティング施策における取り組み
 - ・ブランドガイドラインを改訂
(コンテンツに対しダイバーシティ & インクルージョン視点でのチェック項目を追加)
 - ・ダイバーシティ & インクルージョン観点でのレビュー体制を構築し、レビューを必須化
 - ・マーケティング × ダイバーシティ & インクルージョン社内勉強会を実施

機能改善

- キーボード上のTabキーや簡単なキーストロークだけで、サイト上の操作を実施することができる機能の導入を検討開始（Web版メルカリ、マウスを動かしての操作が難しいお客さま向け）

多様なニーズの理解

- ロービジョンや色盲のお客さまへのユーザーインタビューを実施

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 **ダイバーシティ&
インクルージョンの体現**
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

私たちが「ダイバーシティ&インクルージョン」を推進するうえで大切にしていることは、数値的な目標を設定しないことです。なぜなら、数値的な目標だけに基づく意思決定を行うことが、必ずしも本質的なアプローチであるとは考えていないからです。

組織や事業の成長につながる本質的なダイバーシティ&インクルージョンを推進するためには、むしろ、採用から入社後の活躍まで全ての社員体験や組織の状態を人事データなどを用いながら可視化し、構造的不平等を是正し続けることが大切であると考えます。このように私たちは、社員一人ひとりの行動によって、多様なメンバーの経験・知識・意見を結集させ、より本質的なアクションにコミットします。

現在メルカリには、東京オフィス所属*1だけでも、**50カ国を超える国籍***2の社員が働いています。このような多様なメンバーが、言語や文化的な価値観の違いに関わらず活躍できるようにするための環境として、言語学習のプログラムや、「やさしいコミュニケーション研修」、「無意識バイアスワークショップ」などを実施しています。

*1：登録勤務地が東京オフィスである社員
*2：2022年7月1日時点のメルカリ在籍外国籍数



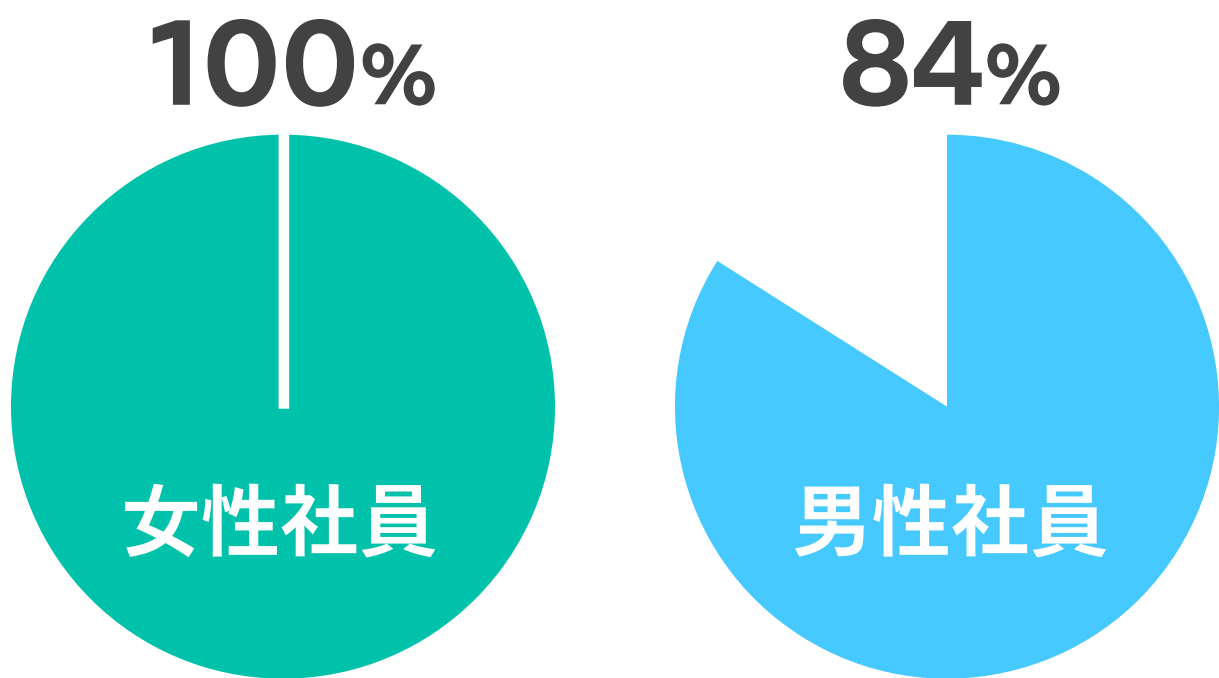
メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 **ダイバーシティ &
インクルージョンの体現**
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進

社員にとって働きやすい環境を整えることで一人ひとりのパフォーマンスの向上につながっています

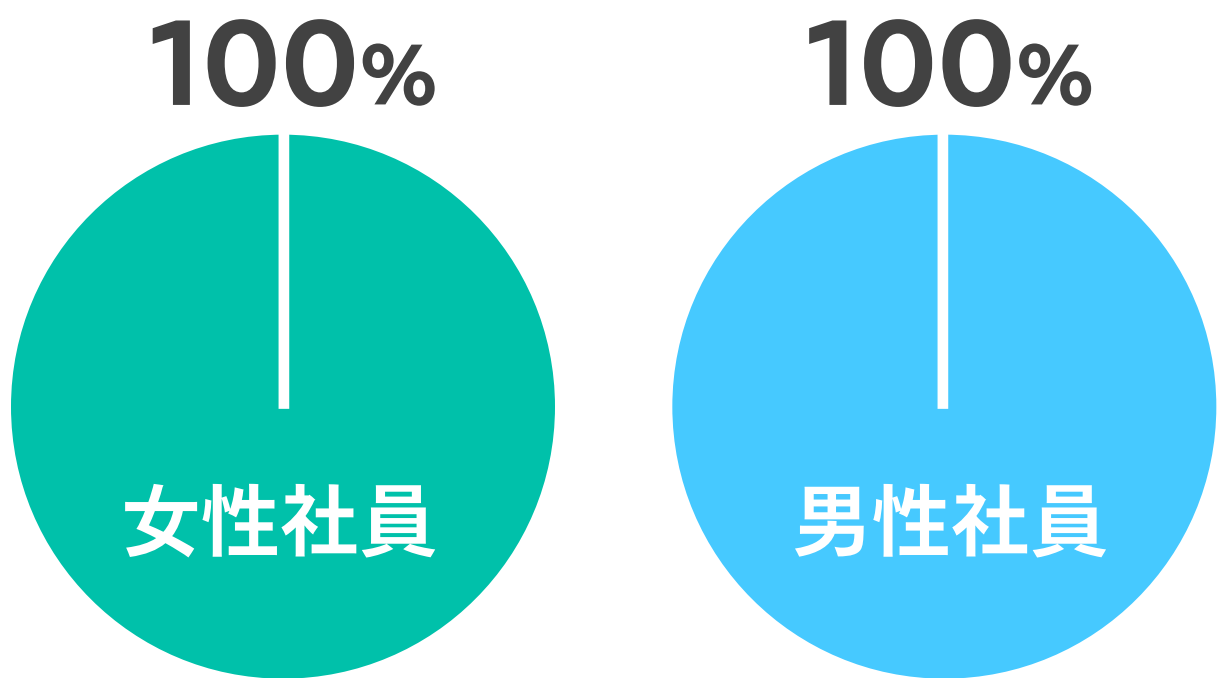
育児休暇取得率*1



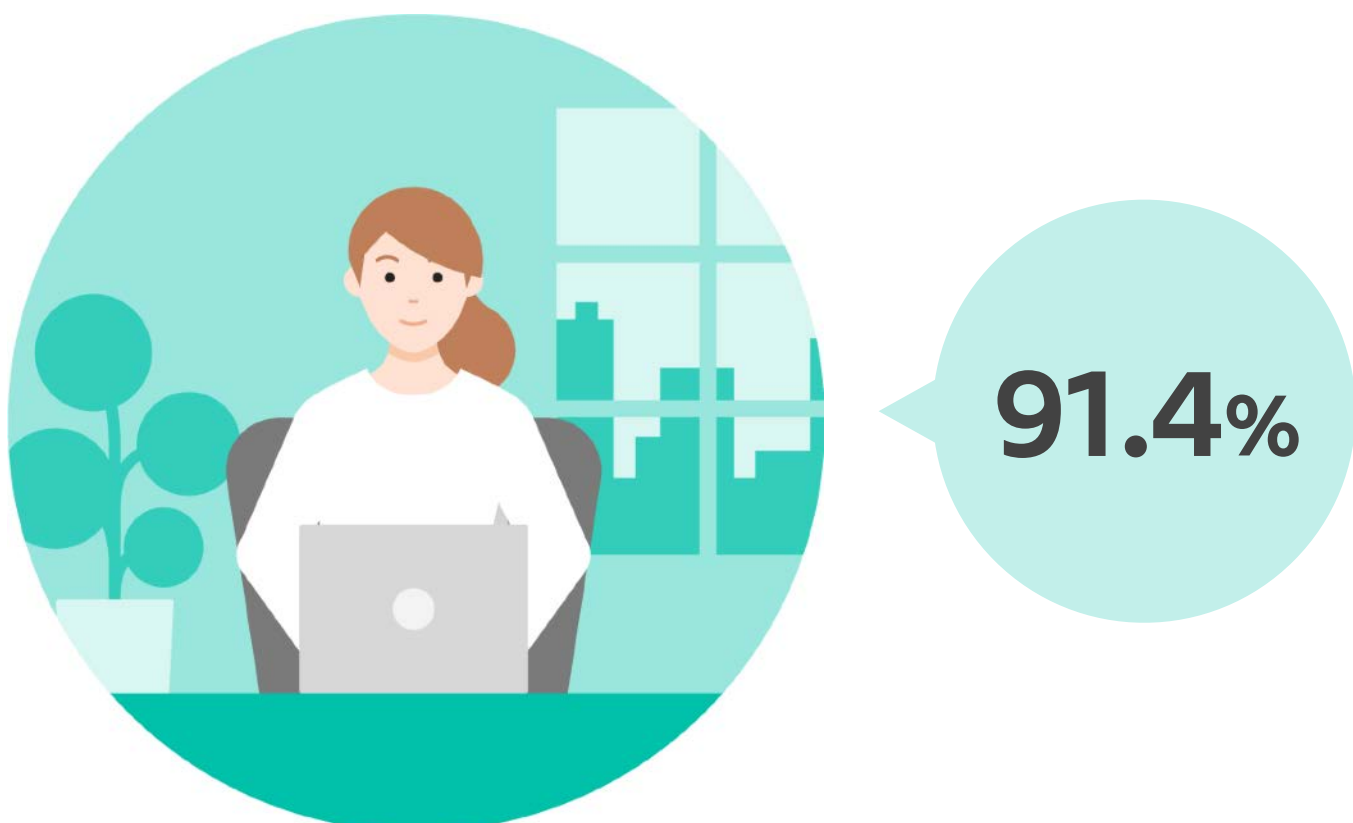
リモートなどで働く場所を社員が選択
できる制度（YOUR CHOICE制度）*3が
入社時のポジティブな印象あるいは入社
の決め手になったと回答した人の割合*4



育児休暇後の復帰率*2



リモートなどで働く場所を社員が選択
できる制度（YOUR CHOICE制度）*3が
自身のパフォーマンス向上を促進するも
のになっていると回答した人の割合*5



*1：2021年7月～2022年6月までの1年間で育児休暇を取得した社員の取得率（男女別） *2：2021年7月～2022年6月までの1年間で育児休暇から復職した社員の復帰率（男女別） *3：多様な働き方を尊重した、新しいワークスタイル、「メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル “YOUR CHOICE”」リモート・出社の有無や働く場所など、個人と組織のパフォーマンスおよびバリュー発揮がもっとも高まるワークスタイルを、社員それぞれが選択することが可能な制度 *4：2021年9月16日以降に入社した社員313名を対象としたアンケート調査より *5：2022年5月に社員313名を対象としたアンケート調査より

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進

多様なメンバーが活躍できる環境を整え続け、
人と組織のパフォーマンスを最大化するための仕組みを構築しています

Working environment（全体施策*1のうち一部抜粋）

- **フレックスタイム制（コアタイムなし）の導入**^{*2}
- **YOUR CHOICE制度**
リモート・出社の有無や働く場所など、個人と組織のパフォーマンスおよびバリュー発揮がもっとも高まるワークスタイルを、社員それぞれが自由に選択することが可能な制度
- **副業の推奨**
書籍執筆、イベント登壇、エンジェル出資、社外役員、コンサルティングなど、個人の副業を推奨

Life events（全体施策*1のうち一部抜粋）

- **merci box**（「思いきり働ける環境」にするために、2016年2月に導入した人事制度）

卵子凍結費用の補助

卵巣刺激、採卵、麻酔、凍結保存、凍結卵子融解、凍結保存延長、延長含む保管費用など、卵子凍結に関する費用を補助。キャリアを優先することにより妊娠や出産を諦めるという状況に対し、ライフプランの選択肢のひとつとして補助を用意することで、将来の不安を軽減するためのサポート。なお社員の配偶者・パートナーを含む全社員が対象となり、妊活サポートの一環として200万円/子を上限として利用可能

病児保育費の支援

子どもが病気にかかり、臨時で保育施設やベビーシッターを利用した場合は、利用時間の制限なく費用を支給

0歳児保育費用の補助

復職から子が1歳になるまでの期間、認可・認可外保育園およびベビーシッター利用に関する費用を補助。育児休職から早期復職を望む場合、保育費用をサポートすることで、復帰時期の選択肢を増やし、キャリア形成やライフプランの柔軟性を高めるためのサポートを実施。なお、社員の配偶者・パートナーを含む全社員が対象となり、10万円/月を上限に利用可能

認可外保育園の補助

認可保育園に入園できず、認可外保育園に入園する場合は、差額の保育料を会社が補助

*1：全体施策の詳細はこちら：mercari careers [ベネフィット](#)について *2：一部職種を除く

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ&
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

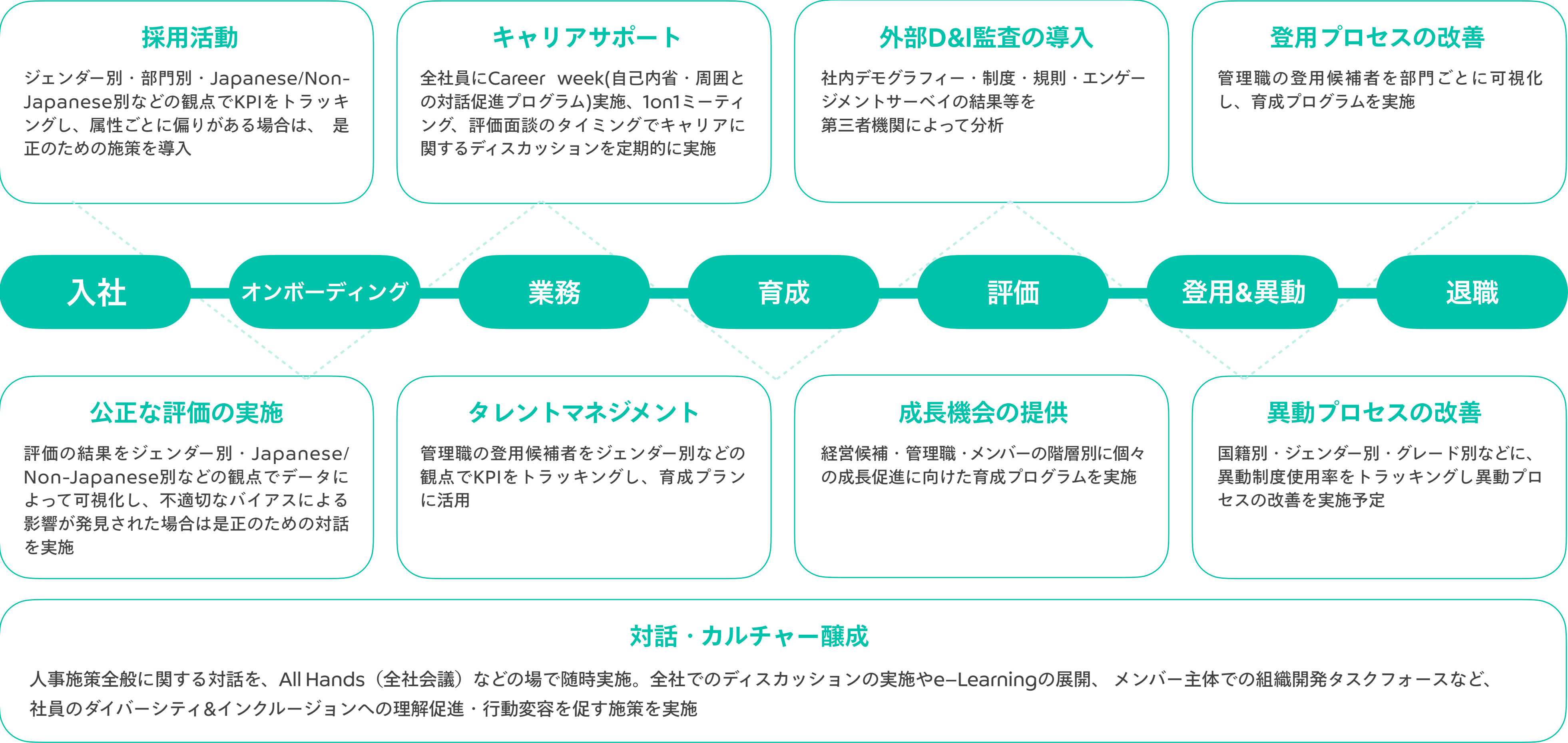
外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進

組織の状況を人事データによって可視化することで、構造的格差がある場合は早期発見・是正し続けられる仕組みづくりと、多様なバックグラウンドを持つメンバー同士のインクルージョンを推進するための施策を導入しています



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現03
地域活性化04
安心・安全・公正な取引環境の実現05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進 / FY2022の取り組み

社内向け活動（人事制度・カルチャー醸成）

- 個人と組織のパフォーマンスおよびバリュー発揮がもっとも高まるワークスタイルを自ら選択できる、「メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル“[YOUR CHOICE](#)”」を導入
- [merci boxの更新（卵子凍結・0歳児保育支援制度を導入）](#)
- メルカリとメンバーが大事にする、共通の価値観をまとめた「[Mercari Culture Doc](#)」を社外にも公開

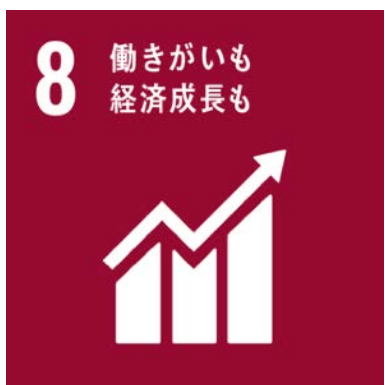
社外向け活動

- ITマイノリティを対象とするソフトウェアエンジニア育成プログラム“[Build@Mercari 2022](#)”の実施
- STEM分野のジェンダーマイノリティへの支援：Build Your futureプログラムへの協賛
- 育児・介護等でキャリアを中断した方を対象としたキャリア再開支援プログラム“[Mercari Restart Program](#)”を開始
- LGBT+に関する社内研修「[Mercari Pride e-Learning](#)」を公開
- 「メルカリ」「メルカリShops」において「[プライド月間](#)」にLGBT+への理解促進に向けた取り組みを実施
- [東京レインボープライド2022に協賛・ブース出展](#)

社外からの評価

- LGBT+に関する企業評価指標「[PRIDE指標2021](#)」にて「ゴールド」を受賞
- D&I Award 2021にてスタートアップ企業部門「[GRAND PRIZE](#)」（最高位）を受賞





マテリアリティ03

地域活性化

mercari



地域社会における個人・企業のエンパワーメントの機会創出を目指して

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリは、あらゆる個人と企業のエンパワーメントを通じて、社会課題を解決し、地域活性化に貢献することができると考えています。

メルカリによって、どんな地域に住んでいようとも、誰でも簡単にモノを売り買いできるようになりました。自分でモノを売ったお金で新たな収入源を得ることができたり、個々人のスキルを活かしたハンドメイドの商品を出品したり、メルカリは新しいことにチャレンジできる「一人ひとりの自己実現」を支える手段にもなります。

そして個人だけでなく、地域の事業者のEC化支援を「メルカリShops」を通じ地方自治体等とも連携しながら実現していきます。

またメルペイの浸透によりキャッシュレス決済を通じた地域経済の活性化を推進していきます。さらに鹿島アントラーズを通じて、グループが持つテクノロジーやアセットを最大限に活用しながら、地域の課題解決の支援を行うスポーツクラブとして貢献します。



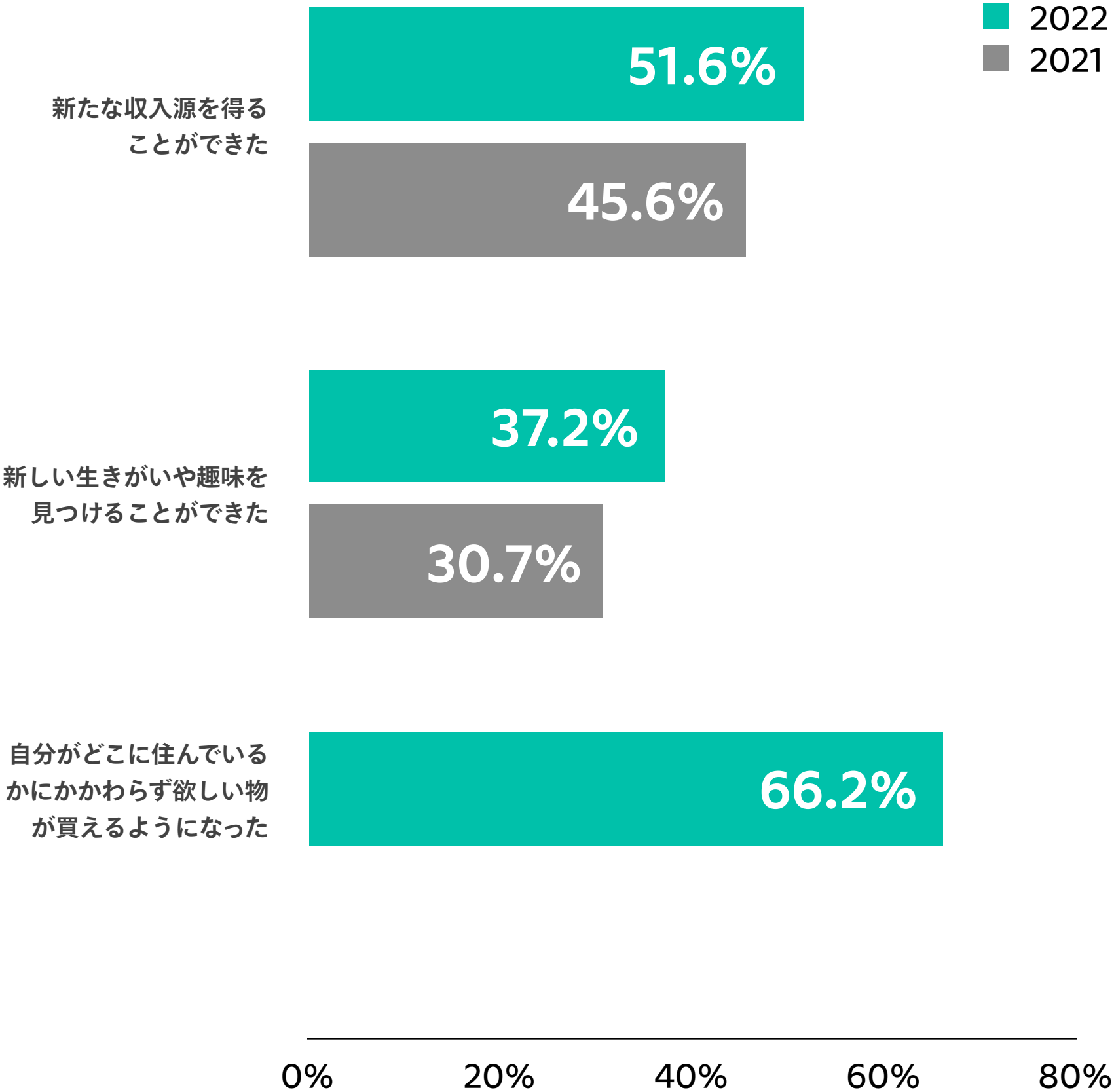
メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

地域経済活性化、地域におけるエンパワーメントの機会創出

メルカリの利用を通じてエンパワーメントする機会を創出し、 一人ひとりの生活にポジティブな変化を起こしています

2022年にメルカリが実施した調査で「メルカリを利用したことによって、生活・気持ちの変化としてどんなことが当てはまりますか？」という質問に対して、約**66.2%**のお客さまが「**自分がどこに住んでいるかに関わらず欲しいモノが買えるようになった**」と回答*1するなど、生活にポジティブな変化が起きている方が増えています。このようにメルカリは、エンパワーメントする機会を創出することで、人々の生活を少しでも豊かにすることに貢献しています。



*1：2022年6月（3,000名）、2021年7月（3,000名）、全国15～69歳の男女に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より（2020年度の調査に含まれていなかった選択肢は記載なし）

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

地域活性化 / FY2022の取り組み

43自治体との連携協定や事業連携

- ・自治体のごみカレンダー等で、リユース推進の呼びかけ
- ・メルカリ教室の実施
- ・自治体職員派遣
- ・「メルカリエコボックス」
無償配布の実証実験



「メルカリShops」を通じて地域事業者のEC化を支援

- ・2021年10月7日に本格提供開始後、6ヶ月で累計出店数が20万を突破
- ・EC初出店比率55%*1
- ・メルカリShops EC化支援セミナーを150回以上開催
- ・東北3県復興支援特集の実施
- ・自治体の粗大ごみや廃校備品等の販売



「メルカリ寄付」機能の提供

- ・地方自治体：22自治体
- ・慈善団体：14団体
- ・サーキュラーエコノミー推進団体：59団体



鹿島アントラーズを通じた地域貢献

- ・資源回収施設の常設
- ・海洋清掃活動の実施
- ・海の環境に配慮した製品の採用等
- ・地域中学生のキャリア支援



*1：2022年7月に実施したメルカリShopsオーナー向けアンケートより



マテリアリティ04

安心・安全・公正な取引環境の実現

mercari



安心・安全・公正な取引環境の実現を目指して

メルカリのサステナビリティ

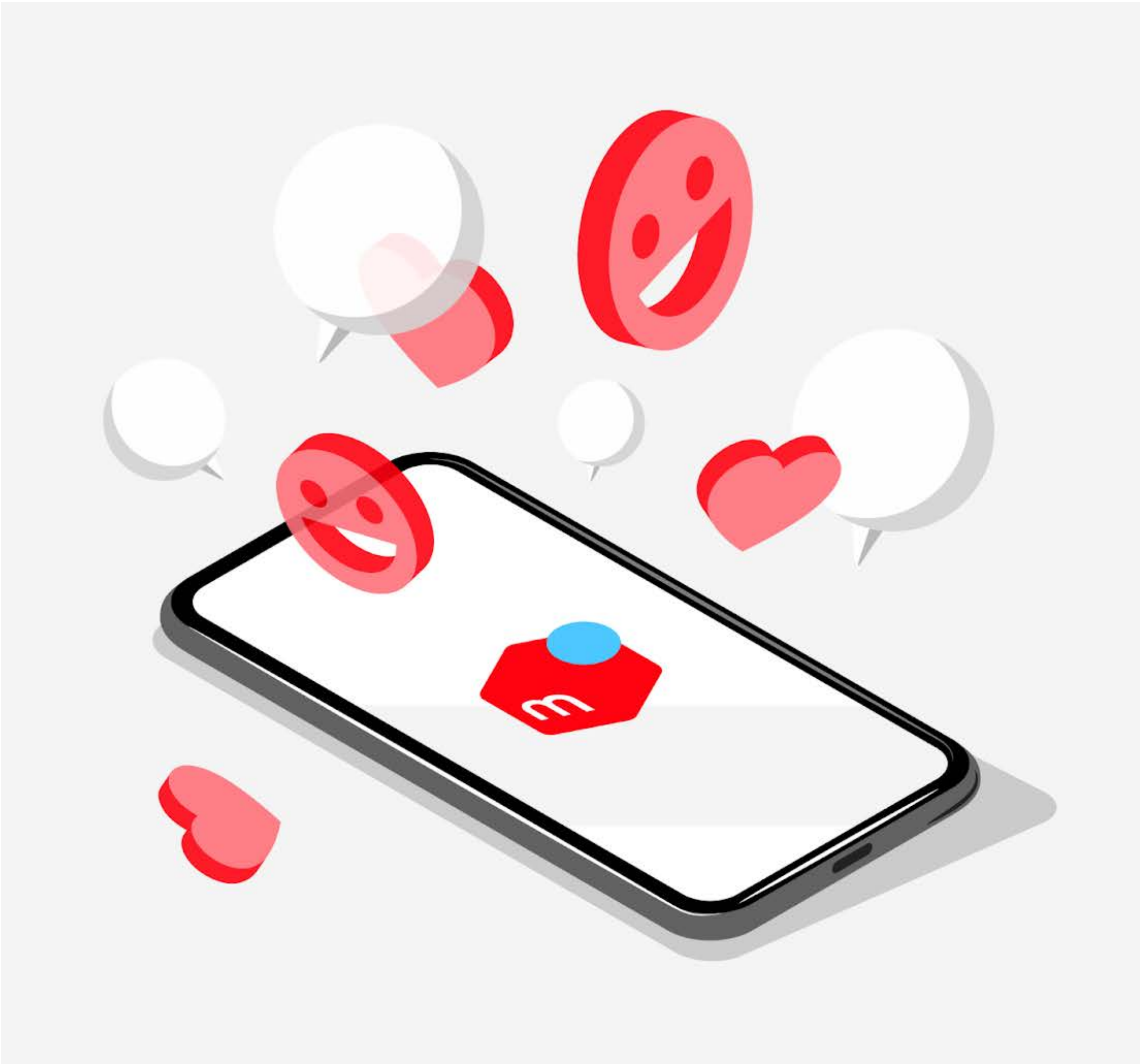
- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリグループのサービスを、多くの方々にご利用いただくためには、個人・法人で自由に取引ができるマーケットプレイスとしての公正さを担保しながらも、お客さま、加盟店さま、パートナー企業さまなど、あらゆるステークホルダーの方々が、「安心感」を持ってご利用いただける取引環境を整備することが最も重要であると考えています。

そのため私たちは、ステークホルダーのみなさまが身体的・精神的・金銭的なトラブル（被害や不快な経験）を未然に防げるよう、また万一の場合は迅速・的確に解決できる「安心・安全・公正」な取引環境を整備していきます。

このような「安心・安全・公正」な取引環境の実現に向けて、お客さまへの寄り添い方の質を継続的に向上させていくだけではなく、テクノロジーの力を駆使し、できるだけ未然に、できるだけ早く、トラブルにつながるような取引をなくしていく取り組みを行っています。

さらに、自社内だけでなく、関係省庁・消費者団体・NGO・学術機関・他企業などとの積極的な情報・意見交換を行うことで、取引のポリシーを常にアップデートし続け、不正な取引の検知の質を高める取り組みを行っています。



メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

安心・安全・公正な取引環境の実現を目指した取り組み

「メルカリは安心・安全・公正なサービスを提供していると思う」という調査項目への回答率

89.2%（昨年度調査比3.2pt減）

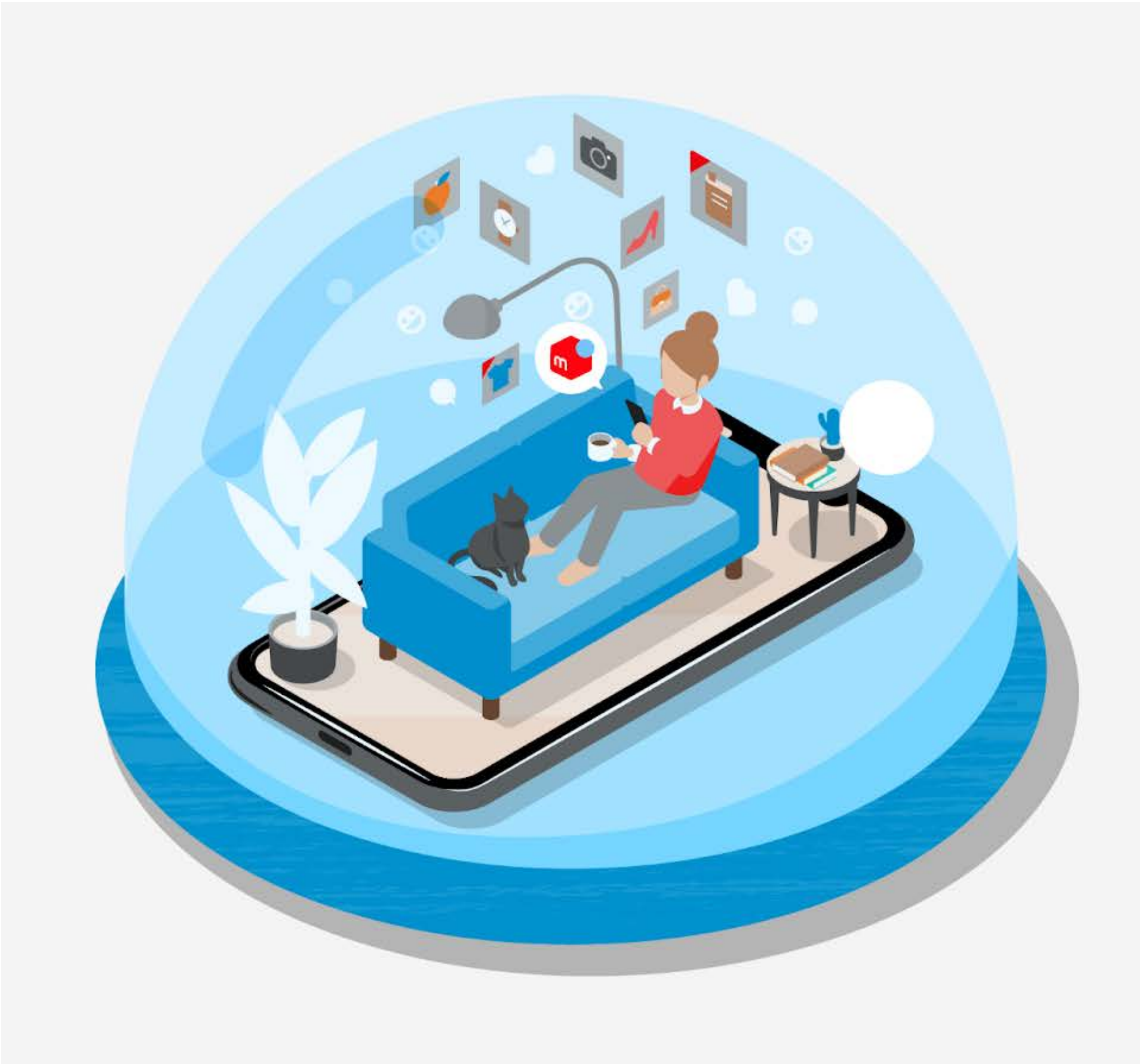
2022年6月にメルカリが実施した調査*1では、メルカリを利用しているお客さまのうち、89.2%の方がメルカリは安心・安全・公正なサービスを提供していると思う、と回答しています。

昨年から数値が下がった要因として、以下の事案発生によるものと考えております。

- ①「Codecov」への第三者からの不正アクセスによる当社への影響および一部顧客情報等の流出について
- ②メルカリ・メルペイを装ったメール・SMSにおける不正被害について

上記事象①②についてはP44にて詳細をお知らせいたします。

*1:2022年6月にメルカリをご利用いただいているお客さま1,931名に対して実施したアンケート調査より



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

安心・安全・公正な取引環境の実現を目指した取り組み

テクノロジーによる安心・安全な仕組みづくり

不正への対策

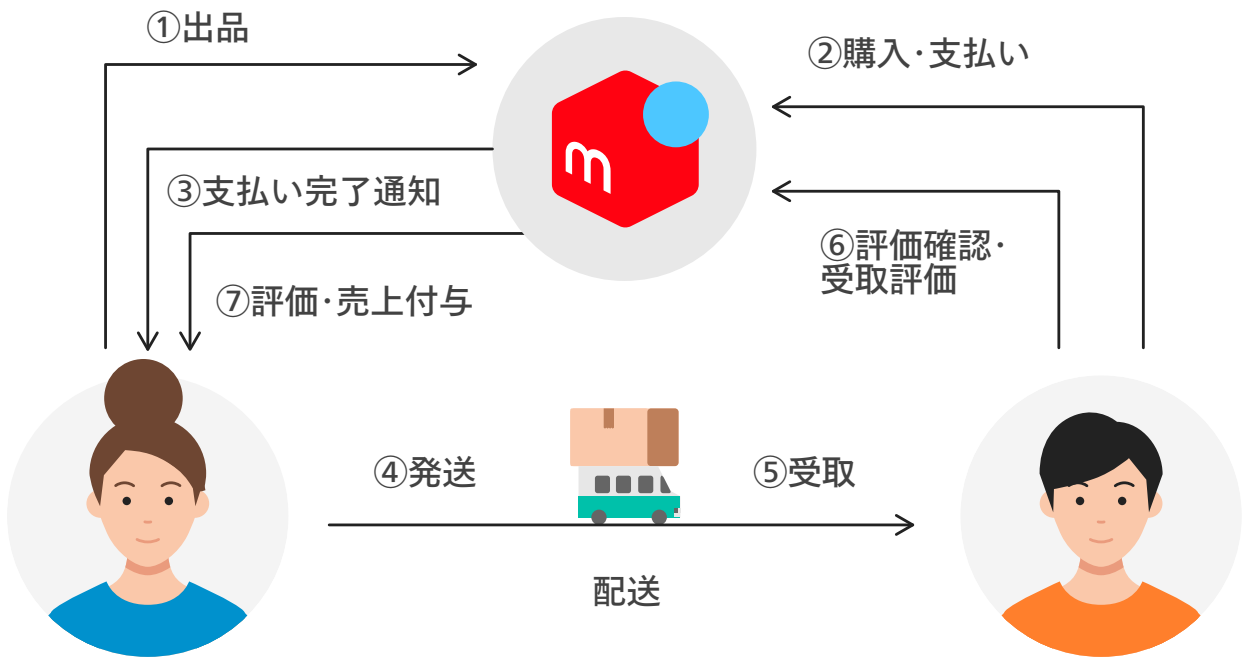
不正検知システムの継続的改善

不正検知システムを活用し、不正な取引を検知し、未然に対処するための仕組みを構築しています。積み上げた事例を元にAI等を駆使して更に不正検知の精度を上げていく取り組みを行っていきます。



安心できるお金のやりとり

商品代金を一時的にメルカリがお預かりするエスクロー決済システムを全ての取引に採用することより、「商品を発送したのに代金が支払われない」「支払ったのに商品が届かない」等、お金に関するトラブルを防止しています。



匿名配送

配送方法で「らくらくメルカリ便」、「ゆうゆうメルカリ便」を選択することで、出品者と購入者が互いに名前や住所を知らせることなく取引ができます。また、配送時のトラブルにより商品紛失・破損等が発生した際には、メルカリがサポートします。



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

安心・安全・公正な取引環境の実現を目指した取り組み

カスタマーサービスによる取り組み

安心・安全な環境づくりへの取り組み

違反商品・違反アカウントの早期排除

カスタマサービスが24時間365日稼働し、万が一違反商品が出品された場合や、違反アカウントが登録される場合には、お客さまの目に触れる前に可能な限り早く削除する対応を行っています。



お客さまからの通報の分析による再発防止

お客さまからの通報内容やお客さまから寄せられた声を分析し、同様のトラブルや疑いのある取引が再発しないような防止策を検討しています。



安心・安全・公正な取引環境の実現を目指した取り組み

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

社会的変化に応じたポリシーのアップデート

FY2022の主な取り組み実績



法令に違反する商品や社会的に出品が好ましくないモノが流通しないよう、マーケットポリシー委員会を設置し、禁止出品物・行為のポリシーと検知ルールを策定し適用しています。

価格アラート機能のリリース（2021年8月末）

- 需給のバランスが著しく崩れている場合に意図せず急騰した価格で購入してしまうケースもあるため、購入判断に必要な情報提供を目的として、一時的な価格の急騰をお知らせする価格アラート機能をリリース

マーケットプレイスのあり方に関するアドバイザリーボードを開催（2022年3月）

- 基本原則に基づくメルカリのマーケットプレイスの運営を評価し、より良いマーケットプレイスを実現するための方策について議論

議題

- ・ マーケットプレイスの運営の振り返りと評価
- ・ より良いマーケットプレイスの構築に向けたアクション
- ・ 基本原則の見直し

結論

- ・ 現時点では基本原則そのものの見直しまでは不要との意見で一致

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

安心・安全・公正な取引環境の実現を目指した取り組み / FY2022取り組み実績

省庁・団体・企業とのネットワークを通じた情報の収集とそれに伴うサービス改善

7社と包括連携協定の締結を実施

- 安心安全な取引環境の整備に向けて、共同でさまざまな取り組みを実施するための包括連携協定「マーケットプレイスの共創に関する覚書」を締結

安心安全な取り組みとして以下プログラムの運用を継続

- 権利者保護プログラム
- メルカリの「製品安全サポート」

NITEとの連携

- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）から出向者を受け入れ、メルカリの商品監視ルールのアップデートや、「メルカリびより」等のアプリ上のニュースで、出品時・購入時に注意すべき点を情報提供する取り組みを開始

安心安全に利用できる環境づくりのための啓発教育施策を実施

- フリマアプリの安全利用のための教材を公開
- 成年年齢引き下げや新学習指導要領の金融教育の拡充を踏まえ、新たにキャッシュレス決済の安全利用のための授業教材を公開
- 消費生活センター相談員や教員と連携し、研修会を実施

日本サイバー犯罪対策センター（JC3）との連携

- JC3と連携を強化し、不正利用の未然防止ならびにJC3を通じた捜査関係機関との連携による不正利用者の排除をより一層強化
- また、JC3に対してサイバー犯罪の手口に関する情報を提供することで、業界全体のサイバー犯罪対策に貢献

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

本年度発生したインシデントへの再発防止策

基本方針と具体的な対応例

①「Codecov」への第三者からの不正アクセスによる 当社への影響および一部顧客情報等の流出について

【基本方針】

外部の専門企業の協力のもと、本件の影響範囲に関する詳細な調査を進めてきましたが、2021年8月6日に調査が完了しています。

本件により流出した情報の対象となる方々へは、対応の実施、ならびに専用のお問い合わせ先を設置しています。

今後も、さらなるセキュリティ強化策の実施と本件に関する調査を継続し、新たにお知らせすべき内容が判明した場合は、速やかに報告します。

【具体的な再発防止策と対応例】

- 安心安全なサービス提供のためのSDLC（ソフトウェア開発ライフサイクル）セキュリティ強化
- セキュリティ・プライバシーに対する社内意識の改善・啓発活動
- 全社セキュリティ教育の強化、インシデント対応プロセスのさらなる改善、コードベースにおけるサプライチェーンリスクの調査など

関連するお知らせ

- [「Codecov」への第三者からの不正アクセスによる当社への影響および一部顧客情報等の流出について](#)
- [【調査結果のご報告】「Codecov」への第三者からの不正アクセスによる 当社への影響および一部顧客情報等の流出について](#)

②メルカリ・メルペイを装った メール・SMSにおける不正被害について

【基本方針】

認証が必要な場合には、メルカリ登録時の電話番号宛にショートメッセージ（SMS）が送付されますが、認証番号の不正利用防止の観点から、新たに「認証理由」が記載されるようになりました。メルカリ・メルペイでは、安心・安全にご利用いただくために、さまざまなセキュリティ対策を行っています。

- 専門スタッフとシステムの組み合わせによるモニタリング
- 不正の可能性が高いと判断したアカウントの利用制限等の実施
- フィッシングサイトの早期検出および閉鎖依頼

さらに、不正利用防止のための新たな認証強化やその他セキュリティ強化にも取り組んでいます。

【具体的な再発防止策と対応例】

- 決済時・設定変更時の追加認証（電話番号・Email）
- 電話番号認証の強化（SMSのメッセージに認証理由を追加、ログイン後一定期間の追加認証ができないようにする等）
- SDKを用いたEMV-3Dセキュアの導入
- 不正利用の検知システムの強化
- あんしん支払設定の追加
- お客さまへの注意喚起
- フィッシングサイトの検知・テイクダウン
- 対策チームの設置

関連するお知らせ

- [メルカリを装った不審なメール・SMSと一部加盟店での一時的な利用制限について](#)
- [メルペイへのお問い合わせに関するお詫びと今後のご案内について](#)
- [メルカリ・メルペイを装ったメールやSNS広告によるフィッシング詐欺について](#)
- [フィッシング詐欺にあわないために、SMSに届いたメッセージをご確認ください](#)





マテリアリティ05

コーポレート ガバナンス / コンプライアンス

mercari



グローバル化を支える経営体制を目指して

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

メルカリグループは、「新たな価値を生みだす世界的なマーケットプレイスを創る」というミッション達成に向け、「Go Bold」「All for One」「Be a Pro」というバリューに基づき、循環型社会を実現させ、社会に貢献する企業となることを目指しています。

そして、メルカリグループがステークホルダーからの信頼を獲得し、持続的な企業価値を向上させるためには、経営の公正性・透明性を高め、健全なリスクテイクを推進するためのコーポレートガバナンス体制の継続的な向上が不可欠だと考えています。

コーポレートガバナンスに関する諸施策を検討・実施し、継続的に改善することによる実効性向上を目的として、コーポレートガバナンス基本方針を定めています。

またESG委員会を新たに設置し、各カンパニーから1人ずつ、合計7名のESG担当役員を選任。これにより、ESG視点から事業に関する各種経営判断に関与することで、メルカリの各事業とマテリアリティごとのESG施策を両立し、かつスピーディーに実行・推進ができる体制を確保しています。



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

グローバル化を支える経営体制を目指して（アプローチ）

メルカリグループに対するステークホルダー（お客さま・社会・株主・投資家等）からの信頼獲得
メルカリグループのレジリエンス（社会変化や突発的状況への対応力）の向上

①コーポレートガバナンス

②コンプライアンス

③セキュリティ

④データプライバシー

①コーポレートガバナンス、②コンプライアンス、③セキュリティ、
④データプライバシーに関する実行体制を定めて継続的に施策を
検討し、実効性を向上させていくことで、

- 経済・社会情勢を的確に捉えた迅速な意思決定
- 経営の適法性、健全性、透明性の維持
- お客さま情報の適切な保護と活用
- 経営に影響を与えるリスクの発生可能性およびインパクトの低減

を実現していきます。



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

①コーポレートガバナンス体制・施策

事業に精通した取締役と、客観的な視点を持つ独立社外取締役で構成する取締役会が経営の基本方針や重要な業務の遂行を決定し、監査役会が独立した立場から取締役の職務遂行を監査しています。また、主に独立社外取締役から成る指名報酬委員会を設置することにより、経営陣の指名及び報酬等の決定について、公正性・透明性を確保しています。

FY2022の主な取り組み

- 取締役スキルマトリクスの作成・公表

当社が取締役に特に貢献を期待するスキル領域を定めて、指名報酬委員会での審議を踏まえて、取締役会でスキルマトリクスの内容を定めています。ステークホルダーに対する情報開示の実効性を高めるため、「コーポレートガバナンスに関する報告書」での開示に加えて、株主総会招集通知にも取締役候補者に関する情報としてスキルマトリクスを掲載しています。

- 東証プライム市場への移行完了
- コーポレートガバナンス基本方針の策定・公表
- 取締役会実効性評価の実施・公表
- ESG委員会設立



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

②コンプライアンスに関する実行体制・施策

今後の事業拡大にあたり、社会的責任を果たし持続的な成長と企業価値向上を図るためには、人材の確保や育成、コンプライアンスの徹底を重要な課題と考えています。各分野で高い知見を有している人材を採用することに加え、社員への継続的な啓蒙活動を行うことで、コンプライアンスの徹底に努めています。

FY2022の主な取り組み

グループコンプライアンス・リスク管理委員会の改革

- 重大インシデントの取締役会報告までのフロー構築

近時の不正利用、個人情報漏洩、自然災害などのリスク増加を受けて、メルカリグループにとってのリスクを洗い出し、その中からさらにトップリスクを特定し、取締役会に報告するフローを構築しました。

- リスク評価・報告の改善（リスクシナリオの全面改訂、トップリスク選定等）
- リスクサーベイ方法の改善（アンケート＋ヒアリングの強化等）
- グループコンプライアンス・リスク管理委員会の報告内容、開催頻度の改善

コンプライアンスプログラム作成、モニタリング実施

- コンプライアンス研修（全社員に対する毎月のe-Learning、階層別研修、業務別研修を実施）
- 法令等遵守状況のモニタリング（業態に応じ、各規定に定めた内容にて実施）
- 新サービスのリリース時のコンプラアインスチェック、リスク評価
- キャンペーン実施時の広告物内容のリーガル、コンプライアンスチェック
- 定期的なリスクマネジメント（リスクマトリクスに基づく包括的な検証）



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

③セキュリティに関する実行体制・施策

お客さまをはじめとする社会全体の信頼に応え、安心して当社のサービスをご利用いただくために、「情報セキュリティ基本方針」を宣言し、遵守しています。具体的には、グループ横断でセキュリティ対策の継続的な強化やセキュリティに関する注意喚起などに取り組んでいます。

FY2022の主な取り組み

- 外部ツール「Codecov」への不正アクセスによる一部顧客情報等の流出事案への対応

2021年5月に外部ツール「Codecov」への第三者からの不正アクセスにより、当社のソースコードの一部および一部顧客情報が流出しました。事案発覚後、速やかにグループ横断でのインシデント対応体制を整え、影響調査と対応、事案の公表を行いました。その後、グループ横断でセキュリティに関する中長期的な再発防止策を策定しました。

【具体的な対応例】

- ・認証情報の調査と初期化作業、および安全な管理方法への移行
- ・SDLC（ソフトウェア開発ライフサイクル）におけるセキュリティ強化
- ・セキュリティ・プライバシーに対する社内意識の向上改善・啓発活動

- ・グループ横断でのセキュリティインシデント対応体制（CSIRT）の強化
- ・ソフトウェアサプライチェーンにおけるセキュリティ強化
- ・情報資産の棚卸しに基づくセキュリティリスク評価とセキュリティ対策の実施
- ・全社員向け及びエンジニア向けのセキュリティ教育の実施



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

④ データプライバシーに関する実行体制・施策

メルカリグループはさまざまなサービスを展開しており、お客さまに関する情報を取得し利用することで、よりお客さまに適したサービスを提供することができます。同時にメルカリグループは、お客さまの情報を取得し扱うことに対して大きな責任があることを認識し、個人情報保護法をはじめとした各種法令やガイドラインを遵守し、お客さまのプライバシーを尊重したうえでお客さまに関する情報を取り扱います。

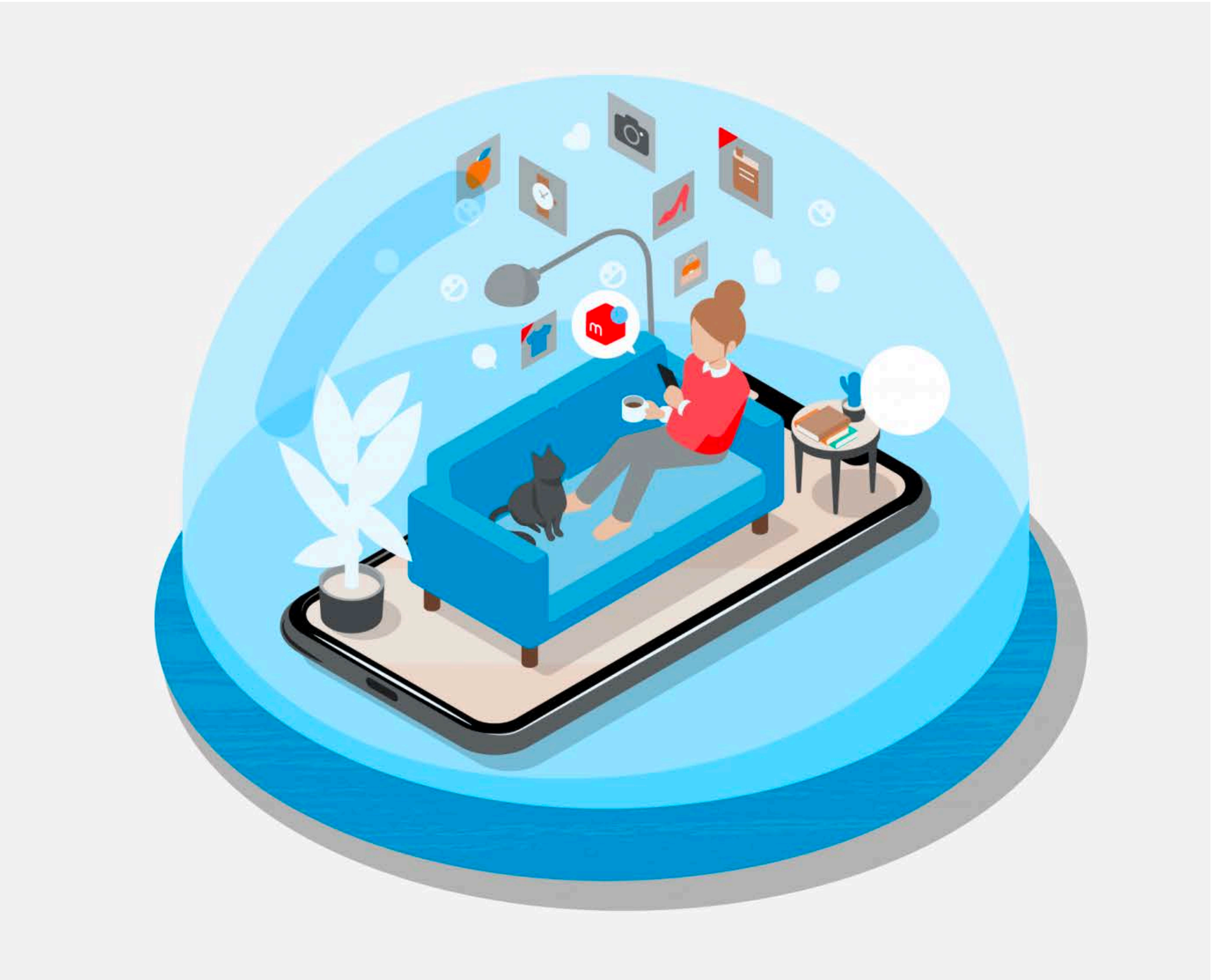
FY2022の主な取り組み

・ 改正個人情報保護法への対応

2022年4月から施行された改正個人情報保護法において、本人の権利や事業者が守るべき責務などが強化・拡大されました。メルカリグループでは、グループ組織横断のプロジェクトを立ち上げて、お客さま情報の管理状況の再チェックと改正個人情報保護法に対応した内部管理ルールやプロセスの整備を進めました。

【具体的な対応例】

- ・メルカリグループにおけるお客さま情報の管理状況の再チェック
 - ・改正個人情報保護法に応じた社内規程・マニュアルの整備
 - ・プライバシーポリシー及びプライバシーガイドの改定
 - ・改正個人情報保護法に関する全社的な社員教育の実施等
- ・ 個人情報保護及びデータガバナンス体制の強化
 - ・ プライバシーポリシー及びプライバシーガイドの更新
 - ・ 個人情報保護に関する研修実施（e-Learning）

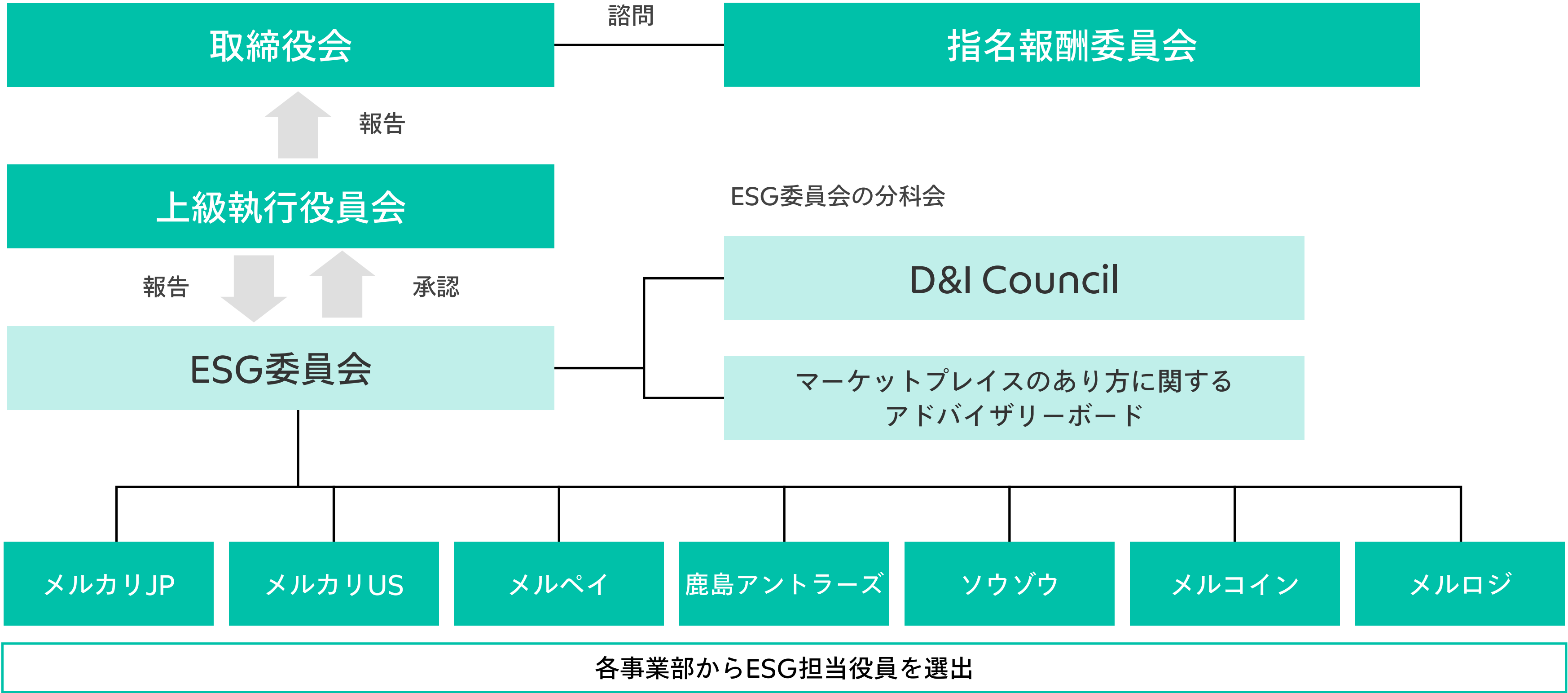


ESG推進体制

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

ESGの視点を経営の意思決定および業務の執行プロセスに組み込む体制を新たに構築するために、2021年12月に上級執行役員会の諮問機関としてESG委員会を設置。各カンパニーごとにESG担当役員を選任し、ESG視点から事業に関する各種経営判断に関与することで、メルカリの各事業とマテリアリティごとのESG施策を両立し、かつスピーディーに実行・推進ができるような体制を確保しています。



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

ESG推進体制

ESG委員会

経営における重要アジェンダの一つとして、ESGに関する十分な議論の時間を定期的に確保することで、より質の高い議論を可能にし、上級執行役員会での意思決定の質を高めることを目的としています。ESG委員会では、代表取締役 CEO（社長）山田進太郎を委員長とし、各カンパニーのCEOやESG担当役員など、委員長が指名したメンバーとともに、年に4回、マテリアリティごとの実行計画策定や進捗状況のモニタリングなどに取り組んでいます。

第1回ESG委員会（2022年2月1日）*1

議題

- 1.メルカリが目指すESG経営とは
- 2.マテリアリティに照らした各事業のリスク・機会のアセスメント結果について
- 3.各事業戦略への反映に向けた議論

第2回ESG委員会（2022年5月10日）*2

議題

- 1.各事業戦略への反映に向けた議論
- 2.温室効果ガス排出量算出結果と、各種削減アクションについて
- 3.TCFD提言に基づく気候変動リスクと機会、対応方針について
- 4.ポジティブインパクトの算出方針について



メルカリの目指すESG経営とは？ESG委員会設立の背景と第1回開催までの裏話（メルカン）

ESG委員会の立ち上げと第1回委員会開催までの詳細レポート

*1,*2：過去のESG委員会議事概要は[コーポレートサイト](#)に公開

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

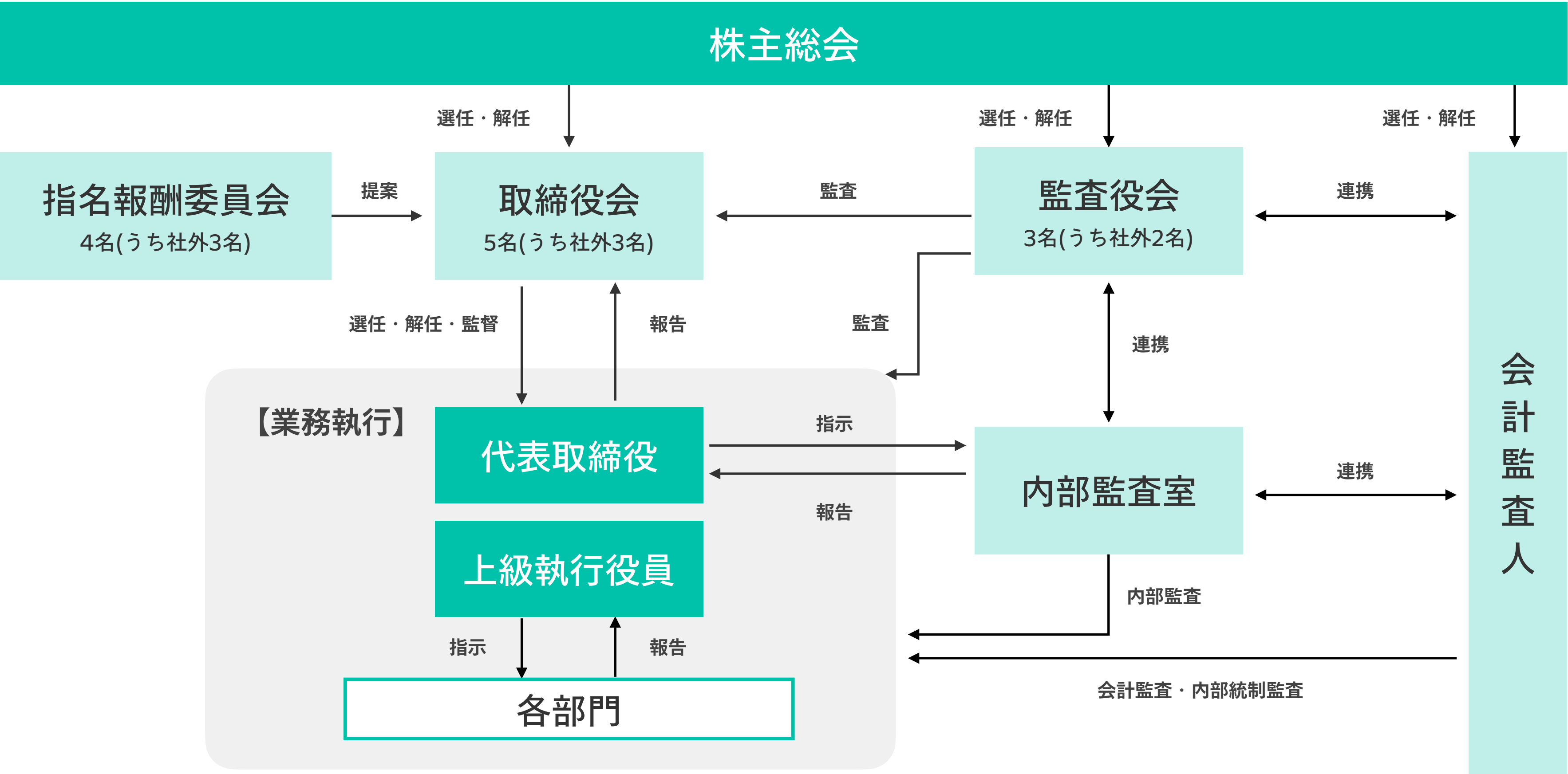
05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

メルカリは会社法上の機関設計として、監査役会設置会社を選択しています。事業に精通した社内取締役と客観的な視点を持つ社外取締役で構成する取締役会が経営の基本方針や重要な業務の執行を決定しつつ、監督と執行を分離し、上級執行役員を中心とする執行部門への業務執行権限の委譲を促進しています。さらに、委員の過半数が社外取締役で構成される指名報酬委員会を設置することにより、取締役・上級執行役員の指名及び報酬等の決定に関する手続きの公正性・透明性・客観性を確保しています。



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

						
	氏名	山田進太郎	小泉文明	高山健	篠田真貴子	村上憲郎
属性	新任／再任	再任	再任	再任	再任	新任
	独立社外取締役			●	●	●
スキル	企業経営	●	●	●	●	●
	ESG	●	●		●	
	テクノロジー	●				●
	グローバル経営	●		●		●
	事業	● (全般)	● (全般)	● (全般)	● (インターネット、金融)	● (インターネット)
	財務・会計		●	●	●	
	コーポレートガバナンス・ コンプライアンス		●	●	●	

スキルの定義

項目	概要
企業経営	経営戦略全般
ESG	サステナビリティ戦略、ESG施策
テクノロジー	IT業界における技術戦略、研究開発
グローバル経営	事業の多国展開
事業	インターネット、コマース、金融等の当社事業
財務・会計	財務、会計
コーポレートガバナンス・コンプライアンス	コーポレートガバナンス、リスクマネジメント、内部統制、コンプライアンス

外部機関からの評価 /
ESGデータ集

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

メルカリは、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ」ならびに「MSCI日本株女性活躍指数」の構成銘柄に組み入れられています

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ:本指数は、MSCI社が、MSCIジャパンIMIトップ700指数構成銘柄の中から、環境・社会・ガバナンスの評価が相対的に高い銘柄を選別して構成する指数であり、日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が運用を行う際のESG指数にも選定されています。

MSCI日本株女性活躍指数:本指数は、MSCI社が、MSCIジャパンIMIトップ700指数構成銘柄の中から、新たに開発した性別多様性スコアに基づき、業種内で性別多様性に優れた企業を選別して構成する指数です。

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

外部機関からの評価

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

1年間の取り組みを通じて、さまざまな評価機関から評価を得ました



マテリアリティ01：循環型社会の実現 / 気候変動への対応

- ・ 第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「特別賞」を受賞



マテリアリティ02：ダイバーシティ & インクルージョンの体現

- ・ LGBT+に関する企業評価指標「PRIDE指標2021」にて「ゴールド」を受賞
- ・ D&I Award 2021にてスタートアップ企業部門「GRAND PRIZE」（最高位）を受賞



マテリアリティ04：安心・安全・公正な取引環境の実現

- ・ 「第7回情報セキュリティ事故対応アワード」において、優秀賞受賞

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

温室効果ガス排出量

(単位：t-CO2)

			FY2021	FY2022
Scope1			100	192
Scope2			687	1,006
	小計 (Scope1+Scope2)		787	1,198
Scope3	カテゴリー1	購入した製品・サービス	33,537	32,102
	カテゴリー2	資本財	1,362	2,818
	カテゴリー3	燃料及びエネルギー活動	125	161
	カテゴリー4	輸送、配送（上流）	63	110
	カテゴリー5	事業から出る廃棄物	34	33
	カテゴリー6	出張	272	564
	カテゴリー7	従業員の通勤	69	140
	カテゴリー8	リース資産（上流）	1,428	1,585
	カテゴリー9	輸送、配送（下流）	対象外	対象外
	カテゴリー10	販売した製品の加工	対象外	対象外
	カテゴリー11	販売した製品の使用	対象外	対象外
	カテゴリー12	販売した製品の廃棄	84	45
	カテゴリー13	リース資産（下流）	対象外	対象外
	カテゴリー14	フランチャイズ	対象外	対象外
	カテゴリー15	投資	対象外	対象外
小計 (Scope3)			36,974	37,558
合計 (Scope1+Scope2+Scope3)			37,761	38,756

*1：環境省・経産省『[サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン](#)』及び関連規定に基づき算定 *2：期間：FY2021（2020年7月1日～2021年6月30日）・FY2022（2021年7月1日～2022年6月30日）
*3：算定対象：株式会社メルカリ、株式会社メルペイ、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー、Mercari, Inc.、株式会社ソウゾウ、株式会社メルコイン、株式会社メルロジ *4：FY2021の算定結果について、①算定Scopeの見直し ②算定方法の変更 ③カテゴリー1の一部を精緻化したため、昨年公開した数値を一部修正 *5：対象の活動がないカテゴリー、またScope3に占める割合が微小でかつ弊社が削減に貢献できる項目が少ないなどGHGプロトコルの基準を満たすものは算定の対象外 *6：Scope3の一部については推計を実施 *7：カテゴリー1について、環境省のガイドラインを満たした独自の原単位を用いて算定

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

2022年6月期社員情報（メルカリグループ）

多様なメンバーの経験・ 知識・意見を結集	● 連結社員数 *1	2,209人
	● 年齢層 *1	20代 20.3% / 30代 55.1% / 40代 20.7% /50代 3.5% / 60代 0.4%
	● 全社員に占める女性の割合 *1	32.0%
	● 女性役員比率 *2	25.0%
	● 女性管理職比率 *1	22.7%
	● 社員のインクルージョン促進プログラムの種類*4	● 言語学習プログラム ● やさしいコミュニケーション研修 ● 無意識バイアスワークショップ ● Diversity&Inclusion e-Learning (Diversity&Inclusion全般・PrideE-Learning) ● 通訳・翻訳を専任で行うチームの設置
柔軟で選択肢のある環境	● 育児休暇取得率（男女別） *3	89%： 男性 33人 （取得率85%） / 女性 18人 （取得率100%）
	● 育児休暇後の復職率（男女別） *3	100%： 男性 38人 （復職率100%） / 女性 16人 （復職率100%）
	● 育児休暇後、12ヶ月経過時点の定着率 (男女別) *3	83%： 男性 29人 （定着率78%） / 女性 20人 （定着率91%）
プロとしての成果発揮	● 社員のスキル向上のために実施したプログラムの種類 *4	● リーダーシップ研修 ● 問題解決研修 ● OKR 研修 ● 新任マネージャー研修 ● 評価Feedback研修 ● チームマネジメント研修 ● 1-on-1 研修 ● コーチング研修 ● プロジェクトマネジメント ● 効果的なリモートワーク ● Lunch & Learn ● Mercari Value ● Well Being ● ポジティブ心理学

*1：株式会社メルカリ、株式会社メルペイ、株式会社ソウゾウ、株式会社メルコイン、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー、Mercari, Inc. (US)を含む *2：株式会社メルカリ（グループ会社は含まない）における役員（取締役、監査役）比率
*3：株式会社メルカリのみ（グループ会社は含まない） *4：株式会社メルカリ、株式会社メルペイ、株式会社ソウゾウ、株式会社メルコイン対象

Appendix

マテリアリティ01

循環型社会の実現 / 気候変動への対応

mercari



循環型社会の実現

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

「買う・使う・捨てる」という消費行動そのものに対する意識を
中長期にわたり変えていくための取り組みを実施しています

Awareness

「捨てる」以外の
選択肢をより身近に

- ・「メルカリエコパック」の開発
- ・「メルカリエコボックス」の開発
- ・「サステナストア」のオープン
- ・記念横断幕のアップサイクル商品の販売
- ・来客用の飲料容器の変更
- ・CM撮影時における必要備品の再利用



Education

サステナブルな行動について
学習できる環境を

- ・出張授業形式にてプログラムを提供
- ・6つのプログラムを教育ポータルにて無償公開



Collaboration

バリューチェーン全体で
循環型社会を実現する

- ・メルカリ物価指数の発表
- ・メルカリ教室の拡大
- ・メルカリポストの設置
- ・メルカリステーションの展開
- ・集荷梱包サービスの実証実験



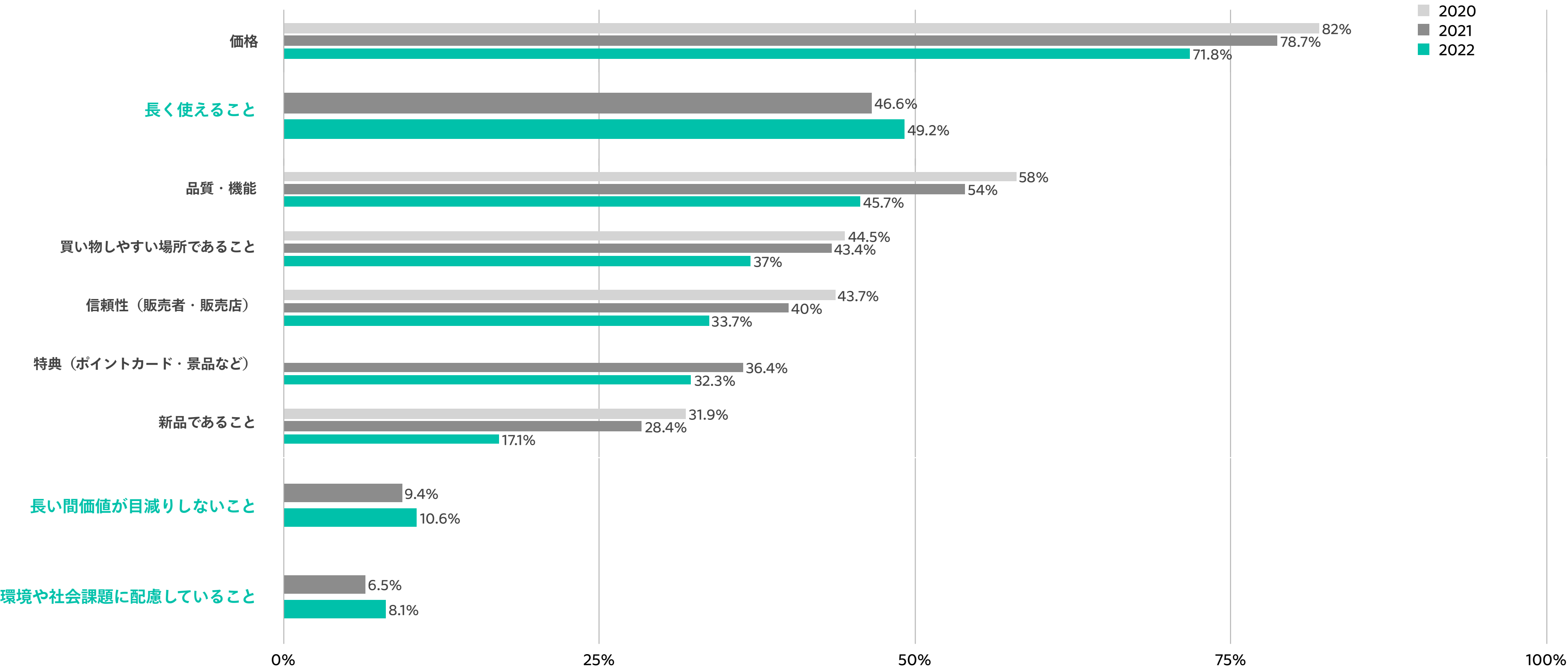
メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix
- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

購入における意識の変化

商品を購入する際に重視していることとして、「新品であること」と回答した人が減少しているだけでなく、
「長く使えること」や「環境や社会課題に配慮していること」を重視している人が増えていることがわかります。

商品を購入する際に重視していること*1



*1：2022年6月（3,000名）、2021年7月（3,000名）、2020年6月（2,400名）、全国15～69歳の男女に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より（2020年度の調査に含まれていなかった選択肢は記載なし）

購入における意識の変化

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

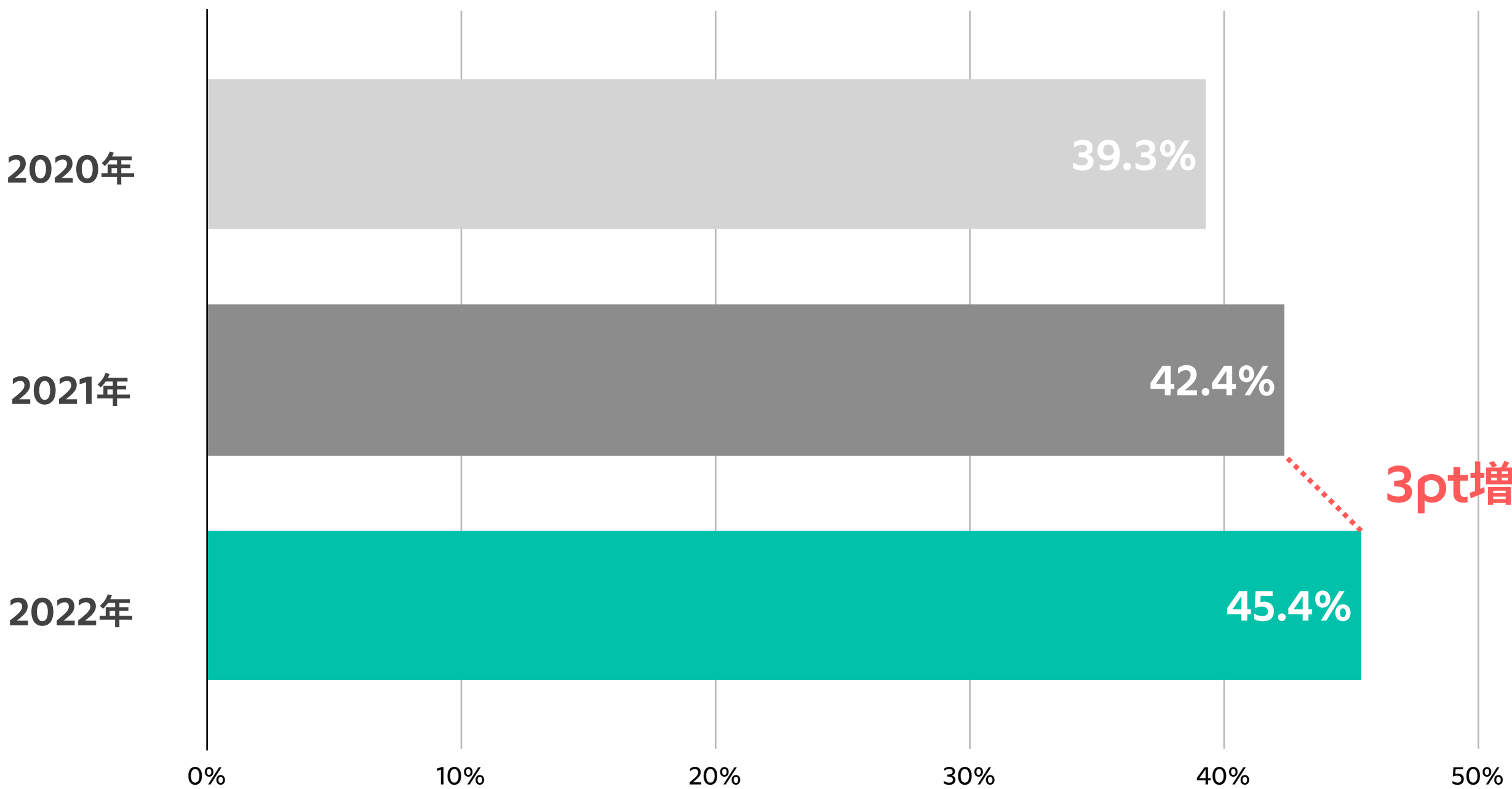
ESGデータ集

Appendix

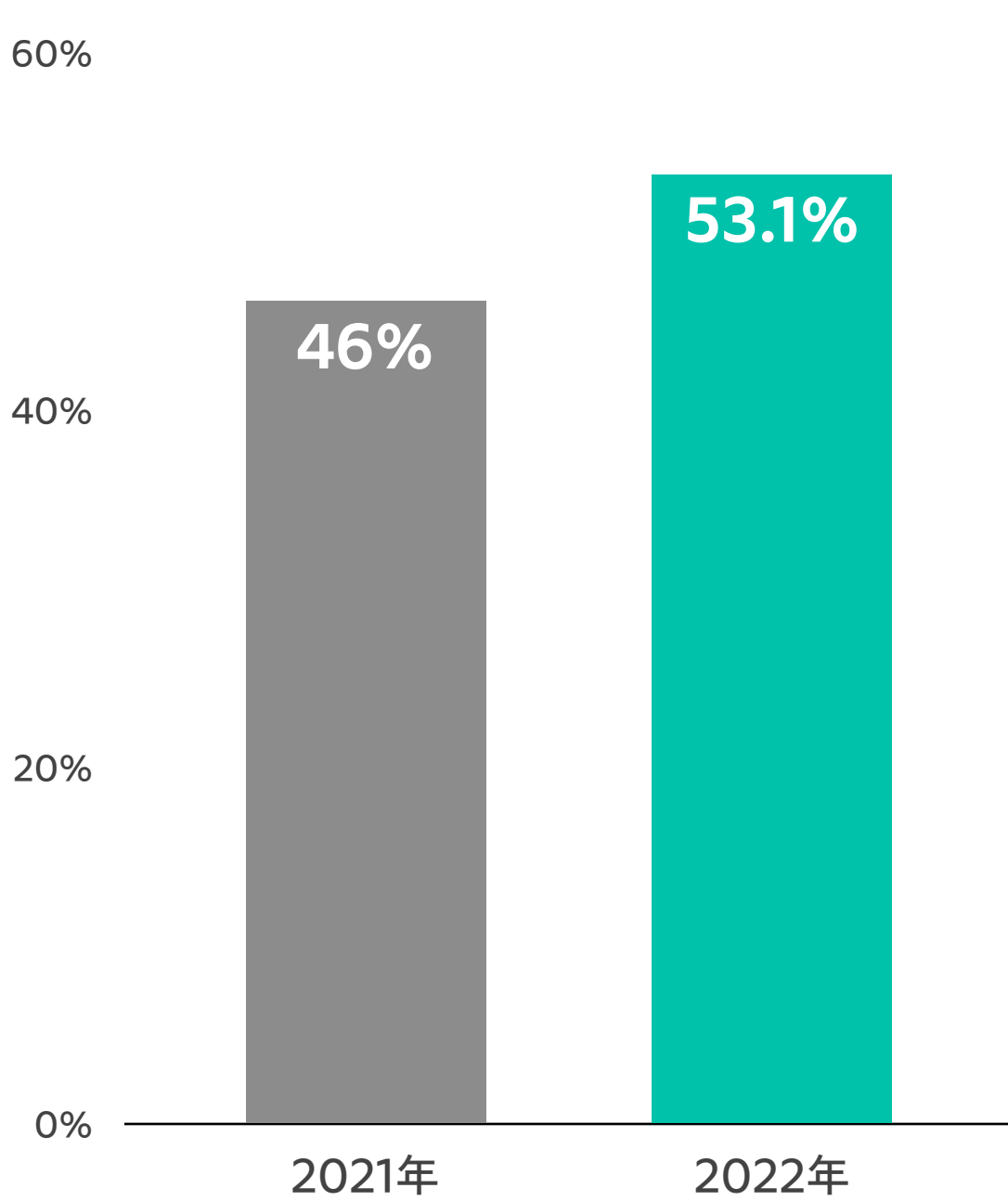
- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

中古品に対する抵抗感がない人は、昨年度調査比で**3pt増の45.4%**となり、経年で増加しています。
また抵抗感がないだけでなく、直近1年間で中古品を買ったことがある人は46.0%から**53.1%（昨年度調査比7.1pt増）**となり、実際に中古品を買う人も経年で増加しています。

中古品に対する抵抗感がない人*1



直近1年間で中古品を買ったことがある人*1



*1：2022年6月（3,000名）、2021年7月（3,000名）、2020年6月（2,400名）、全国15～69歳の男女に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より

不要品の手放し方の変化

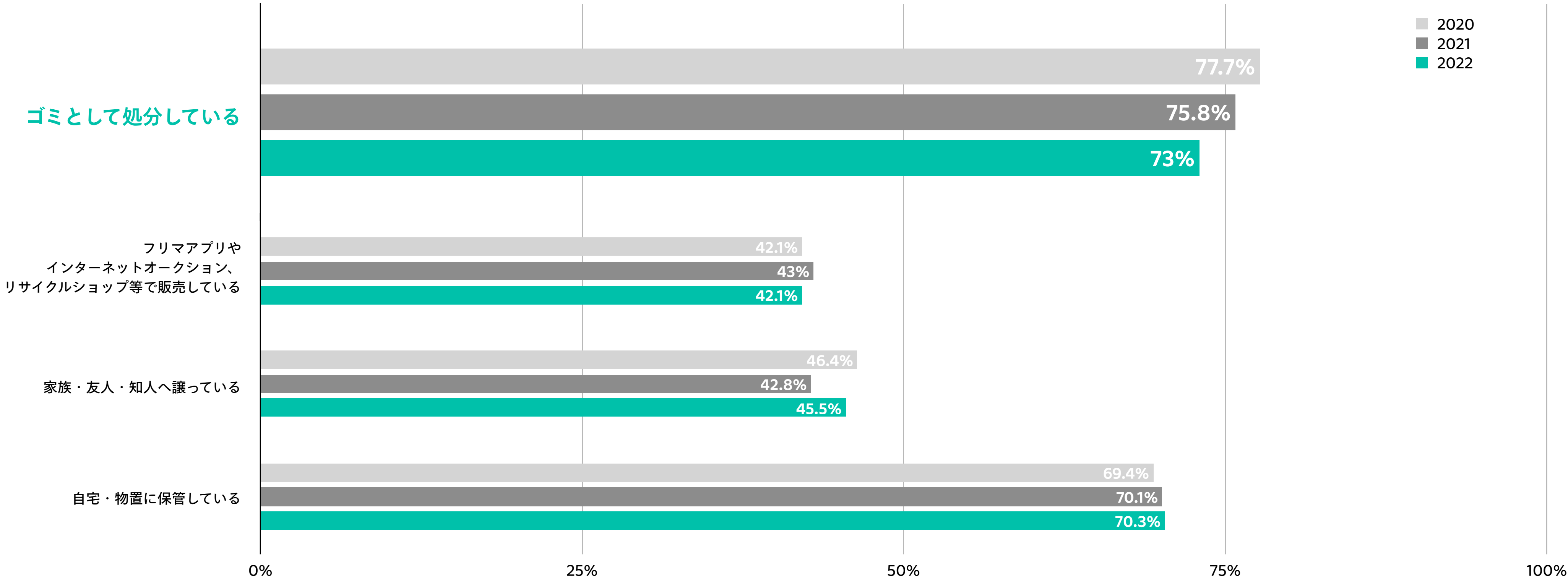
メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

現在、使わなくなったものに対して「ゴミとして捨てる」という選択肢を取る人は、
約73.0%（昨年度調査比約2.8pt減）であり、年々減少傾向にあります。

使わなくなったものをどうしているか*1



*1：2022年6月（3,000名）、2021年7月（3,000名）、2020年6月（2,400名）、全国15～69歳の男女に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

メルカリを使うことで、日々の生活が少しずつサステナブルに



interview／みほちさん
メルカリ歴7年のお客さま。主に出品を中心にお取引され、評価件数は1,700以上。普段はミニマリズム片付けトレーナーとしても活躍中。

メルカリは7年以上前に、お友達に「メルカリって知ってる？手軽に出品できるサービスだよ」と紹介されて使い始めました。当時まだ子供が小さく、子供服がすぐサイズアウトしてしまうため、処分方法に困っていたこともあり、利用を開始しました。今では取引数が1,700件を超え、主に出品にてメルカリを活用しています。

メルカリを使うようになって、いくつか生活習慣が変わりました。例えば「本は必ずカバーをする」や「電化製品は液漏れを防ぐために、長期間使用しないときは電池を外す」などモノをキレイな状態で保つことを意識するようになりました。昔からこのような意識があったわけではなく、メルカリを利用していくうちに少しずつ日々の生活がサステナブルな意識に変わったような気がします。

メルカリを利用する目的は、「家庭から出る不要品を必要な方にお譲りしたい」という気持ちが大きいです。もともと家族の仕事の関係で、よく食料品を頂くことがあります。特に食料品はモノと違って消費期限があります。子どもが小さい間は、よくお友達におすそ分けしていたのですが、子どもが成長するにつれ、そういった機会も減少し、消化できなければフードロスになってしまうことに気づきました。そういった時、メルカリに出品することによって自分にとっては不要なモノを必要な方にお譲りすることができるので、メルカリがあってよかったな、と思います。

また最近ではメルカリの取引が増えるにつれ、梱包資材もリユースしたいと思うようになり、メルカリで梱包するときは、たくさん頂くカレンダーを再利用しています。このように生活を大きく変えるのではなく、少しずつ自分ができることから意識していこうと思います。

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

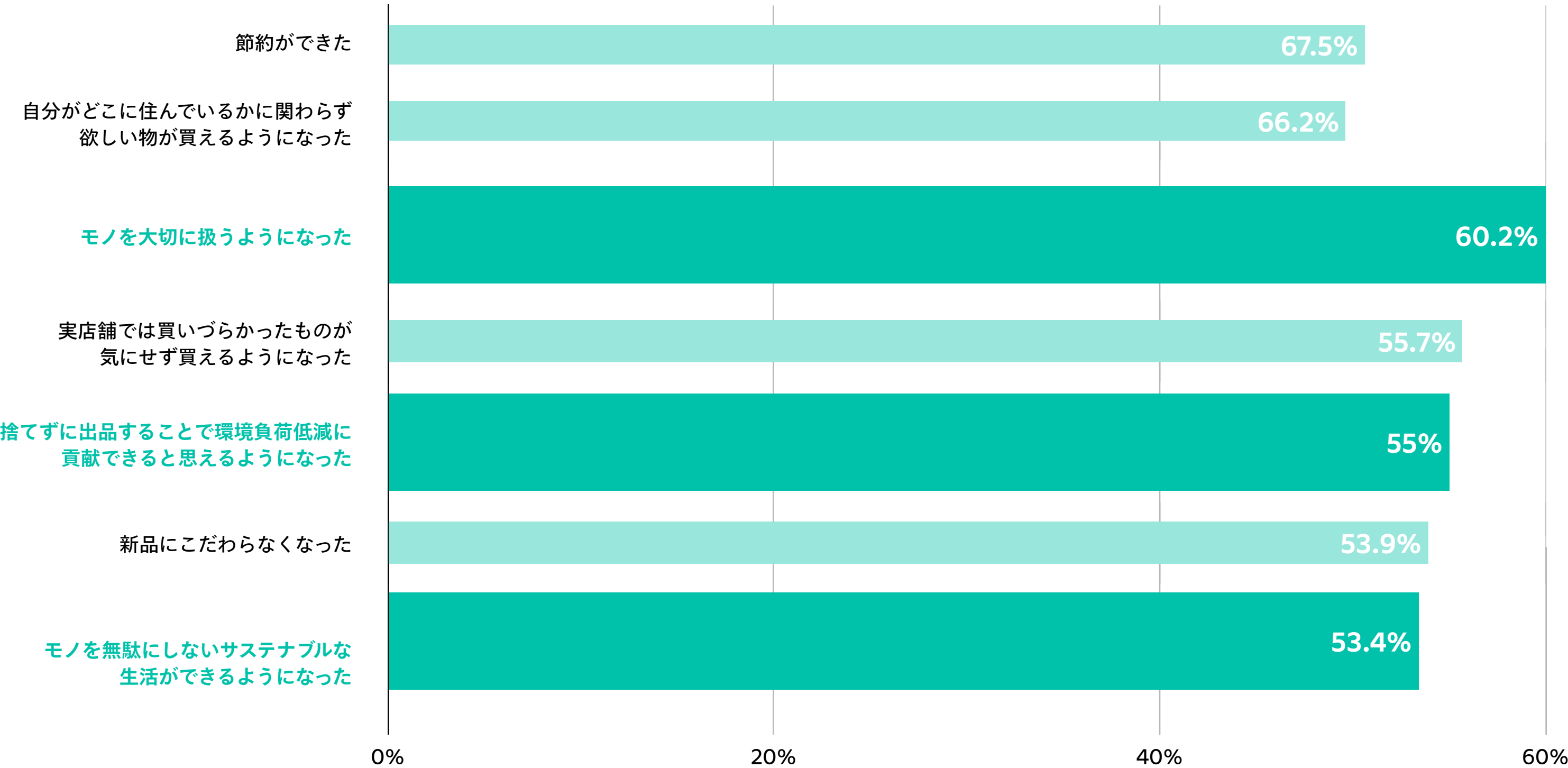
- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

メルカリを利用したことによる経験や気持ちの変化

メルカリの利用経験がある人のうち、メルカリを利用したことによる経験や気持ちの変化として「モノを大切に扱うようになった」人が**60.2%**、「捨てずに出品することで環境負荷低減に貢献できると思えるようになった」と答えた人は**55%**、新品にこだわらなくなった人が**53.9%**また**53.4%**もの人が「モノを無駄にしないサステナブルな生活ができるようになった」と答えました。

メルカリを利用することによって、サステナブルな意識変容が起きているといえます。

メルカリを利用したことによる経験・気持ちの変化*1



自分が要らないモノでも、欲しい人がいることで、そのモノが無駄にゴミにならずに活用されるのは良いことだと思えるようになった



60代・女性

*1：2022年6月に全国15～69歳の男女3,000名に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より、メルカリ利用経験がある1,552名から回答。「メルカリを利用したことによるあなたの経験や、生活・お気持ちの変化として内容はどの程度あてはまりますか」の質問項目に対して上位7件を掲載

メルカリ出品時の梱包に関する意識の変化

メルカリのサステナビリティ

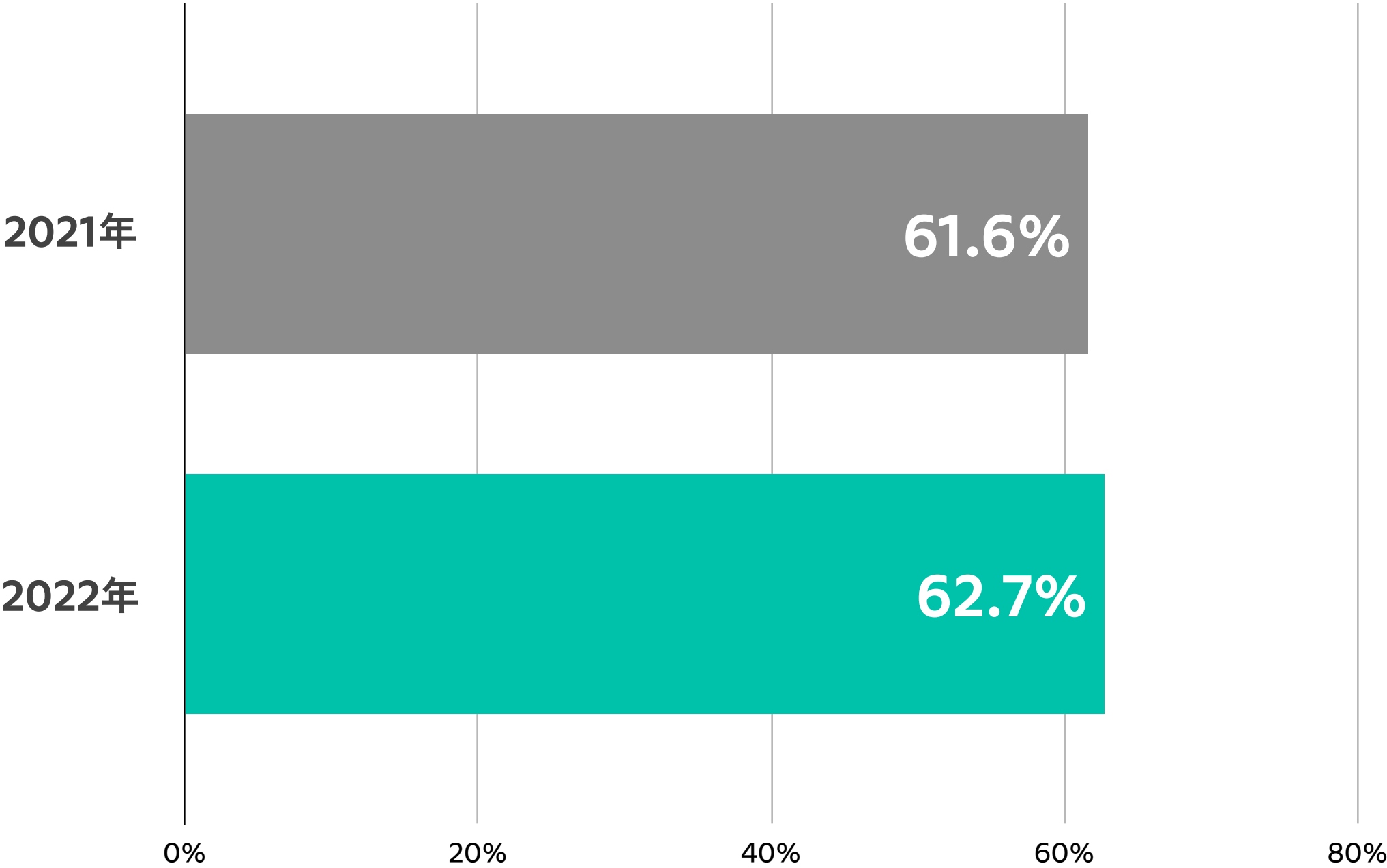
- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

商品を梱包する際に、梱包資材をリユースすると答えた人は、
62.7%（昨年度調査比1.1pt増）であり、増加傾向にあります。

梱包資材をリユースする人の割合*1



「メルカリエコパック」の開発

梱包資材のリユースを促進する施策として、繰り返し使える梱包材「メルカリエコパック」を2019年から提供しています。2022年6月、改良を加えて第二弾としてリリースしました。
期間限定で全国9箇所でのメルカリステーションでの返却と循環を促進する仕組みを導入したほか、小物や化粧品をそのまま梱包できるように、内側にサイズの異なる3箇所のポケットを設けています。



*1：2022年6月（3,000名）、2021年7月（3,000名）、全国15～69歳の男女に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より

FY2022の取り組み / メルカリエコボックスの開発

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現

05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

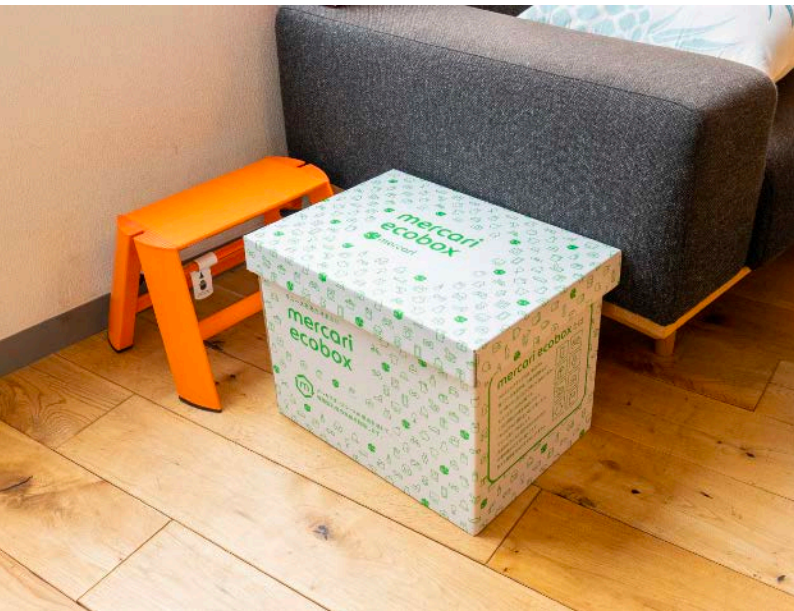
ESGデータ集

Appendix

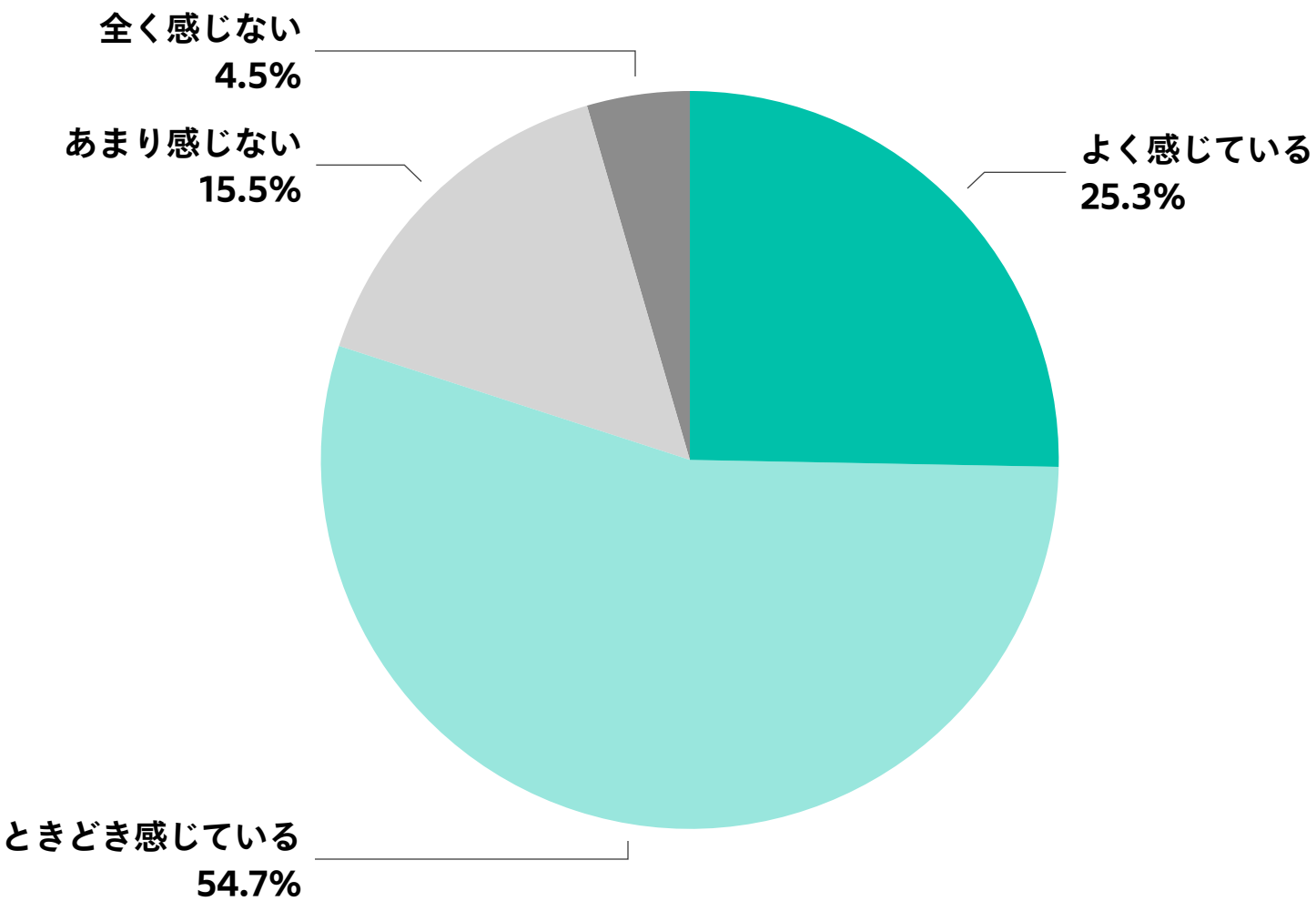
- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

捨てない行動を定着させ、リユースがあたりまえになる世界を目指します

「メルカリエコボックス」とは、家の中に眠っている洋服や本、小物や食器など「もう使わなくなったけれど捨てられないモノ」を見える化し、一時的に保管しておくための箱です。メルカリが2022年に実施した調査*1では、「使わなくなったものに対して「捨てる」という選択肢をとる人」は73%でした。また「捨てる」選択をすると回答した人のうち、**約80%の人が「捨てる」ことに対してもったいないと感じている**という調査結果になりました。そこで「まだ使えるが不要になったモノ」を捨てないための仕掛けとして、「メルカリエコボックス」を2022年5月に開発しました。



「捨てる」ことに対して、 「もったいない」と感じる人の割合*1



*1：2022年6月に全国15～69歳の男女 3,000名に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より

FY2022の取り組み / Mercari Experiments

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集
- Appendix
- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

サステナブルで豊かな生活について考えるきっかけをつくります

「Mercari Experiments」という実験的な枠組みの中で、限りある資源のなかでサステナブルで豊かな生活を実現していくために、一人ひとりがモノの循環について考えるきっかけをつくる取り組みを行っています。今年度は、お客さまに身近にサステナビリティを感じていただけるような取り組みを実施しました。

「サステナストア」のオープン

欧州を中心に広がっている持続可能な消費を促す「グリーンフライデー」にあわせ、2021年11月に3日間限定でユーズドアイテムの購入を通じて身近なサステナビリティが体験できる、メルカリ初のお客さま参加型ファッション実店舗「サステナストア」を表参道にオープンしました。



記念横断幕のアップサイクル商品の販売

鹿島アントラーズ30周年を記念してつくられた横断幕を廃棄するのではなく、応援してくれるお客さまの手に渡る記念の形にできないかと考え、トートバックなどのアップサイクル商品をメルカリと鹿島アントラーズのコラボレーションによって制作し、販売しました。



FY2022の取り組み / 社内の取り組み

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

社員一人ひとりが「買う・使う・捨てる」に対して自ら考え、できることからアクションしていきます

来客用の飲料容器の変更

社員が身近にあるものから取り組む施策のひとつとして、オフィスでお客さまに提供のお水の容器を、これまでのペットボトルから水平リサイクル率（回収し再利用する際に同じ製品に戻る割合）が高いアルミ缶に変更しました。

CM撮影時における
必要備品の再利用

CM撮影時は美術セット等を都度制作、都度廃棄、が通例となっており、多大な廃棄物が排出されています。これらを最小限にするべく、美術セットの再利用、衣装のリース使用など可能な限り資源を循環させる取り組みを行っています。



FY2022の取り組み / 教育プログラムの提供

楽しみながら社会を学べる実践的な教育プログラムを提供しています

一人ひとりの行動を変えていくためには、「**買う・使う・捨てる**」ことへの意識に変化を起こしていくことが大切です。そのためにメルカリは、モノやお金の価値について、学校の教科書だけでは学べない実践的な学びが得られる教育プログラムを開発・提供しています。メルカリやメルペイを通じて日々行われている「売り買い」という楽しくてワクワクする体験は、捨てられるはずだったモノに新たな価値を創り出し、限りある資源が大切に使われる「循環型社会」の実現につながっていきます。メルカリの「売り買い」に関わるさまざまな学びの機会を子どもたちに届けることで、「自分にとって不要になったモノが、他の必要な誰かの役に立つ」ということを、楽しみながら主体的に学んでもらいたいと考えています。



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

1年間で1,000人以上の子どもたちにメルカリのプログラムを直接提供しました

メルカリでは「モノとお金の大切さを学ぶ」「インターネットサービスの安心・安全な使い方を学ぶ」「社会課題と企業の取り組みについて学ぶ」という3つのテーマに沿って、小学生から高校生まで幅広い年齢をターゲットにしたの6つのプログラムを提供しています。オンラインでの出張授業の形式を中心に、1年間にわたり児童生徒1,000人以上に直接メルカリの教育プログラムを提供しました。

〈メルカリが提供するプログラム一覧〉



メルカリかんさつ帳



フリマアプリを安心安全に利用するために



キャッシュフローから考える消費者信用と家計管理



フリマアプリとリユースについて学ぼう



メルペイと考える安心安全なキャッシュレス社会



フリマアプリでSDGsを学ぶ

FY2022の取り組み / 教育プログラムの提供

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

教育ポータルサイト「mercari education」を公開し、6つのプログラムを無償提供しました

多くの子どもたちがモノやお金の価値について学ぶことができるよう、2022年2月にメルカリの教育ポータルサイト「mercari education」を通じて教育プログラムを無償公開しました。公開後半年で、**300人以上**^{*1}の先生・保護者の方が授業や家庭の学習に用いるためにメルカリのプログラムをダウンロードしています。



教育ポータルサイト「mercari education」

^{*1}：2022年2月17日から2022年7月31日までの間でポータルサイトよりプログラムをダウンロードした方のうち、利用用途を「学校の授業で実施したい」「家庭での学びに利用したい」と答えた方の合計

バリューチェーン連携

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

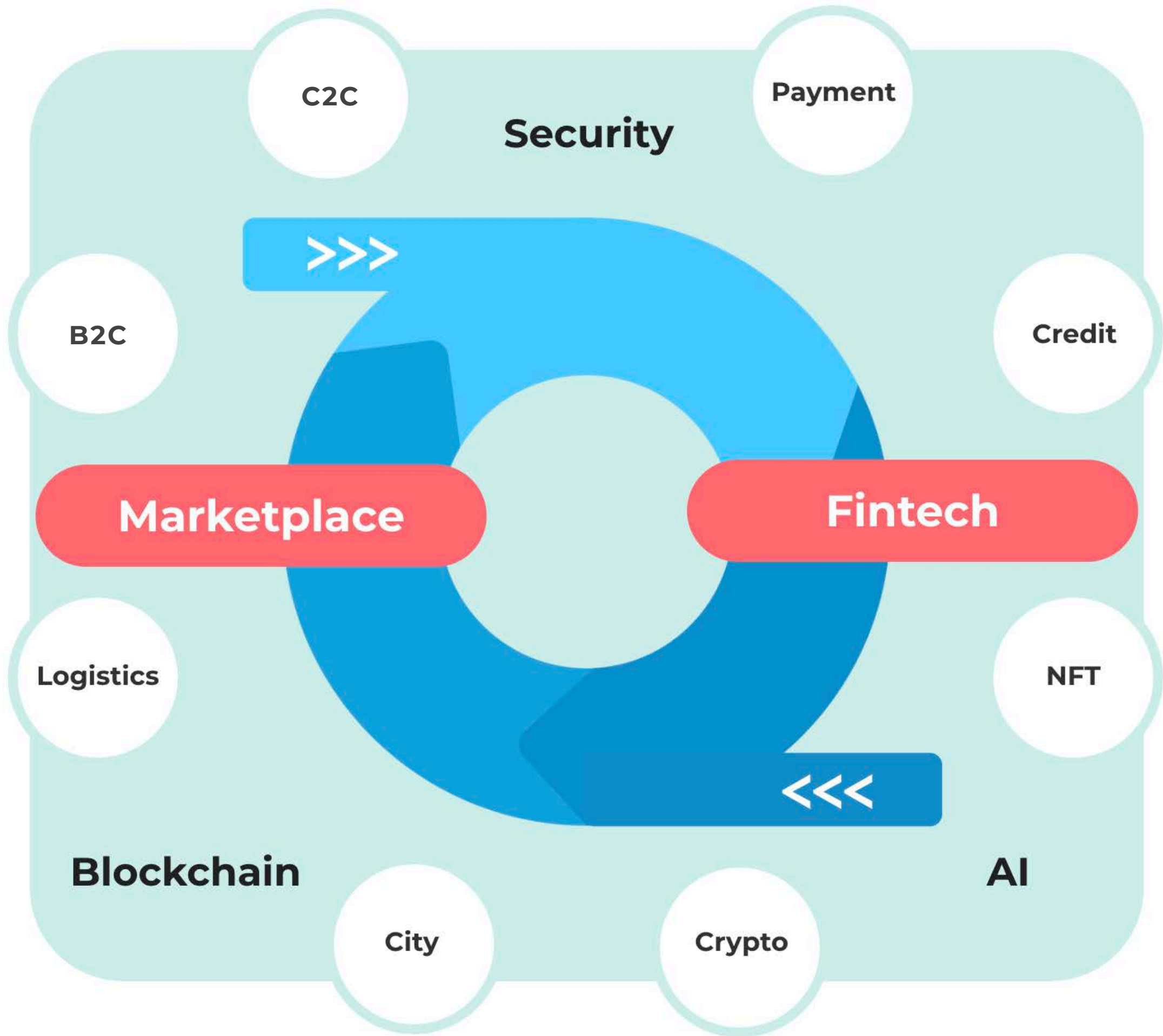
外部パートナーと連携し、循環型社会のエコシステムを創ります

メルカリが実施した調査によると、商品を購入する時に、より長く使えるものを購入したいと考える人は**49.2%^{*1}**でした。

また中古品の購入を通じて、「これまで知らなかったブランドを知った」、「中古品で買ったブランドを好きになった」、「中古品を買って好きになったブランドの新品を買った」と答えた人も一定数いました。

このように、お客さまがどのような商品を求めているのか、購入した商品がどのように使われているのかなど、さまざまな情報を小売・メーカー等の一次流通企さまと連携することによって、バリューチェーン全体でよりプラネット・ポジティブな生産消費サイクルを実現できる可能性があると考えています。

循環型社会の実現にはさらなる外部パートナーのみなさまとの連携が必要不可欠です。引き続き、外部のさまざまな企業や人々とパートナーシップを組むことで、可能性を無限に広げていきたいと考えています。



^{*1}：2022年6月に全国15～69歳の男女 3,000名に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

FY2022の取り組み / メルカリ物価指数の発表

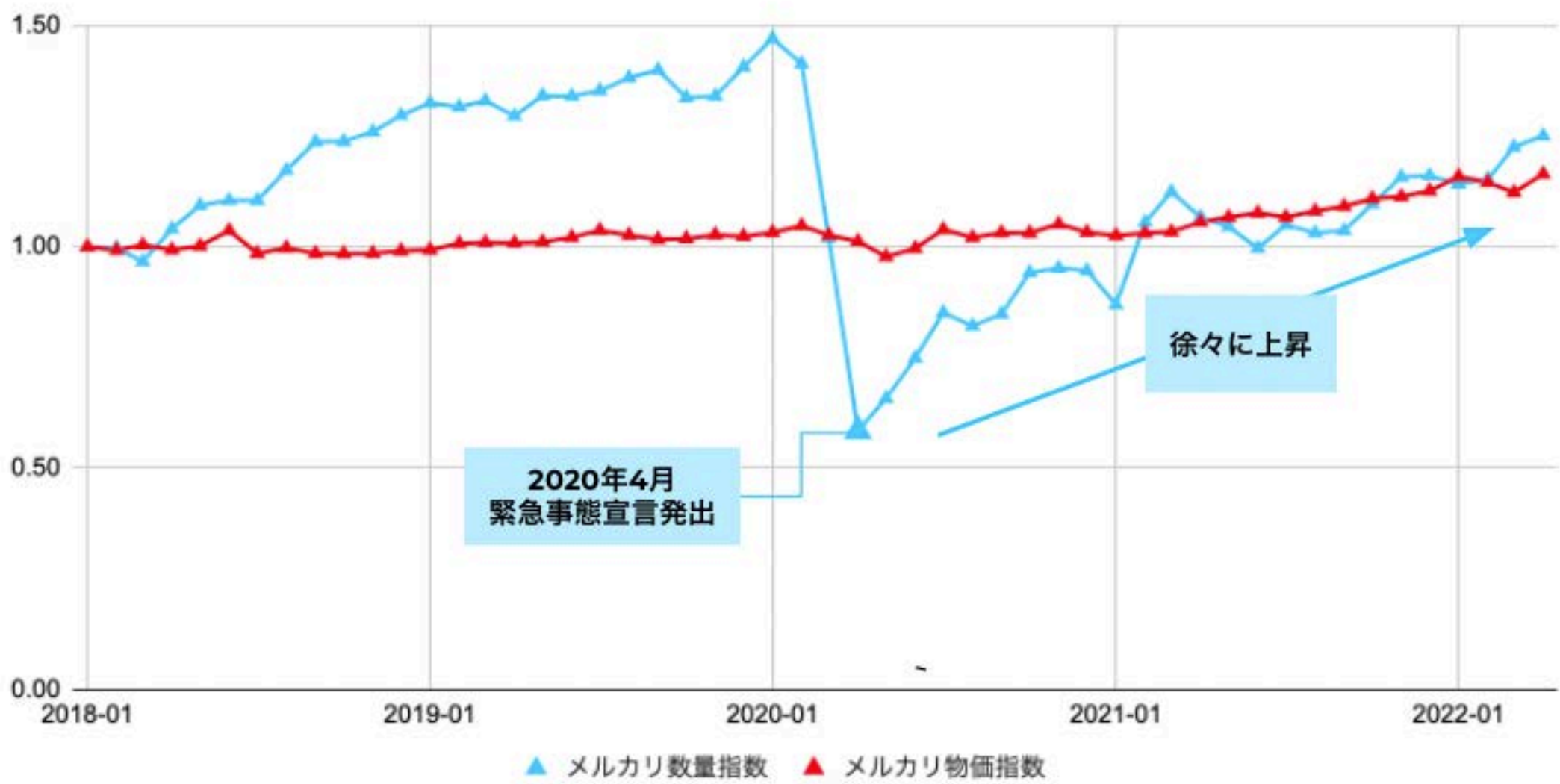
二次流通市場における消費者の需要を可視化し、 マーケティングや消費者行動など経済・研究活動に貢献します

2021年9月にリサイクル通信が発表した調査*1によると、2020年のリユース市場規模は推計で2兆4,169億円となり、今後も市場規模は拡大すると予測され、個人間商取引を含む二次流通市場を活用する消費者の増加、取引される商品カテゴリーの拡大が予想されます。一方、消費における二次流通市場のシェアが拡大を続けると、従来の一次流通市場のデータだけでは消費の動向を正しく把握することが難しくなると考えられますが、二次流通市場の動向も

把握しようとも、現在は中古住宅、中古車及び一部製品を除き、適切なデータを取得する手法が確立されていませんでした。そこで、**消費者行動に関する発信、研究活動の活性化に貢献すること**を目的に、CtoCサービスにおける価格・流通量の変動を指数で可視化した「メルカリ物価・数量指数」を2022年5月に発表しました。このようなデータを公開していくことで、バリューチェーン全体で循環型社会の実現を目指します。



物価指数イメージ



*1: [リサイクル通信リユース業界の市場規模推計2021（2020年版）](#)

FY2022取り組み実績 / メルカリ教室の拡大

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

メルカリの使い方をわかりやすく教える「メルカリ教室」を、
パートナー企業さまとともに拡大しています

メルカリの使い方を認定講師が無料でわかりやすく教える「メルカリ教室」を実施しています。
FY2022の取り組みとして、NTTドコモ（ドコモショップ）やウエルシアといったパートナー企業さまにも協力いただくことで、
約1,200拠点に拡大しました。開催回数は7万回を超え、累計で約18万人以上のお客さまに受講いただきました。*1



*1：2022年4月時点

FY2022取り組み実績 / メルカリポストの設置

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

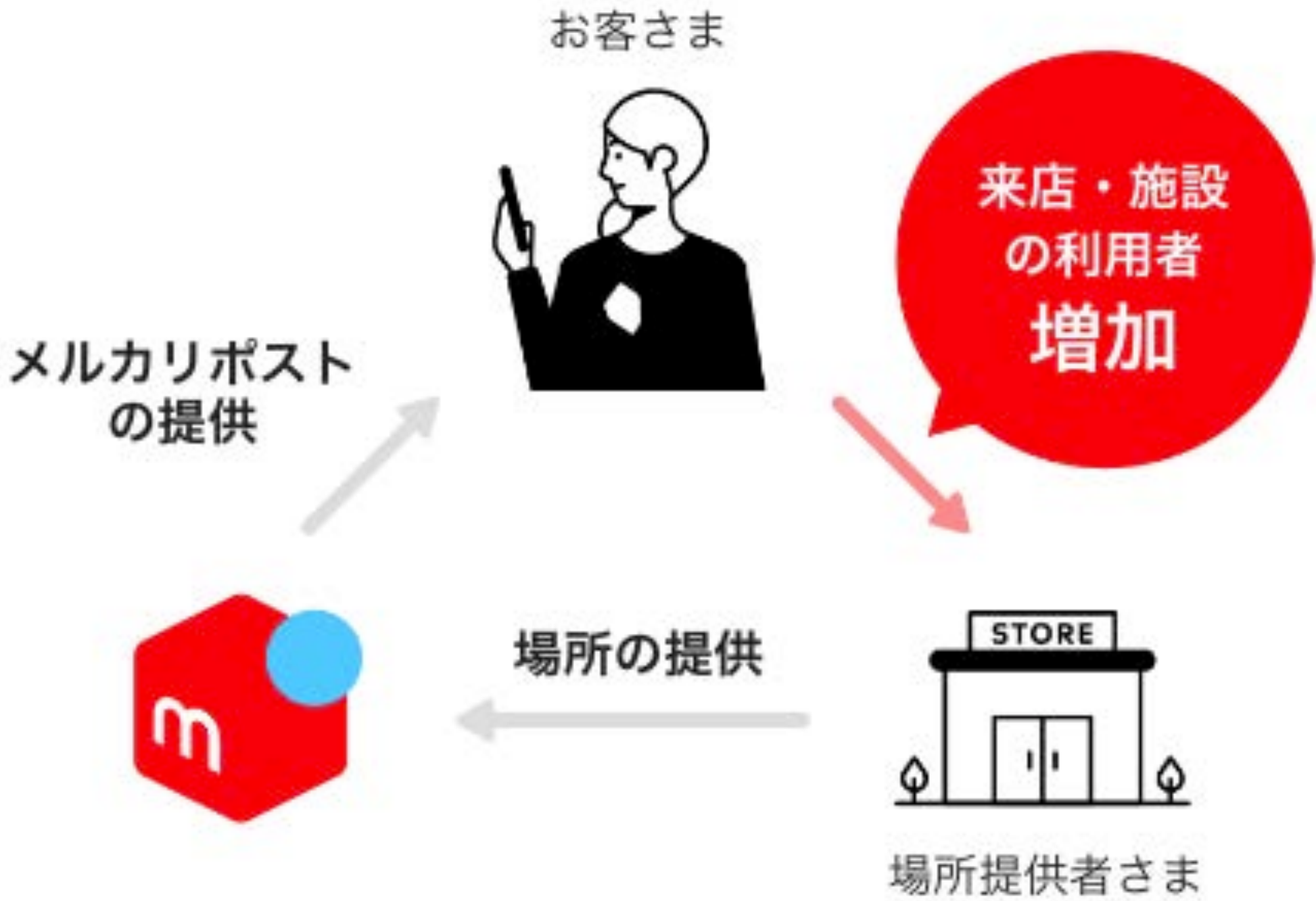
ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

レジに並ばずに非対面で発送できるメルカリポストを、
2020年よりコンビニやドラッグストア等に設置しています

レジに並ばず非対面でかんたんに発送ができる「メルカリポスト」を、2020年よりコンビニやドラッグストア、スーパーマーケット等に設置しています。
メルカリポストの設置により、お客さまの利便性が向上するだけでなく、スーパーマーケットなどの場所提供者さまの来店増加も期待されます。



FY2022取り組み実績 / メルカリステーションの展開

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

お客さまの体験向上に向け、パートナー企業さまと連携しています

メルカリステーションでは、店舗スタッフが「メルカリ」の会員登録や出品をサポートするほか、メルカリの楽しみ方がわかる「メルカリ教室」の開催や、非対面で商品を発送できる「メルカリポスト」を設置するなど、店舗ごとにさまざまなサービスを提供しています。またFY2022の取り組みとして、ミスターミニット、NTTドコモ、白洋舎などパートナー企業さまとサービスのさらなる利用促進とお客さま体験の向上に向けた実証実験を行っています。



FY2022取り組み実績 / 集荷梱包サービスの実証実験

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

お客さまがハードルと感じていた梱包・発送の手間を解消し、
出品体験の向上に向けた実証実験を実施しました

メルカリが実施したアンケート調査では、「メルカリ」への出品意向はあるものの、出品未経験のお客さまは3,610万人*1にのぼり、「出品しない理由」として「梱包・発送作業が大変そうだから」が最も多く挙げられました*2。
このようなお客さまの声を受け、出品者は自宅で待つだけで梱包・発送作業が完了する集荷・梱包サービスの実証実験*3をヤマト運輸さまと東京都内一部エリアにて実施しました。

*1：2019年4月に18～74歳の男女1,260名に対して電通マクロミルインサイトが実施したアンケート調査より
*2：フリマアプリ「メルカリ」内の出品未経験600名に対して行ったお客さま向けアンケート調査より
*3：実証実験期間 2022年5月23日～2022年6月30日



マテリアリティ02

ダイバーシティ &
インクルージョンの
体現

mercari



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

メルカリがあることで、島での暮らしに選択肢が増えました

小笠原諸島の父島に住む大平さんご夫婦はメルカリで野菜を購入することが多く、週末にはメルカリで購入した苗で畑仕事もしているご夫婦です。島内の移動はメルカリで購入した車を活用。メルカリをフルに活用しているお二人のメルカリ活用術についてインタビューしました。

ーメルカリで野菜を購入し始めたきっかけはなんですか？

母の日にそら豆をプレゼントしようと思ってネット検索をしたのですが、ほとんどのサイトではクール便*1での販売がほとんどでした。小笠原へはクール便が使えないのですが、メルカリで常温便でそら豆を販売している農家さんを見つけました。農家の方に、常温配送しても大丈夫な商品だと教えていただいたので、離島に住んでいる点を事前に伝えて配送してもらいました。出品者と直接やりとりしては調整や相談ができる点が良いなと思って、そこから野菜をメルカリで買うようになりました。畑の苗もメルカリで購入するようになりました。

ーなぜスーパーでの購入ではなくメルカリだったのでしょうか？

スーパーの市場に出回るまでには農家から出荷されて仲介業者が入り、船に乗って市場に卸されるので鮮度が落ちてしまうものがどうしてもあります。しかし、メルカリで購入すると農家から直送されるので島のスーパーで買うより鮮度が良いものが多いんです。メルカリで購入した野菜は通常市場に出回るタイミングよりも3,4日早いんじゃないかと思います。そのため、島で売っていないものが買えるようになり納得したものが手に入るようになりました。これまで島に住んでいるということが理由で持てなかった選択肢が持てるようになる、選べるというのはいいことですね。普通のネット販売だと小笠原という離島のため、鮮度などの関係で送ってくれないことが多いのですが、メルカリでやりとりして直接交渉すると臨機応変に対応して商品を手に入れることができます。また、農家の方はその商品の専門家なのでアドバイスも直

接聞けて安心感があります。メルカリのプロフィールややりとりから、情熱を注いで野菜づくりをしている農家さんに出会えて、農家さんが推しているものがわかりやすく、またその商品を手に入れられるのが良いですね。

ー農家さんとのやりとりの中で印象的なエピソードはありますか？

とある農家から野菜を購入した際に、自分たちの農家で作った野菜の鮮度が、小笠原という場所に届くまでの間に、どの程度保てるか確認したいので、常温便とチルド便*2の両方で送りたいと依頼を受けたことがあります。もし鮮度が悪くなってしまったらまた送るからと言って、たくさんの量の野菜を送ってくださった農家さんもいました。小笠原への輸送手段は週に一度の船便しかなく、どんな商品でも最低1週間はかかってしまいますので、農家さんも購入したお客さまに合わせていろんな配慮をしているんだなと感じた印象的なエピソードでした。こういったやり取りは、個人間取引ならではのなと感じます。また、北海道の農家さんで芋が余ってしまったからと、たくさんの量の芋を送ってくれた農家さんがいました。2kgでも10kgでもメルカリ便のサイズが同じであればどこに送っても送料が一律だからと、サービスでたくさん送ってくれました。送料については他のネットサービスだとだいたい「離島は除く」などと書いてあったり別料金が発生することがほとんどですが、全国一律料金で安くお得なメルカリ便はすごいと思います。農家さんとやりとりをする中でサービスをしてくれる良い人とつながることが出来て、心温まる気持ちの良いやり取りが多いです。

interview／大平 礼雄さん 大平 綾子さん

メルカリ歴7年以上。小笠原諸島父島在住。夫婦で主に野菜や苗を購入したり不要になった服や書籍を出品してメルカリをフル活用中



*1：ヤマト運輸の「クール宅急便」。冷蔵タイプは0～10℃、冷凍タイプは-15℃以下の温度帯で配送するサービス *2：日本郵便の「チルドゆうパック」。保冷が必要なゆうパックを冷蔵温度帯で配送するサービス

メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ&
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ&
インクルージョンの体現

03
地域活性化

メルカリでは、多様な人材がさまざまな人事制度を活用し活躍しています

人事制度「merci box（メルシーボックス）」を活用して産休・育休取得し、
復帰した社員やYOUR CHOICEを活用してリモートで勤務している社員の声を一部抜粋して紹介します

— 「merci box」 制度について

熊田：いろんな選択肢があるけれど、育休を取ったことで、子どもが寝返りした瞬間とか、成長の貴重な瞬間を見られたので「休みを取ってよかったな」と思いましたね。育休を取った大きな理由も「子育てする人生でいたかった」があります。「仕事も大事だけど、子育ても楽しい！」って。



熊田勇真
(Creative Team)

— 「merci box」 制度について

平田：メルカリは「家族に優しい会社だな」と思います。出産だけでなく、妊活のサポートも増えていますし。自分たちの幸せを優先することを、会社としても望んでくれているんだと感じます。だから、私たち働く側は安心してフルに制度を活用して、しっかり事業に貢献したらいいんじゃないかなと思っています。



平田愛美
(Product Management Team)

— 産休・育休期間と悩んだことについて

赤川：不安と言えば、僕の場合は夫婦で育休を取っていたので、収入の面は不安でしたね。育休を取る前は「自分が休みを取ったからといって、ちゃんと子育てにコミットできるのか」「それよりも働いてお金を稼ぐ方が家庭としては安心なんじゃないか」と悩んでいました。でも、「merci box」では育休復帰後に会社から補助金が出るので、短期で育休を取るという決断ができました。もしそれがなかったら、取らなかったかもしれません。



赤川久郎
(Creative Team)

— 「YOUR CHOICE」 制度について

大山：これまで離島への移住は仕事を定年で退職してからではないと実現できないことだと思っていました。夢だった移住を実現させながらメルカリの仕事を続けることができたのもこのYOUR CHOICE制度のおかげです。旅行に行かずとも近くに思い切り遊べる海や山があるので仕事の合間にもリフレッシュができるこの職場環境がありがたいです。



大山奈津美
(Sustainability Team)

メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進

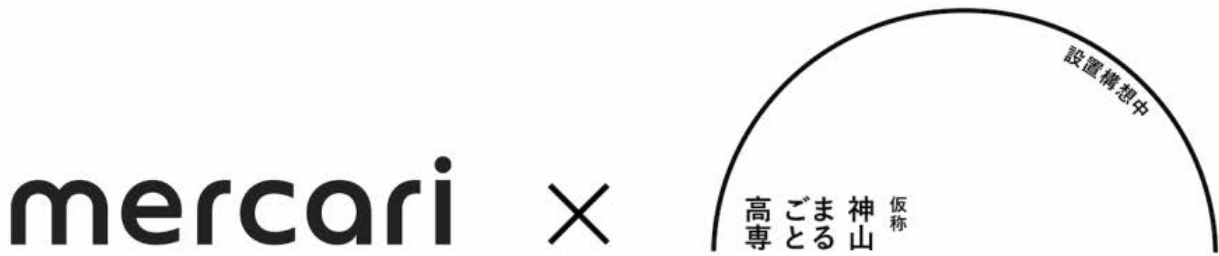
「ダイバーシティ & インクルージョン観点での次世代人材育成」へ投資

神山まると高専（仮称）とのダイバーシティ&インクルージョン推進における学校教育パートナーシップの締結

本パートナーシップにより、メルカリのダイバーシティ&インクルージョン推進の知見を学校教育に取り入れ、神山まると高専が掲げる「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育成するカリキュラムを実施予定

- 実施済の取り組み
 - ・企業版ふるさと納税を活用した1億円の寄付実施
 - ・メルカリのノウハウを活用した、高専関係者向けのダイバーシティ&インクルージョンに関するワークショップ・イベントの開催
 - ・無意識バイアスワークショップの共同開催
 - ・神山まると高専主催の「[未来の学校FES](#)」にて講演を実施
- 実施予定の取り組み
 - ・神山まると高専主催の「サマースクール」にて社員講師派遣
 - ・開校後のダイバーシティ & インクルージョン推進に関する特別授業の共同設計、及び社員講師派遣
 - ・定期的な意見交換会の実施

*今後の協議に基づいて変更される可能性があります。



IT業界のマイノリティを対象としたソフトウェアエンジニア育成プログラム「Build@Mercari 2022」を実施

メルカリでは、ソフトウェアエンジニアの女性比率が20%*1に留まっている点や、日本社会全体のIT人材の不足などといった課題に対して、業界全体でのダイバーシティ&インクルージョン推進に少しでも貢献すべく、ソフトウェアエンジニア育成プログラム「Build@Mercari」を2020年より実施。今年度は約100名の方を対象に無償のオンライントレーニングプログラムを提供。

- プログラム概要
 - ・ Buildトレーニングプログラムと、Buildインターンシップから構成されるソフトウェアエンジニア育成プログラム
 - ・ 参加者は前半ではデータ構造とアルゴリズム等を学ぶBuildトレーニングプログラムを受講し、修了後選考を経た受講者を対象に、Buildインターンシップに進んでもらうプログラム



*1：一般社団法人 情報サービス産業協会 「[2020年版 情報サービス産業 基本統計調査](#)」（令和3年3月）

マテリアリティ03

地域活性化

mercari



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

FY2022の取り組み / 43自治体との連携協定や事業連携

メルカリグループ（メルカリ、メルペイ、ソウゾウ）では、
全国の自治体さまと協定締結や事業連携を行っています

連携自治体詳細

●都道府県（6）

神奈川県、三重県、熊本県、群馬県、大分県、和歌山県

●市（31）

岐阜市（岐阜県）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、箕面市（大阪府）、神戸市（兵庫県）、福岡市（福岡県）、鎌倉市（神奈川県）、鹿嶋市（茨城県）、行方市（茨城県）、船橋市（千葉県）、瀬戸市（愛知県）、雲仙市（長崎県）、北杜市（山梨県）、山形市（山形県）、蒲郡市（愛知県）、加茂市（新潟県）、徳島市（徳島県）、都城市（宮崎県）、桑名市（三重県）、陸前高田市（岩手県）、川西市（兵庫県）、松阪市（三重県）、藤井寺市（大阪府）、松戸市（千葉県）、豊島区（東京都）、世田谷区（東京都）、八尾市（大阪府）、田辺市（和歌山県）、奄美市（鹿児島県）、鹿屋市（鹿児島県）、安中市（群馬県）

●町村（6）

山田町（岩手県）、川俣町（福島県）、富岡町（福島県）、飯舘村（福島県）、大熊町（福島県）、檜葉町（福島県）

*2022年6月末日時点で、メルカリ、メルペイ、ソウゾウと協定の締結や個別の何らかの事業連携を行っている自治体。最新の連携状況については[Webページ](#)をご確認ください



メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス
- 外部機関からの評価
- ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

包括連携協定事例 - 愛知県蒲郡市 担当者コメント



蒲郡市は、持続可能な社会を実現し、希望を持って輝き、幸せを実感し、誇りと思うまちづくりを推進していくため、サーキュラーエコノミーをまちづくり全体で取り組む「サーキュラーシティ」を目指しています。

目指す方向性が合致したことから、令和4年4月に株式会社メルカリ様、株式会社ソウゾウ様と包括連携協定を締結させていただき、同年5月30日（ごみゼロの日）には、ごみ処理場に持ち込まれる粗大ごみ等のメルカリShopsへの出品、メルカリエコボックスの提供など様々な連携事業を実施させていただきました。

これらの取り組みにより、市民の皆様のリユース意識の定着とサステナブルな行動を促すことができたと考えております。また、私自身も、メルカリグループの皆様と事業を進めさせていただく中で、未来社会の価値を考え、創造し続けることの大切さを改めて考える機会となりました。

蒲郡市企画部企画政策課
サーキュラーシティ推進室
杉浦太律さま



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

FY2022の取り組み / 自治体との具体的な連携事例

自治体のごみカレンダー等でリユース推進を呼びかけ

世田谷区（東京都）、雲仙市（長崎県）のごみカレンダーやホームページで、リユース促進をはかるための記事を掲載



自治体職員派遣

岐阜市（岐阜県）から現在4人目、徳島市（徳島県）から1人目の職員をメルカリに派遣



メルカリ教室の実施

神奈川県・神戸市（兵庫県）・千葉市（千葉県）・船橋市（千葉県）・蒲郡市（愛知県）で実施



「メルカリエコボックス」無償配布の実証実験

リユース推進を目的に、市民を対象とした「メルカリエコボックス」無償配布の実証実験を蒲郡市（愛知県）・加茂市（新潟県）で実施中



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

FY2022の取り組み / メルカリの売上金を通じて社会貢献を可能にする「メルカリ寄付」

メルカリの売上金を希望する自治体や団体に寄付できる「メルカリ寄付」機能をメルカリのアプリ内で提供しており、現在寄付先は95件あります

地方自治体（22自治体）

鎌倉市（神奈川県）、瀬戸市（愛知県）、都城市(宮崎県)、岐阜市（岐阜県）、桑名市（愛知県）、三重県、陸前高田市（岩手県）、山田町（岩手県）、川俣町（福島県）、川西市（兵庫県）、松阪市（三重県）、藤井寺市（大阪府）、富岡町（福島県）、鹿嶋市（茨城県）、松戸市（千葉県）、船橋市（千葉県）、飯舘村（福島県）、大熊町（福島県）、楢葉町（福島県）、雲仙市（長崎県）、豊島区（東京都）、蒲都市（愛知県）

慈善団体（14団体）

日本財団、あしなが育英会、日本ユネスコ協会連盟、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、国連UNHCR協会、日本ユニセフ協会、日本盲導犬協会、新公益連盟、日本赤十字社、日本骨髄バンク、世界自然保護基金ジャパン、国境なき医師団日本、中央共同募金会、READYFOR

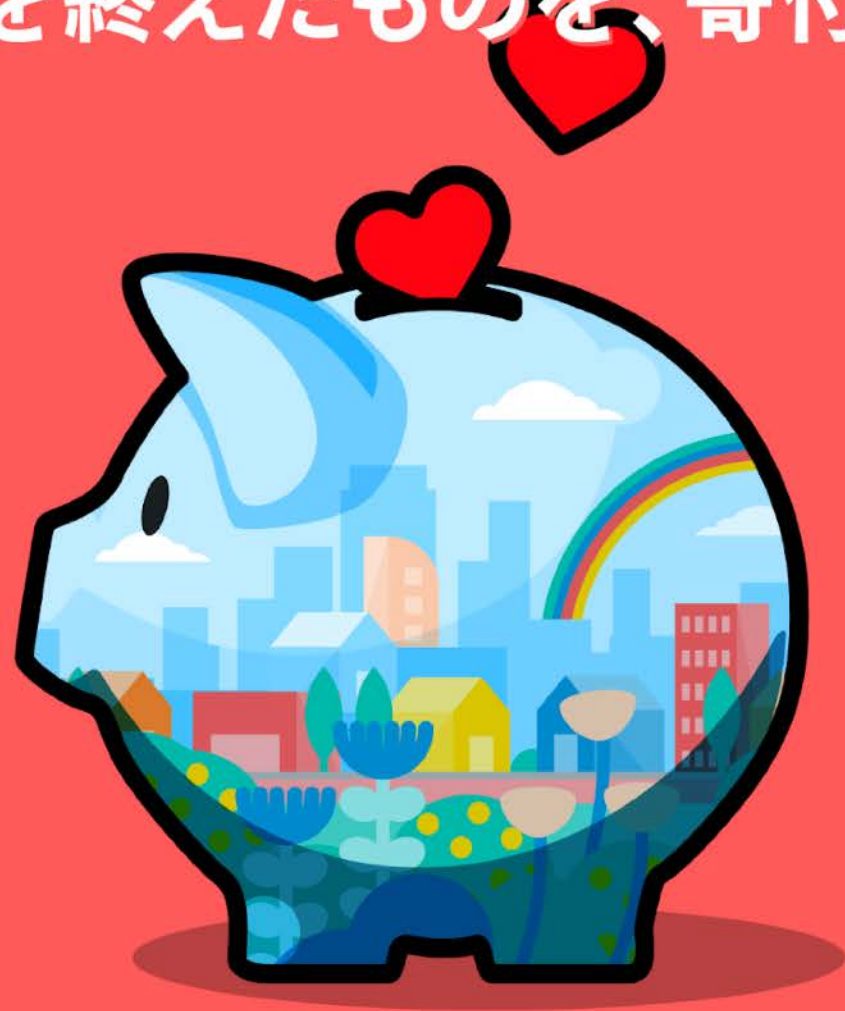
サーキュラーエコノミー推進団体（59団体）

東京大学、早稲田大学、環境再生保全機構、ほか

また寄付先に「ウクライナ緊急募金（日本ユニセフ協会）」と「ウクライナ危機 緊急子ども支援（セーブ・ザ・チルドレン）」を追加。ウクライナにおいて水や電気を絶たれたり教育の機会を奪われたり、避難を余儀なくされるなど、深刻な人道危機に晒されている子どもたちとその家族に支援を行っています。

メルカリ寄付

役目を終えたものを、寄付金に。



mercari

メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

メルカリShops

「メルカリShops」を通じて、
地域事業者のEC化を支援しています

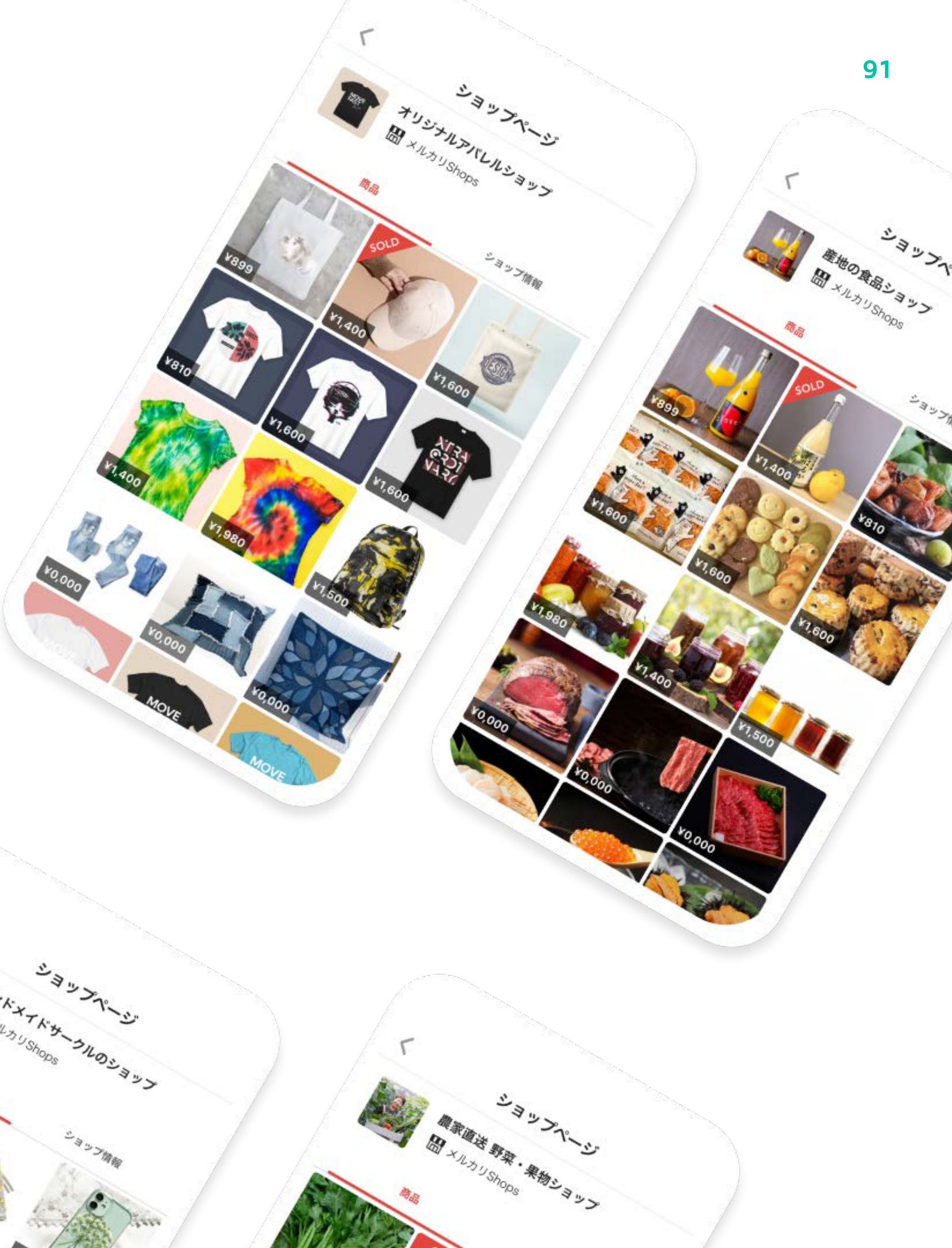


2021年10月7日に本格提供開始後、
6ヶ月で累計出店数が**20万**を突破

EC初出店率**55%*1**「メルカリShops」が、
初めてのEC開設だったという方は半数以上

メルカリShops EC化支援セミナーを**150回以上**開催
EC化の必要性やポイントをはじめ、メルカリShopsでの出店や
出品方法についてなどを伝えることで、
地域の小規模事業者のEC化支援を推進しています。

*1：2022年7月に実施したメルカリShopsオーナー向けアンケートより



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

「メルカリShops」を通じた具体的な取り組み事例①

東北3県復興支援特集の実施

東日本大震災から11年が経過した被災地の復興支援の一環として、期間限定で「東北3県復興支援！おすすめショップ特集」を実施。福島県、宮城県、岩手県で奮闘する15ショップの地域の特産品を紹介しました。



自治体の粗大ごみの販売

5月30日「ごみゼロの日」にあわせ、愛知県蒲郡市、新潟県加茂市と連携し、自治体初の「まだ使える」粗大ごみのリユース出品の実証実験を開始。市の粗大ごみ量削減と、財源確保による地域活性化を目指します。



自治体の廃校備品等を販売

岩手県山田町と愛知県瀬戸市で、「メルカリShops」を活用した廃校の備品の出品を実施。統廃合した小中学校で使用していた小太鼓、図工室の木製の椅子、ビーカー等の理科教材、図書館で除籍された本等を販売し、売上金は自治体の財源として活用しています。



メルカリのサステナビリティ

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化
- 04
安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01
循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03
地域活性化

「メルカリShops」を通じた具体的な取り組み事例②

障がい福祉サービス施設で作った商品の販売

福島県二本松市にある就労継続支援A型事業所「Nanairo SHOP」では、施設利用者が作成したハンドメイドのアクセサリ等を販売。利用者自らが写真を撮影したり、帳簿の管理も行います。Shopsのフォロワーは300名を超え、評価は100を超えるほどの人気となりました。



「いい肉の日」「魚の日」キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により、食肉卸売業者は飲食店や小売りへの卸し量が減少する中、食肉業界のEC化を盛り上げるために、「いい肉の日（11月29日）」に合わせたキャンペーンを実施。また「魚の日（3月7日）」キャンペーンとあわせて、水産業者のECによる販路拡大を支援するため、国内の主要ECとしては初となる、「クールメルカリ便」提供を開始しました。



「道の駅」の出店

自治体やその外郭団体が設置しているアンテナショップや「道の駅」から地域の特産物や農産物を販売。EC化により販路拡大につなげ、経営支援や、自治体の財政負担の軽減につなげるとともに、商品を届けます。



メルカリのサステナビリティ

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化
- 04 安心・安全・公正な取引環境の実現
- 05 コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

- 01 循環型社会の実現/
気候変動への対応
- 02 ダイバーシティ &
インクルージョンの体現
- 03 地域活性化

「メルカリShops」オーナーの声

長崎県「天洋丸ショップ」竹下恵理さん

自分自身が以前からメルカリ利用者だったので、登録はスムーズでした。商品をいくつか登録しましたが、最初にヒットしたのが「橘湾のOYATSU」シリーズです。たくさんの「いいね」をいただいたことから、多くの方にご購入いただきました。また「網エコたわし」もコンスタントに売れています。「漁業」という従来の枠にとらわれない取り組みに力を入れています。メルカリShopsは購入者とメッセージをやり取りする機能があり、こういった声が直接聞けるのも、ショップ側としては励みになりますし、また新たな商品開発に取り組もうというモチベーションにつながりますね。



香川県「瀬戸内 Local Market」北川智博さん

「瀬戸内」や「うどん」をキーワードに地域内外に価値を創造していく民間型の地域商社です。メルカリShopsではよりたくさんの人にアプローチできるのではないかと期待もあり出店を決めました。オンラインショップを開設している事業者さんは販売者にとどまっているのではないかなと感じていて。彼らは事業者だからこそ、様々な良い商品、掘り出し物を知っているはずなんです。メルカリShopsの販売者の間に横のつながりが生まれることで、業界、さらには地域を盛り上げる一つのムーブメントになったらいいなと思っています。



メルカリのサステナビリティ

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

04
安心・安全・公正な取引環境の実現

05
コーポレートガバナンス/
コンプライアンス

外部機関からの評価

ESGデータ集

Appendix

01
循環型社会の実現/
気候変動への対応

02
ダイバーシティ &
インクルージョンの体現

03
地域活性化

FY2022の取り組み / 鹿島アントラーズ事例

鹿島アントラーズは、ホームタウンのみなさま、パートナー企業のみなさま、そしてサッカーを愛するみなさまとともにホームタウンの発展や持続可能な社会の実現を目指します

資源回収施設の常設

鹿島アントラーズつくばアカデミーセンターにて東洋製罐グループがエコステーションを常設。分別回収により、プラスチックが資源として循環することをアカデミーの子どもや親御さま、また地域の方々に体験してもらうことが目的



クラブパートナー：
東洋製罐グループホールディングス

海の環境に配慮した製品の採用

スタジアムの飲食売店にて環境に配慮されたカネカ生分解性ポリマー Green Planet製のカトラリー（ストロー、スプーン、フォーク）を採用



クラブオフィシャルパートナー：
株式会社カネカ

海洋清掃活動の実施

海洋プラスチックゴミの削減に向けて、鹿嶋市海岸沿いでの清掃活動を実施。カネカ本社や鹿島工場より約80名が参加

クラブオフィシャルパートナー：株式会社カネカ



地域中学生のキャリア支援

鹿行エリアの教育委員会と連携し、中学生を対象としたキャリアデザイン教室を計3回5校を対象に実施





株式会社 メルカリ

〒106-6118
東京都港区六本木6-10-1
六本木ヒルズ森タワー

© Mercari, Inc.